

令和6年度 事業報告及び財務報告書

令和6年度

事業報告及び財務報告書

社会福祉法人

東村山市社会福祉協議会

目 次

事業報告	1
I 福祉のまちづくり事業	
1 地域福祉活動推進事業	2
2 標準服リユース事業	1 3
3 ボランティアセンター	1 4
4 福祉教育の推進	1 6
5 高齢者生きがい事業	1 8
6 健康長寿のまちづくり推進室事業	1 9
7 老人クラブ等助成事務及び育成相談事業	2 0
II 相談事業	
1 総合相談事業	2 2
2 生活福祉資金貸付事業	2 3
3 ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業	2 6
4 応急小口資金貸付事業	2 6
5 中部地域包括支援センター（基幹型）	2 7
6 中部地域包括支援センター（地域型）	2 8
7 東村山市基幹相談支援センター	3 2
8 福祉サービス総合支援事業	3 6
9 成年後見制度推進事業	4 0
III 在宅福祉サービス事業	
1 居宅介護支援事業、介護予防ケアマネジメント、介護予防支援事業	4 9
2 訪問介護事業、介護予防・日常生活支援総合事業第一号訪問事業	5 0
3 ガイドヘルパー派遣事業	5 2
4 ふれあい事業	5 4
5 手話通訳者派遣事業	5 5
6 移送サービス事業	5 8
7 車いす短期貸出事業	5 8
IV 法人運営	
1 組織運営事業	5 9
2 計画推進・調査・広報・連絡調整	6 5
財務報告	7 1

令和 6 年度（2024 年度）事業報告

令和 6 年度は、少子高齢化の加速、核家族化・単身世帯の増加に伴う地域コミュニティの希薄化がさらに進展しました。加えて、世界情勢の悪化に起因する物価高騰、さらにはコメ不足と価格高騰が重なり、生活困窮世帯が増加するなど、地域社会を取り巻く課題はかつてないほど複雑化、多様化しています。このような状況において、地域福祉の推進はこれまでに増して重要性を一層高めています。

東村山市社会福祉協議会（以下、社協）は、「市民だれもが安心して暮らすことができる福祉のまちづくり」を経営理念に掲げ、地域共生社会の実現に向けた歩みを進めてまいりました。私たちは、「困りごと」や「生きづらさ」を抱える方々の孤立・孤独の予防、支援を必要とする方々の早期発見、そして誰もが社会に参加できる場と機会の創出に尽力してまいりました。

この実現のため、地域住民の皆様をはじめ、行政機関、医療・介護・教育関係機関、社会福祉法人、NPO 法人、企業、そしてボランティアの皆様との連携を一層強化してまいりました。地域に根差した多様なニーズをきめ細やかに把握し、既存の枠組みにとらわれることなく、柔軟かつ多角的な視点から支援を展開することにも力を注いでまいりました。

中期経営計画の策定について

令和 6 年度事業計画の重点事業として掲げた「中期経営計画の策定」は、社協が法に定められた「地域福祉を推進する中核的な団体」としての使命や経営理念、基本方針等を明確にし、財務基盤の整備、組織運営体制の強化、社会福祉活動の活性化、そしてより効果的な事業実施を目指す経営戦略でもあります。

この中期経営計画の策定にあたり、約 30 年ぶりに見直された「社会福祉協議会基本要項 2025」の改定が令和 7 年度になったことを受け、策定プロセスを再度見直しました。「社会福祉協議会基本要項 2025」の内容を中期経営計画に反映させるべく、策定を遅らせる判断をいたしました。

令和 6 年度 事業報告

それでは、令和 6 年度に掲げた事業計画に沿って、これまでの取り組みとその成果について、皆様にご理解いただけるよう記載しております。主たる事業概要をご報告いたします。

I 福祉のまちづくり事業

1 地域福祉活動推進事業

(1) 地域福祉コーディネーター（CSW）機能の推進

地域福祉活動の推進に向け、コミュニティソーシャルワーカー（CSW）業務の検討や職員のスキルアップを目的とした月例会議を開催し、地域アセスメントや他系の事業説明を受けるなどを実施した。

また、地域包括支援センターと地域支援のための情報交換などの定例的な連携会議、まち担当者間の地域情報や支援の情報共有会議等を実施した。

住民ニーズに対応した活動を行う子ども食堂等のネットワークやひきこもりの家族会等について、社協内他係や関係機関・団体と協働して支援に取り組んだ。

○エリア別地域活動・個別支援件数（回）

	地域支援	個別支援
中部（本町・久米川・恩多）	239	17
東部（秋津・青葉）	136	5
南部（栄・萩山）	194	8
西部（富士見・美住）	157	2
北部（廻田・多摩湖・諏訪・野口）	215	6
全域・その他	48	1
	989	39

○地域、個別合わせて年間

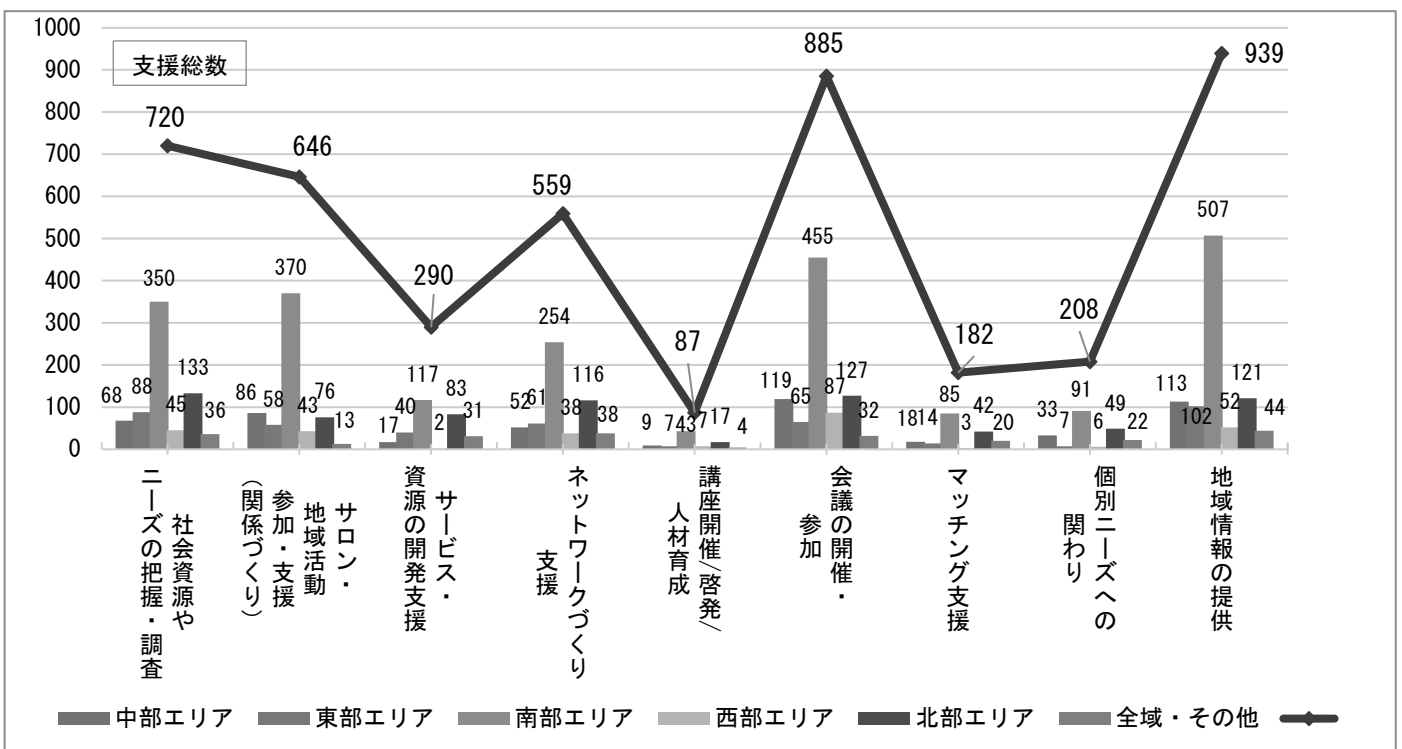
1,028 件の支援を行った。

これ以外にも地域活動者や関係機関との細かな打ち合わせ等も適宜行われている。

○地域支援内容；福祉協力員会（全体会、役員会部会、サロン、行事など）、介護予防地域推進委

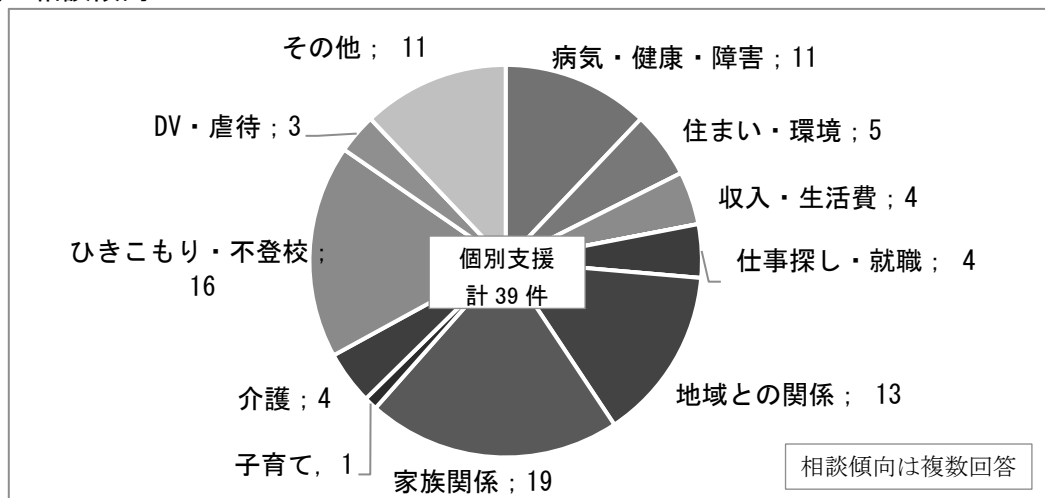
員会、地域ネットワーク（見守り、あいさつ運動等）、子ども・地域食堂、ひきこもり家族会支援など

○地域活動支援（主な傾向と件数）



○地域活動支援では「会議の開催・参加」、「サロン・地域活動参加・支援」が多くを占めているが、各々の場面において「地域情報の提供」や「ニーズの把握・調査」を行うようにしている。

○個別支援の相談傾向



○個別支援の相談内容は多岐に渡っている。相談の経路は、社協総合相談、関係機関、福祉協力員、民生委員、地域の方と様々であり、連携・協働しながら支援を行った。

(2) 福祉協力員会活動の推進 【協力員数 514 名 ※令和 7 年 3 月末時点】

①地区長会の開催

回	日時・会場	内 容
1	5/1 (水) 10:00~12:00 地域福祉活動室	1. 提出書類および活動費の交付について 2. まちづくり支援係 令和 6 年度事業計画一部説明 3. 情報交換 (グループワーク) ①最近、協力員増えていますか？ ②新しく加入した協力員に対してのフォローや工夫はありますか？ ~グループ発表~ 4. その他 ・ボランティア保険、社協会費、募金運動について ・健やか敬老事業協力をお願い ・第 5 次および第 6 次地域福祉活動計画について
2	1/29(水)10:00~12:00 地域福祉活動室	1. 令和 6 年度事業報告・決算書、令和 7 年度事業計画・予算書について 2. 協力員改選に伴う継続確認について 3. 意見交換 グループワーク 「自分らしく楽しく活躍できる協力員会活動」について 4. その他 事務連絡 ①地域福祉大会について永年表彰、福祉功労者の推薦等 ②理事・監事選考委員会 選考委員の選出依頼 (秋津町、富士見町、諏訪町) ③共同募金会東村山地区協力会の開催について ④福祉協力員×社協職員交流会について ⑤予約型乗合交通について (東村山市役所まちづくり部交通課)

②会計担当者情報交換会の開催

回	日時・会場	内 容
1	7/1（月）13:30～15:30 地域福祉活動室、 会議室 2、役員室	1. 開会あいさつ・趣旨説明 2. 会計手引き改訂（案）について 3. グループごとに情報交換 4. 連絡事項・閉会 (13 町協力員 26 名参加)

③協力員研修の開催

回	日時・会場	内 容
1	R7/2/17（月）10:00～12:00 地域福祉活動室、会議室 1、 会議室 2、ふれぽんルーム、 役員室	1. 開会あいさつ・趣旨説明 2. 第 6 次地域福祉活動計画について 3. 「5 つの手」について 4. グループごとに情報交換、交流 5. 連絡事項・閉会 (13 町協力員 40 名参加)

④13 町ごとの活動

町名	活動内容	
本 町	○さくらまつり（4/7） ○バス研修（6/12） ○けんこう茶話会（9/12） ○おひなまつり会（2/28）	○男の料理教室（6/22, 7/29, 9/28, 2/22）
久米川町	○お楽しみ会（6/24） ○OXALA 見学（7/25） ○久米川ハロウィンイベント（10/13） ○バス研修（11/8） ○福祉カレッジ（2/10）	○サロン久米川 1 丁目（毎週月曜日） ○元気アップ萌木（毎週金曜日） ○元気アップinいこい（第 3・5 水曜日）
秋津町	○ふれあい茶話会 1・2・5 丁目 （4/2、9/20） ○ふれあい茶話会 3 丁目 （5/11、11/16） ○ふれあい茶話会 4 丁目（10/9、3/12） ○ふれあいバザー（10/23、10/24） ○ふれあい作品展（3/7～3/9）	○サロンひなぎく（毎月第 3 火曜日） ※8 月はお休み ○男の料理教室（7/28、10/27、2/23）
青葉町	○男の料理（5/14、8/13、11/12、2/11） ○協力員バス研修（11/11） ○介護保険講座（12/8） ○グラウンドゴルフ（11/10、3/8）	○2 丁目昼食会（毎月 2・4 木曜日） ○3 丁目昼食会（毎月 1・3 木曜日） ○珈琲サロン（毎月第 1・2・3・4 日曜日）
恩多町	○協力員バス研修（7/5） ○講座開催（10/7）	○恩多おしゃべり会 11 回（毎月第 4 金曜日、8 月除く） ○グリーンサロン 11 回（毎月第 3 金曜日） ○男の料理教室（6、9、12、3 月の第 1 火曜日） ○恩多見守り隊・キレイ化活動
萩山町	○協力員バス研修（5/30） ○公開講座（6/26） ○お楽しみ会 ・1 丁目（10/25） ・2, 3, 4 丁目（11/8） ・5 丁目（10/24）	○ふれあい交流「はぎの花」※8 月除く ・1 丁目：ちびっこ広場（毎月第 4 金曜日） ・2, 3, 4 丁目：萩山公民館（毎月第 3 水曜日） ・5 丁目：東住宅（毎月第 3 月曜日） ・参加者交流会（7/9） ○ミニ喫茶はぎ（毎月第 2 木曜日）
栄町	○栄バザー（5/26） ○協力員バス研修（11/22） ○公開講座（2/8） ○おひなまつり会（3/1）	○栄カナリア（毎月第 2 火曜日） ○栄サロン（毎月第 4 火曜日）

富士見町	○ふれあいゲートボール大会 (4/27) ○ふじみお楽しみ会 (6/7) ○ふれあいコンサート (10/5) ○協力員会バス研修 (10/23)	○サロン花いかだ (月 1 回) ○サロン花いかだプラス (毎日) ○ふじみ玉すだれ一座 (不定期)
美住町	○団地夏祭り (7/28) ○敬老美住お楽しみ会 (10/14) ○協力員会バス研修 (10/30) ○団地フリーマーケット (11/2) ○公開講座 (11/11) ○みすみ第 1、第 2 合同サロン (コンサート) (12/9)	○みすみ第 1 サロン(毎月最終金曜日) ○みすみ第 2 サロン(毎月第 2 月曜日) ○筋力補強体操(毎月第 3 火曜日・第 4 木曜日)
廻田町	○料理教室 (5/15, 7/17, 3/19) ○護美プロジェクト (5/17, 8/2, 11/29) ○グラウンドゴルフ (10/19) ○協力員バス研修(11/19) ○講座 (1/18) ○お楽しみ会 (3/1)	○めぐりたサロン(毎月第 4 水曜日) ※8 月除く
多摩湖町	○協力員バス研修 (10/21) ○e スポーツ・ゲーム大会 (2/23) ○日本文化のお楽しみ会 (3/23)	○手芸サロンひまわり(毎月第 1 月曜日) ○ふれあいカフェ (毎月第 4 月曜日)
諏訪町	○協力員会バス研修 (5/21) ○お楽しみ会 (9/21) ○ボランティア祭りバザー (10/20) ○新春コンサート (1/10) ○春のコンサート (3/22)	
野口町	○映画会(6/10) ○協力員会研修(コボリン見学) (6/25) ○猿田彦夏祭り出店(綿あめ) (8/3・8/4) ○てんしゃばフェスタ(綿あめ)出店 (9/22) ○化成小多世代交流会 (10/19) ○地藏祭り(焼き団子)出店 (11/3) ○出前寄席&ミニコンサート (2/18) ○西口桜まつり(綿あめ)出店 (3/30)	

⑤地域での連携・協力活動、広報紙発行、会議

町	地域での連携 協力活動	広報紙発行	会議 (全体会・部会等)
本町	○大岱小学校新 1 年生下校見守り (4/9～4/19) ○大岱小新一年生下校見守り児童によるお礼の会 (7/3) ○久米川東小学校 小学校認知症サポーター養成講座のサポート (2/14)	「ゆかいなほんちょう」 (1,000 部、2 回発行)	○全体会 (10 回) ○役員会 (10 回) ○ミコミ紙編集委員会(7 回) ○茶話会実行委員会(1 回) ○バス研修実行委員会 ○おひなまつり実行委員会 (2 回) ○さくらまつり実行委員会 (1 回)
久米川町	○久米川東児童クラブとの交流 (11/18)	久米川町福祉だより (3,500 部、1 回発行)	○役員会(12 回) ○全体会 (3 回)

秋 津 町	○施設へのボランティア活動 ・里のかふえ、ふらっとカフェ、はるびの郷 ○ふれあいセンター - 桜まつり(4/7)、美化活動(6/15)、夕涼み会(8/25)	「あきつ」 (4,000部、5月・9月発行)	○全体会(6回) ○役員会(6回) ○広報部会・作業(9回) ○バンド「トレミファどん」 (サソ・茶話会等で演奏) 随時
青 葉 町	○南青葉自治会夕涼み会(8/4) ○2丁目夏祭り(8/24, 25)	「青葉ちゃんネル」(5,000部、7月・11月・3月発行)	○全体会(6回) ○部長会(3回)
恩 多 町	○三世代交流会(毎月第4日曜日) ○野火止小学校新1年生下校見守り(4/9～4/30) ○大岱小学校新1年生下校見守り(4/9～4/19) ○車いすボランティア(11回) (毎月第3水曜日)	「みんなの恩多町」 (50号・51号 各1500部、50号記念特別号4,500部)	○役員会(12回) ○定例会(12回) ○ミニコミ紙編集委員会(12回)
萩 山 町	○親子のひろば「どんぐり」 スタッフボランティア(11回) ○萩山小学校子どもを守る防犯連絡協議会 ○萩山小学校避難所運営連絡会(1回)、 萩山小学校避難訓練(9/7) ○萩山児童クラブとの交流(10/16) ○萩山ハロウィン(11/3) ○地域懇談会共催(6/29、2/28)	「萩山町福祉協力員会だより はぎやま」 (4,000部、45号・46号発行)	○全体会(11回) ○役員会(12回) ○ミニコミ編集会議(6回)
栄 町	○大岱小学校新1年生下校見守り(4/9～4/19) ○八坂小学校避難所運営連絡会(1回) ○八坂小学校授業(福祉学習)ボランティア(3回)	「さかえ町ひがしむらやま福祉協力員会だより」 (3,000部、2回発行)	○全体会(11回) ○役員会(12回) ○ミニコミ紙編集会議(1回) ○おひなまつり会実行委員(2回) ○健やか敬老事業メッセージカード作成会議(1回)
富士見町	○ふじみ玉すだれ一座 (ボランティア公演) ○さつき荘お楽しみ食事会 ボランティア(5/30) ○村山苑コドモナツマツリ ボランティア(7/25) ○福祉施設へ敬老のお祝い メッセージお届け(9/10) ○ふふふ懇談会への出席(10/26) ○富士見育成室との交流(11/18)	ふれあい富士見町 36号 (1,600部発行)	○全体会(10回) ○役員会(10回) ○ふれあいゲートボール大会実行委員会 ○ふじみお楽しみ会実行委員会 ○ふじみふれあいコンサート実行委員会 ○健やか敬老事業メッセージカード作成会議、作業
美 住 町	○七中避難所運営連絡会(2回) ○八坂小避難所運営連絡会(1回)	広報紙「みすみ」21号(4,200部発行)	○全体会(11回) ○役員会(11回) ○夏祭り・バザー実行委員会 ○敬老お楽しみ会実行委員会 ○広報紙編集委員会

廻 田 町	○廻田桜まつりへの協力 (4/7) ○回田小学校新学期こども食堂のお手伝い (8/30) ○回田小2年生まち探検ボランティア(9/17) ○廻田児童クラブとの交流 (10/15) ○白十字ホームボランティア(6月, 12月)	広報紙「めぐりた」(900部、6月・12月・3月発行)	○全体会 (11回) ○拡大役員会 (1回)
多摩湖町	○多摩湖町地域情報交換(4回) ○北山小おめでとうあいさつ運動 (4/8) ○白十字ボランティア(6月、12月) ○回田小特別子ども食堂 (8/30) ○回田小学校2年まち探検お店インタビュー(9/17) ○北山小昔遊び (1/16) ○ふれあいセンターまつり (10/12)、もちつき大会 (12/7) ○ハロウィン(10/26) ○桜まつり (3/30) ○移動販売周知活動	「ふれあいたまこ」(2,500部、9月・3月発行)	○全体会(12回) ○役員会(12回) ○広報編集会議・作業(6回)
諏 訪 町	○化成小1年生見守り(4/11・12) ○化成小1～2年生遠足付き添いボランティア (5/14) ○白十字ホーム (6/11・12)、八国苑デイサービス (6/21・22) ボランティア(菖蒲まつりの付添い) ○白十字ホーム敬老会折り紙作成(9/6) ○化成小・白十字ホーム里孫活動 (10/1・3・7・11, 11/21, 12/2・3・5) ○諏訪スポーツ祭り参加(10/20) ○白十字ホームランチョンマット・おみくじ作成(12/9・12)	「わが町諏訪町」106号・107号 (1,200部、2回発行)	○全体会(3回) ○運営委員会(3回) ○長寿実行委員会(2回) ○広報委員会(2回)
野 口 町	○四中赤ちゃん登校日協力 (6/6・7) ○白十字ホーム (6/12)・八国苑デイサービス (6/22) ボランティア(菖蒲まつりの付添い) ○野口町2丁目都営 JOINT 協力・夕涼み会(8/9)・敬老会(9/15)・クリスマス会(12/15) ○白十字ホームランチョンマット・おみくじ作成(12/9・12) ○化成小昔遊び協力 (1/16) ○ぷくぷく昔遊び (1/25) ○化成小認サポ (2/13) ○地域食堂ふたば協力(毎月第3金曜日) ○サロンにっこり・ほっこり協力 (毎月第2・4金曜日)	「たのしいまち野口町18号」(700部、1回発行、健やか敬老事業にて個別配付)	○全体会(4回) ○役員会(5回)

⑤各町の活動財源

町名	自主事業・その他	財 政				協力員数	会員数
		社協 助成	自主 事業	その他	合計		
本 町	講座等参加費等	134,060	257,080	330,420	721,560	32	209
久米川町		185,920	0	379,895	565,815	55	579
秋 津 町	バザー収入、サロン参加費	193,000	377,980	135,090	706,070	56	380
青 葉 町	珈琲サロン、料理教室等	236,460	141,600	858,672	1,236,732	41	297
恩 多 町	バザー収入、サロン参加費	191,720	72,100	363,041	626,861	52	309
萩 山 町	ミニ喫茶はぎ、研修会	201,980	67,050	221,974	491,004	42	339
栄 町	バザー収入、サロン参加費	164,020	98,800	404,382	667,202	44	175
富士見町	サロン参加費	160,000	7,940	310,230	478,170	40	367
美 住 町	サロン参加費、団地祭・団地夏祭り収入	155,940	66,889	228,567	451,396	21	189
廻 田 町	サロン・講座等参加費	140,560	99,750	342,125	582,435	28	216
多摩湖町	サロン参加費、イベント売上	99,280	120,968	372,204	592,452	38	302
諏 訪 町	フリーマーケット収入	147,880	45,908	151,241	345,029	35	444
野 口 町	夏祭り、地蔵祭り収入	66,480	372,300	881,094	1,319,784	30	324

(3) 地域ネットワーク活動の推進

項 目	実 績
地域懇談会の開催	○諏訪町地域懇談会（6/27、10/17）、幹事会（7回） ○北部エリア都営住宅自治会長懇談会（7/24、1/27） ○萩山町地域懇談会（6/29、2/28） ○ふふふ懇談会（10/26） ○廻田町地域懇談会（12/21） ○五中・東村山高校地域懇談会（2/10）
地域ネットワーク活動の支援	現在、市内で関わりのあるネットワーク活動の運営推進、課題解決等のため、会議や活動に参加した。 ○あいさつ運動代表者交流会 9/30 【萩山町あいさつ運動】 推進委員会（5回）、萩山小学校おめでとうあいさつ運動（4/8） 【諏訪町ゆっと】 幹事会（6回）運営委員会（6回）サロン開催（10回）地域交流会（野口台自治会）（1回）手引きの発行（400部） 広報紙発行（3回） 【青葉安心ネット】 運営委員会（11回）、全体会（5/19）、青葉小あいさつ運動（11回）、ちょこっとカフェ（毎月第3日曜日 8月除く 11回開催）、ふれあいこども食堂あおばへの協力（毎月最終土曜日 12回開催） 【アミーゴ青葉制作委員会】地域情報紙令和6年度前期、後期発行 【秋津あんしんネット】 運営委員会（11回）、サポーターの集い（5/25）、ふらっとカフェ（12回）、子ども弁当の配布（8/5～27・7回、12/26、27・2回、3/27、28・2回） はるびの郷花壇の手入れ、東部マッチングイベント（6/1）、介護予防大作戦（2/8） 【本町だいじょうぶだぁネット】運営委員会（8回）、護美プロジェクト（11/30、3/1）、報告&研修会（6/15）

	【野口町あいさつふれあい運動実行委員会】 北山小学校・化成小学校おめでとうあいさつ運動（4/8） 実行委員会（3回）、のぐちゃんラバーストラップ北山小児童への配付 『北山防犯』プレート作成・北山小1年生保護者に配布（70枚） 【富士見町あいさつ運動】推進委員会（2回）、実行委員会（3回） 【富士見町施設連絡会】 連絡会（6回）、担当施設打合せ（4回）、ふふふ懇談会実行委員会（2回） 【WE♥恩多町プラン推進会】 推進会（10回）、PR チラシ入りポケットティッシュ配布、小中学生協力ポスター作成、大岱小・野火止小登校時あいさつ&護美プロ活動（7回）、5中生との＃護美プロジェクトコラボ（7/24・8/20）、おしゃべり会・居場所カフェ開催（6回）																																							
	○ひきこもり家族会の支援 ・家族会オアシス 第4土曜日 13：30～ 社協の会場提供 家族会を実施。市役所自立相談課による支援窓口「えん」と情報共有を適宜行い連携した。その他、他地区社協と情報交換。当事者の居場所づくりについて検討。																																							
	○子ども食堂・地域食堂の支援 ・ネットワーク運営及び支援(名称:東村山市子ども食堂等ネットワーク) 6回開催、7月に東村山市子ども食堂等 MAP 第2版発行及び市内小中学校へ全校生徒分配布。 ・6/21「ご近所交流会 with 東村山&小平」、3/18「こども食堂立上げ講座」、3/30「子ども食堂立ち上げ講座 in 秋津」を実施。 ・1/27 東村山市立第二中学校特別支援学級、3/4 民生委員児童委員協議会生活福祉部会にて出前講座。 ・都内子ども食堂・子どもの食支援ネットワーク等担当者連絡会への参画 企画メイト打合せ7回/連絡会参加および企画運営(9/10)																																							
住民活動の拠点 (ふれあいスペースいっぷく)	南部エリアの拠点として福祉協力員会の会議や事業での利用のほか、高齢者や障がい者、子どもの居場所等のサロン活動、ボランティアグループの話し合いの場など様々な地域活動で利用されている。 利用実績（延べ） <table><tr><td>月</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td></tr><tr><td>団体数</td><td>17</td><td>17</td><td>19</td><td>19</td><td>9</td><td>17</td><td>16</td><td>18</td><td>18</td><td>16</td><td>18</td><td>17</td></tr><tr><td>人数</td><td>126</td><td>118</td><td>144</td><td>127</td><td>69</td><td>124</td><td>114</td><td>150</td><td>128</td><td>130</td><td>141</td><td>127</td></tr></table> ①いっぷく運営連絡会の開催 地域のふれあいと交流のよりよい場づくりを目指して、利用団体等と意見交換、大掃除を行っている。また、引き続き活動団体紹介チラシの作成および発行を実施。 ・第1回9月26日（木）10団体14名参加 ・第2回2月14日（金）8団体8名参加 ②ボランティア活動等の支援 ベルマークボランティア 日時；毎月第1火曜日 13:30～15:00 内容；ベルマークの企業別整理、計算	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	団体数	17	17	19	19	9	17	16	18	18	16	18	17	人数	126	118	144	127	69	124	114	150	128	130	141	127
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3																												
団体数	17	17	19	19	9	17	16	18	18	16	18	17																												
人数	126	118	144	127	69	124	114	150	128	130	141	127																												
吉田さろん	ボランティアグループや青葉町福祉協力員会、見守りネットワーク活動等、青葉町の地域活動拠点として利用されている。																																							
介護予防大作戦 in 東村山	※第1層生活支援コーディネーター事業にて報告。																																							

(4) 第1層生活支援コーディネーター事業

資源や地域ニーズの把握	個別事例や地域課題の把握・検討地域 個別の事例や地域で暮らしている高齢者の生活課題や社会参加に関する課題等の把握、または検討を行った。 ①担当地域部会 (6/21: 西部圏域) ②自立支援型地域ケア会議への参加 (8/8、3/14: 中部圏域、1/17: 南部圏域、3/18: 東部圏域) ③まちづくり担当と各圏域地域包括支援センターとの連携会議への参加 市内5圏域の連携会議へ参加し福祉協力員会や地域ネットワークの動きについて情報収集を行うとともに、地域課題や社会資源の把握に努めた。 開催日 (東部: 第4火曜日 西部: 第3火曜日、南部: 第3金曜日、北部: 第3月曜日 中部: 第4金曜日) ④サロン見学会の振り返り・懇談会 (南部中部合同地域ケア会議) (2/19) ⑤サロン交流会等への参加 ・北部サロン交流会 12/2 ・中部サロン交流会 12/25 ・西部サロン交流会 3/26				
第1層協議体 (ささえ合い活動推進会議) の推進	第1層協議体の目標である①『ご近所づきあいやサロン活動、地域活動などの小グループの中に取り入れられるささえ合いのしくみを考える』②『そのしくみをいろいろなところで話し合い、広げていく』をテーマとして、具体的な取組みについて協議した。それにより今年度は地域懇談会を企画、エリアを廻田町に決定し準備・調整し実施に至った。 ○ささえ合い活動推進会議 (5/1、7/3、9/4、11/6、1/15、3/5) (計6回) ○廻田町地域懇談会 12/21				
情報発信ツールの発行・活用	住民活動の情報や介護予防や社会参加の重要性、生活支援体制整備事業等について住民にわかりやすく伝えるためのツールとして『のめっこい通信(生活支援コーディネーター通信)』を発行した。(2回: 9月、3月)1,200部×2回				
第2層生活支援コーディネーターの活動支援等	市・第1層・第2層コーディネーターが共通の認識をもち、一定の基準で地域づくりを進めていくため、会議や研修会の開催、情報の集約等の側面的なサポートをおこなった。 ○生活支援コーディネーター会議の開催 (原則として毎月第3月曜日) <table border="1"> <tr> <td>開催日</td><td>4/15、5/20、6/17、7/22、8/22、9/19、10/28、11/20、12/16、1/20、2/17、3/17 (12回)</td></tr> <tr> <td>検討内容等 (主なもの)</td><td> ・市全域、各圏域の目標の設定について ・今年度のCo.研修等の実施について ・協議体、調査、書式等についての共有 ・のめっこい通信の発行について ・各圏域の協議の場づくりの進捗状況について ・元気アップマップ聞き取り調査、発行について ・マッチングイベント (東部) の開催について ・地域アセスメントシートについて ・研修振り返り ・移動支援の要望がありそうなエリア (法人連絡会との連携) について ・地域ケア会議で出た課題2点について ・来年度のささえ合い活動推進会議について ・ちょいたし講座、フレイル予防講座、通所C型について等 </td></tr> </table> ○生活支援Co. スキルアップ研修会 ・生活支援Co. 研修会 (3回) テーマ『市民の自立を促すための会話術』8/19 テーマ『チームの力で問題解決!』前編 10/21・後編 11/18	開催日	4/15、5/20、6/17、7/22、8/22、9/19、10/28、11/20、12/16、1/20、2/17、3/17 (12回)	検討内容等 (主なもの)	・市全域、各圏域の目標の設定について ・今年度のCo.研修等の実施について ・協議体、調査、書式等についての共有 ・のめっこい通信の発行について ・各圏域の協議の場づくりの進捗状況について ・元気アップマップ聞き取り調査、発行について ・マッチングイベント (東部) の開催について ・地域アセスメントシートについて ・研修振り返り ・移動支援の要望がありそうなエリア (法人連絡会との連携) について ・地域ケア会議で出た課題2点について ・来年度のささえ合い活動推進会議について ・ちょいたし講座、フレイル予防講座、通所C型について等
開催日	4/15、5/20、6/17、7/22、8/22、9/19、10/28、11/20、12/16、1/20、2/17、3/17 (12回)				
検討内容等 (主なもの)	・市全域、各圏域の目標の設定について ・今年度のCo.研修等の実施について ・協議体、調査、書式等についての共有 ・のめっこい通信の発行について ・各圏域の協議の場づくりの進捗状況について ・元気アップマップ聞き取り調査、発行について ・マッチングイベント (東部) の開催について ・地域アセスメントシートについて ・研修振り返り ・移動支援の要望がありそうなエリア (法人連絡会との連携) について ・地域ケア会議で出た課題2点について ・来年度のささえ合い活動推進会議について ・ちょいたし講座、フレイル予防講座、通所C型について等				

	○2 層生活支援コーディネーターへのヒアリング ・昨年度の振り返りや 2 層 Co. の目標の共有等を行うとともに業務の推進上の課題や意見、今後の取組に向けての意向などを聞き取り、事業計画等への参考とした。 ・北部：4/4、8/23 ・西部：4/16、8/7、3/14 ・中部：4/24、6/18、3/11 ・東部：5/1、8/13、3/3 ・南部：5/7、7/5、3/13 ○各圏域マッチングイベントの企画、実行委員会の運営サポート 圏域ごとに開催するマッチングイベントにおいて、2 層 Co. を企画や運営面でサポートした。 ・東部圏域：実行委員会 4/4、5/9、7/4（R5 年度から継続して打合せ） 参加団体事前説明会：4/23（火）AM 開催日時：6/1（土）13:30～15:30 場所：秋津公民館 来場者：101 名																																																									
「2024 介護予防大作戦 in 東村山」の推進	人と人とのつながりや団体同士のネットワークの再構築をはたらきかけていくとともに、各町の実情に合わせて住民の日常的な介護予防や社会参加につながる取組みを検討・企画した。 ①各町で実施する介護予防と健康づくりに関する取組み (各町地域推進委員会の取組み) <table><tr><th colspan="6">各町地域推進委員会の開催</th></tr><tr><td>本町</td><td>7 回</td><td>萩山町</td><td>5 回</td><td>廻田町</td><td>6 回</td></tr><tr><td>久米川町</td><td>6 回</td><td>栄町</td><td>5 回</td><td>多摩湖町</td><td>6 回</td></tr><tr><td>秋津町</td><td>3 回</td><td>富士見町</td><td>8 回</td><td>諏訪町</td><td>4 回</td></tr><tr><td>青葉町</td><td>8 回</td><td>美住町</td><td>7 回</td><td>野口町</td><td>5 回</td></tr></table> ○各町地域開催の取り組み状況 <table><tr><th></th><th>日 時</th><th>内 容</th></tr><tr><td>野口</td><td>10/27（日） 13:00～15:30 社会福祉協議会</td><td>講演「口の健康と口腔ケア」 フレイルチェック、吹矢、脳トレ、 輪投げ、介護相談コーナー、他</td></tr><tr><td>栄</td><td>11/3（日祝） 13:30～15:30 栄町ふれあいセンター</td><td>講演「口腔ケアで健康づくり」 輪投げ、ふまねっと、脳トレ、 レクダンス、等</td></tr><tr><td>萩山</td><td>11/16（土） 10:00～13:00 萩山公民館</td><td>特別講演 テーマ「低栄養予防」 各講座（測定、試食、身体を動かす） 医療・保健の情報</td></tr><tr><td>美住</td><td>11/17（日） 13:30～15:30 グリーンタウン美住 第一集会室</td><td>「えっちゃんと唄う秋の歌」 紙芝居とティータイム、測定、 脳トレ、介護相談</td></tr><tr><td>久米川</td><td>11/17（日） 13:30～15:40 久米川ふれあいセンター</td><td>講座「防災の備え」、健康体操、 脳トレ、輪投げ、測定、相談コーナー レクダンス、ミュージックベル演奏</td></tr><tr><td>富士見</td><td>11/23（土祝） 13:00～15:30 富士見公民館</td><td>講和「消防からのお話」 輪投げ、ボッチャ、脳トレ 中央公園・防災ウォーキング等</td></tr><tr><td>多摩湖</td><td>11/24（日） 10:00～12:00 多摩湖ふれあいセンター</td><td>護美プロジェクト (スポーツごみ拾い)</td></tr><tr><td>諏訪</td><td>11/24（日） 10:00～12:30</td><td>講話「軽体操で介護予防」 健康ダンスと替え歌、</td></tr></table>	各町地域推進委員会の開催						本町	7 回	萩山町	5 回	廻田町	6 回	久米川町	6 回	栄町	5 回	多摩湖町	6 回	秋津町	3 回	富士見町	8 回	諏訪町	4 回	青葉町	8 回	美住町	7 回	野口町	5 回		日 時	内 容	野口	10/27（日） 13:00～15:30 社会福祉協議会	講演「口の健康と口腔ケア」 フレイルチェック、吹矢、脳トレ、 輪投げ、介護相談コーナー、他	栄	11/3（日祝） 13:30～15:30 栄町ふれあいセンター	講演「口腔ケアで健康づくり」 輪投げ、ふまねっと、脳トレ、 レクダンス、等	萩山	11/16（土） 10:00～13:00 萩山公民館	特別講演 テーマ「低栄養予防」 各講座（測定、試食、身体を動かす） 医療・保健の情報	美住	11/17（日） 13:30～15:30 グリーンタウン美住 第一集会室	「えっちゃんと唄う秋の歌」 紙芝居とティータイム、測定、 脳トレ、介護相談	久米川	11/17（日） 13:30～15:40 久米川ふれあいセンター	講座「防災の備え」、健康体操、 脳トレ、輪投げ、測定、相談コーナー レクダンス、ミュージックベル演奏	富士見	11/23（土祝） 13:00～15:30 富士見公民館	講和「消防からのお話」 輪投げ、ボッチャ、脳トレ 中央公園・防災ウォーキング等	多摩湖	11/24（日） 10:00～12:00 多摩湖ふれあいセンター	護美プロジェクト (スポーツごみ拾い)	諏訪	11/24（日） 10:00～12:30	講話「軽体操で介護予防」 健康ダンスと替え歌、
各町地域推進委員会の開催																																																										
本町	7 回	萩山町	5 回	廻田町	6 回																																																					
久米川町	6 回	栄町	5 回	多摩湖町	6 回																																																					
秋津町	3 回	富士見町	8 回	諏訪町	4 回																																																					
青葉町	8 回	美住町	7 回	野口町	5 回																																																					
	日 時	内 容																																																								
野口	10/27（日） 13:00～15:30 社会福祉協議会	講演「口の健康と口腔ケア」 フレイルチェック、吹矢、脳トレ、 輪投げ、介護相談コーナー、他																																																								
栄	11/3（日祝） 13:30～15:30 栄町ふれあいセンター	講演「口腔ケアで健康づくり」 輪投げ、ふまねっと、脳トレ、 レクダンス、等																																																								
萩山	11/16（土） 10:00～13:00 萩山公民館	特別講演 テーマ「低栄養予防」 各講座（測定、試食、身体を動かす） 医療・保健の情報																																																								
美住	11/17（日） 13:30～15:30 グリーンタウン美住 第一集会室	「えっちゃんと唄う秋の歌」 紙芝居とティータイム、測定、 脳トレ、介護相談																																																								
久米川	11/17（日） 13:30～15:40 久米川ふれあいセンター	講座「防災の備え」、健康体操、 脳トレ、輪投げ、測定、相談コーナー レクダンス、ミュージックベル演奏																																																								
富士見	11/23（土祝） 13:00～15:30 富士見公民館	講和「消防からのお話」 輪投げ、ボッチャ、脳トレ 中央公園・防災ウォーキング等																																																								
多摩湖	11/24（日） 10:00～12:00 多摩湖ふれあいセンター	護美プロジェクト (スポーツごみ拾い)																																																								
諏訪	11/24（日） 10:00～12:30	講話「軽体操で介護予防」 健康ダンスと替え歌、																																																								

		社会福祉センター	講演「高齢者の食事と栄養」、試食会
	廻田	11/30（土） 10:00～12:30 廻田公民館	講演「日常でできる！ゆかいな体操」 ボッチャ、昔遊び、高齢者疑似体験、福祉作業所の展示&ワークショップ
	恩多	12/1（日） 13:30～14:30 恩多ふれあいセンター	講演「今さらお医者さんに聞けないあんなこと、こんなこと」 みんなの体操、コーヒーマイク
	本	2/1（土） 11:00～14:00 市民センター	講演「生活をゆたかに」 吹矢、ボッチャ、脳トレ、測定 子ども食堂 + 紙芝居
	秋津	2/8（土） 13:00～15:00 秋津公民館	講演：「骨の健康と食事栄養のこと」 骨密度測定、輪投げ、縄跳び、射的、休憩・相談コーナー
	青葉	2/9（日） 13:00～14:30 青葉小学校 体育館	講演「正しいウォーキング」 実技、おもてなし
	②中央実行委員会等の取り組み 全体方針や事業推進のための会議の実施 ・役員会 6/13、9/25、12/4、2/13、3/21（5回） ・実行委員会 6/27、10/7、12/10、2/26、3/28（5回） 中央大会の開催 開催日：令和7年3月8日（土）13:30～15:30 場所：中央公民館ホール 参加人数：163名（参加者・スタッフ含む） ③事業の広報・周知 「かいごよぼう十四号」の発行（7月号）2000部		

（５）地域福祉活動団体の運営支援

項 目	実 績
助成金の交付	○令和6年度の助成金を下記の通り交付した。 地域福祉活動助成（6団体）281,000円 当事者団体助成（7団体）234,200円 ふれあい・いきいきサロン運営費助成（47団体）957,140円 福祉団体助成（3団体）861,000円 ○令和7年度の助成金交付に向けて 説明会の実施（1/31） 申請受付（2/3～2/14） 審査会の開催（3/3）
ふれあい・いきいきサロン 箇所数	ふれあい・いきいきサロン 57団体 70か所（高齢者、障害者、子育て、世代間交流サロン等）
サロン・スタッフ交流会 等	○情報収集、情報提供を行い、サロン活動の様子をホームページ等で発信、広報を行った。 ○サロン交流会を開催した。 5/31 南部サロン交流会（14団体 25名参加） 12/2 北部サロン交流会（15団体 15名参加） 12/25 中部サロン交流会（9団体 15名参加） 3/26 西部サロン交流会（9団体 19名参加）

(6) 障害者週間・福祉のつどい

項 目	実 績																		
実施体制・実施内容の検討	昨年同様、担い手不足から従来のように運営委員会が組織できず、実行委員会のみで実施することとなった。 実施内容については、今年度も都障害者スポーツ協会の協力を得られるとのことで、パラスポーツ等を介する市民交流として実施を計画。																		
実行委員会	福祉だより 5 月号及び、市内障害福祉事業所 50 ヶ所へ郵送もしくは手渡しで実行委員募集案内。〆切を 7 月末とした。 実行委員会は、15 団体と 1 名の個人参加で組織した。 <table><tr><th></th><th>日</th><th>内 容</th></tr><tr><td>第 1 回</td><td>7/11</td><td>自己紹介、今年度の実施体制・実施内容(案)について</td></tr><tr><td>第 2 回</td><td>9/12</td><td>チラシイメージ、予算案、パラスポ交流、事業所紹介パネル&作品展示、体験コーナー、自主製作品販売について。</td></tr><tr><td>第 3 回</td><td>10/10</td><td>広報確認、スタンプラリー・エコバック、販売・パネル展示・体験ブースなどの確認</td></tr><tr><td>第 4 回</td><td>11/14</td><td>当日の確認（時間、配置、物など）</td></tr><tr><td>第 5 回</td><td>12/12</td><td>振り返り、来年度のイメージに関して</td></tr></table>		日	内 容	第 1 回	7/11	自己紹介、今年度の実施体制・実施内容(案)について	第 2 回	9/12	チラシイメージ、予算案、パラスポ交流、事業所紹介パネル&作品展示、体験コーナー、自主製作品販売について。	第 3 回	10/10	広報確認、スタンプラリー・エコバック、販売・パネル展示・体験ブースなどの確認	第 4 回	11/14	当日の確認（時間、配置、物など）	第 5 回	12/12	振り返り、来年度のイメージに関して
	日	内 容																	
第 1 回	7/11	自己紹介、今年度の実施体制・実施内容(案)について																	
第 2 回	9/12	チラシイメージ、予算案、パラスポ交流、事業所紹介パネル&作品展示、体験コーナー、自主製作品販売について。																	
第 3 回	10/10	広報確認、スタンプラリー・エコバック、販売・パネル展示・体験ブースなどの確認																	
第 4 回	11/14	当日の確認（時間、配置、物など）																	
第 5 回	12/12	振り返り、来年度のイメージに関して																	
実施内容	○12/6(金)10 時～15 時；市役所グリーンバス停前 市内障害者施設の自主製作品の販売（5 団体参加） ○12/7(土)10 時～15 時 30 分；市民スポーツセンター パラスポーツ体験（車いすバスケットボール/車いすバドミントン/ブラインドサッカー/ゴールボール/ボッチャ/ユニカール/ビームライフル）、電動車椅子体験、手話体験、市内障害者施設紹介パネルと作品展（13 団体参加） ○スタンプラリー実施、つどいキャラクター「つなぎんぼ」エコバック配布 ○アンケート回収（55 名・スポセン会場）																		

2 標準服リユース事業

市内中学校の標準服の寄付を募り、新 1 年生のいる世帯や、その他の事情で標準服を必要としている世帯へ標準服の譲渡を行った。

①標準服の寄付受付、保管、管理、譲渡

卒業生・在学生のいる世帯から寄付を預かった。譲渡の問い合わせには随時対応し、世帯の希望に合うものを渡した。

寄付受付件数	譲渡問合せ件数（延べ）	譲渡件数
29 件／125 点	86 件	52 世帯／113 点

○標準服が必要になった理由

新入学・転入…28 件、サイズが合わなくなった…17 件

ベスト・ネクタイ等の付属品のみ…4 件、その他…3 件

②標準服の募集

福祉だよりやホームページ等で事業の周知と寄付の呼びかけを随時行った。また、市社会教育課を通じて、PTA 連合会の会合に出席し、事業の周知と寄附のお願いを行った。

3. ボランティアセンター

(1) ボランティア・市民活動相談

項 目	実 績
相談及び調整	①様々な相談を受け、解決に向けて社協組織内の各係や他機関と連携した。 ・新規ケース；9件（書道、外出付き添いなど） ・継続支援ケース；8件（囲碁、外出付添、話し相手、書道 など） （以下、ボランティアセンターを通して調整した件数のみ記載） ・要請者数；8名、要請件数；70件、活動者数（のべ）；72名 ・その他の相談、支援；31件（不登校生徒の支援、地域猫などの問い合わせ、特性のある方の相談と傾聴 など） ・その他の初期相談；4件（団体の紹介、庭の手入れ、音訳の相談） ②施設ボランティア活動・ボランティア要請に関する相談及び調整を行った。 要請件数；29件、活動者数（のべ）；50名、活動団体数（のべ）；18団体 ③ボランティアグループ、NPO・市民活動団体の運営や活動に関する相談に応じた。
ボランティア登録	個人登録104名、グループ登録73団体、2,015名
ボランティア保険	保険加入者3,087名（内、天災プラン加入者70名） 事故報告 2件（活動中の転倒による骨折）

(2) 連携・ネットワーク

項 目	実 績
ボランティアグループとの連携	①ボランティアグループ懇談会の開催 ・情報交換やネットワーク構築の場として月1回（第4土曜日午前）、ボランティアグループ懇談会を開催した。 ・ボランティアグループ懇談会の活動の支援 情報誌「ボランティアグループ一覧」の作成（6月・170部） ・VSネットの実施（5月） ・ボランティアまつりを開催（10月20日） ②グッドフェローズの支援 定例会（第4金曜日午後）や、子ども達が安心して過ごせる居場所「ぐっどすぺーす」（7月30日、31日、12月26、27日場所：社協）に参加し、活動を支援した。 ③ベルマークボランティアの支援 定例会（第1火曜日午後）に参加し活動を支援した。 化成小学校に寄贈（9月11日）
施設・団体との連携	感染症の影響でしばらくボランティアの受け入れがされていなかった施設や団体に、現在の受け入れ状況や受け入れ再開に向けて施設・団体が抱えている課題や必要な手立て、今後の要望を把握するためアンケート調査を実施した。 ・配布団体数 65団体 ・回答団体36団体
他社協との連携	①区市町村ボランティア・市民活動推進担当者会議（4月17日、7月25日、10月15日、1月17日） ②区市町村ボランティア・市民活動センター長会議（6月21日、9月5日、12月4日、2月20日） ③北多摩北部ブロック社協ボランティア担当者連絡会（5月16日、10月2日、2月20日） ④東久留米市社会福祉協議会補助金審査委員会（4月11日、9月5日、2月7日）

会議等への参加	①ささえ合い活動推進会議（５月１日、７月３日、９月４日、１１月６日、１月１５日、３月５日） ②市民活動連絡会（６月２６日、１０月２３日、２月１９日） ③都内中学校、高等学校、高等部の教員とのボランティア活動に関する情報交換会（８月９日）
---------	--

（３）情報の収集・提供

項 目	実 績
情報の収集と提供	①毎月１回ボランティアネットを発行した。 ②ボランティア活動情報を収集し、提供した。 ③福祉だより(社協広報紙)に、ボランティアセンター関連情報を掲載した。 ④ボランティアセンターの情報をより細やかに伝えるため、社協ホームページに加え、ボランティアセンター独自のホームページを運営し、活用した。 SNS との連携、QR コードの活用により、仮設ホームページへのアクセシビリティの向上を図った。 ⑤ボランティアセンターX アカウントにより情報発信を行った。 ⑥社協掲示板を活用して、ボランティア活動等の情報発信を行った。 ⑦登録ボランティアに対して、ボランティア活動情報や講座・イベント等の情報提供を個別に行った。 ⑧視覚障がい者への支援を行った。（ボランティアネットの点訳版、音訳版の作成）

（４）ボランティア活動推進委員会の開催

項 目	実 績
委員会の開催	①ボランティア活動推進委員会を開催した。（６月２０日、１１月１１日、２月６日） ②ボランティア活動推進委員会のほかに、次の小委員会を開催した。 １）ボランティア需給調整委員会 毎月第２・４木曜日 計１４回開催 ２）ボランティアネット編集委員会 毎月第１金曜日 計１０回開催

（５）災害ボランティアセンターの運営

項 目	実 績
災害ボランティアセンター設置・運営訓練など	①社協災害プロジェクト会議を開催し、東村山災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルの見直しのための検討を行った。（５月２９日、６月２６日、７月２４日、８月２８日、９月２５日、１２月２０日、１月１７日、１月２３日、２月５日、２月２６日、３月１０日） ・氷見市社協の災害ボランティアセンターの設置状況や運営等について視察（オンラインでの説明）を行った。（９月１２日） ・災害ボランティアセンター設置・運営訓練を東村山災害スタボラ会と共に実施。新たにキントーンを使用した運営とニーズ調査についての訓練を行った。（３月１７日）※職員説明会（３月１０日） ②東村山災害スタボラ会の定例会（毎月第４金曜日の午後）に参加し、情報共有や活動支援を行った。 ③市総合防災訓練へ参加し、災害ボランティアセンター、能登半島地震被災者支援ボランティア、第６次地域福祉活動計画（防災）についてのアンケート調査、パネル展示と車いす体験を行った。（９月７日） ④中央公民館が主催する市民講座「はじめての災害時ボランティア」に、ボランティアセンター職員と能登半島地震被災者支援ボランティア参加者が講師とし

	て参加した（９月１２日） ⑤北北ブロック会議にて、災害ボランティアセンター運営におけるキントーン学習会を行った（１０月２日※再掲）
災害支援活動	能登半島地震の発生に係り、東京都生活文化スポーツ局、東京ボランティアセンター・市民活動センター、災害協働サポート東京の３者で行う能登半島地震被災者支援ボランティア（サロン活動）の募集・受付を行った。 東村山で受け付けて現地へボランティアに参加した方５名。 ○能登半島ボランティア 募集期間：４月～９月までの全２３回。延べボランティア参加人数：３８９名、被災者数３，９７９名。 ※１０月～３月は災害協働サポート東京主催で、被災者支援ボランティア（サロン活動）を実施した。また、社協窓口に義援金募金箱を設置している（令和６年能登半島地震、令和６年７月大雨災害、令和６年９月能登豪雨、令和７年大船渡火災）。

４ 福祉教育の推進

（１）青少年へのボランティア・福祉教育の推進

項 目	実 績
福祉学習の相談・調整・支援	学校やボランティアグループ等と連携を図り、福祉教育の推進を行う。 ○支援校数：１１校（学年別に集計、対象は小、中学校） ○実施回数：６４回（学校との打ち合わせ回数を含む）※相談回数は除く ○主な依頼内容：福祉学習（車いす体験・アイマスク体験・高齢者擬似体験、視覚障害者のお話、手話体験、防災学習、福祉施設や地域の方のお話、当事者による講話など）、取り組み内容の相談・アドバイス、講師派遣・調整、機器等貸出など。 ○ボランティアグループ等の協力：福祉さんき会、視覚障害当事者、車いすユーザー、東村山聴覚障害者協会、東村山手話サークル、東村山手話サークルしおり、はるびの郷、秋津町福祉協力員会 ○ゲストティーチャー交流会を３月３１日に実施。
夏体験ボランティア事業	企画に先駆け、福祉施設や団体を対象に、受け入れに関するアンケートを行った。そのうち、「協力可」と回答のあった福祉施設や団体と受け入れについて調整し、実施した。 ○活動期間：８月１日～８月３１日 ○申込者：１４８名 参加者：１００名（小学生４０名、中学生４１名、高校生１６名、大学生３名） ○活動人数：のべ２４７名 ○オリエンテーション：オリエンテーション動画を作成し、参加者には事前に視聴してもらった上で後日個別対応を行った。（７月１６日～２４日） ○活動メニュー：５０施設・団体の７４プログラム（老人ホーム、デイサービス、高齢者サロン、放課後等デイ、保育園、子育てひろば、ベルマークの整理、募金箱作成、サロン活動への参加、夏祭りのお手伝い、公園の花壇づくり、オンラインおためし講座のお手伝い、子ども食堂 など） ○振り返り 活動に職員が同行し、振り返りを行った。感想文の提出。小・中学生には子ども協力員（ボラチル）の案内をしたところ、１名（小学生）が登録し、夏休み以降も活動。 ※受付や希望する活動のエントリーについて、昨年に引き続き Google フォーム

	を活用し、利便性を図った。 ※参加者へ感染症対策の注意喚起を行い、参加者に活動日前後1週間の健康観察を呼び掛けた。
福祉のお仕事座談会「おためしふくし塾」	福祉の仕事の魅力を発信することを目的に、①福祉施設での実際の「職場体験」と、②福祉の仕事のやりがいテーマにした「座談会」をセットで開催した。 ○実施期間 ①職場体験：8月19日～27日の中で1箇所以上を選択 ②座談会：8月29日 ○参加者：6名（高校生1名、大学生5名）※座談会は1名欠席、実習生2名参加 ○協力団体：多摩すずらん、東村山子育て支援ネットワークすずめ、さつき荘、ひまわり
ボラチル（子ども協力員）の活動支援	地域の催事や市内施設・施設での活動をボラチルに紹介、参加につなげた。 ボラチル登録者；7名 活動先；7か所（プレーパーク、ボランティアまつり、施設のイベントなど） 活動人数；のべ11名
子ども・若者の活動支援	第三中学校より生徒のボランティア活動について相談を受け、春休み期間中の活動を紹介し、参加につなげた。 活動先；2か所（3月：オンラインおためし講座、4月：地域行事） 活動人数；4名

（２）担い手の育成

項 目	実 績
オンラインおためし講座	LINE と Zoom の使い方を学ぶ講座を開催した。（5月30日、8月20日、12月26日、3月27日 ※12月は参加者なし） （参加者のべ12名）
防災力アップ講座	地域防災力の向上を目的とした、「あなたの力が東村山を救う 防災力アップ講座」を開催した。講義の他に諏訪町をまち歩きを取り入れるなど、プログラムに工夫をした。 開催期間；5月18日～6月15日の各土曜日、全5回 参加申込者；24名 講師：蓑田圭二氏、羽根川雅美氏、東村山災害スタボラ会、地域防災団体他
点訳ボランティア講座	点字について基礎から学び、点訳ボランティアを始めるきっかけを目的「点訳ボランティア講座」を開催した。 開催期間；10月9日～12月11日の各水曜日、全10回 参加申込者；16名 講師：点字サークル虹の会

5 高齢者生きがい事業

(1) 高齢者生きがい事業

項 目	実 績																																																																																																												
憩いの家利用者サービス事業	①児童クラブとの交流事業・季節のつどい 集う形での交流の方向で、各児童クラブ、児童館・育成室と今年度の実施に向けて打合せ・意見交換を行い、全ての憩いの家で交流会を実施した。消防法等の関係で、別会場にて実施するエリアもあった。 ・10/15 廻田…憩いの家。参加者 48 名。昔遊び、児童ダンス、みんなで歌。 ・10/21 萩山…萩山児童クラブ。参加者 74 名。手話歌、昔遊び。 ・11/18 久米川…久米川ふれあいセンター。参加者 64 名。 児童ダンス、フラダンス、昔遊び。 ・11/18 富士見…憩いの家。参加者 46 名。 昔遊び、児童けん玉披露、みんなで歌（ギター演奏）。 ②集いと交流の日 火曜日（久米川・廻田）、木曜日（萩山・富士見）の旧・循環バス運行日を「集いと交流の日」とし、カラオケや軽体操など気軽に参加できるプログラムを実施した。また、各ボランティアとの意見交換を目的に各憩いの家でボランティア交流会（3 月）を実施した。 ③生きがいサークル支援 集いと交流のボランティアと共にサークル講師との交流会を実施した（3 月）。																																																																																																												
いきいきサロン萩山の運営	利用登録者数；59 名（令和 7 年 3 月末現在） ①利用延人数 <table><tr><th></th><th>4 月</th><th>5 月</th><th>6 月</th><th>7 月</th><th>8 月</th><th>9 月</th><th>上半期 合計</th><th></th></tr><tr><td>男性</td><td>11</td><td>14</td><td>17</td><td>13</td><td>8</td><td>11</td><td>74</td><td></td></tr><tr><td>女性</td><td>175</td><td>199</td><td>191</td><td>144</td><td>58</td><td>125</td><td>892</td><td></td></tr><tr><td>合計</td><td>186</td><td>213</td><td>208</td><td>157</td><td>66</td><td>136</td><td>966</td><td></td></tr><tr><td>新規</td><td>2</td><td>3</td><td>2</td><td>0</td><td>0</td><td>2</td><td>9</td><td></td></tr><tr><td>退会</td><td>2</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td><td>5</td><td></td></tr><tr><th></th><th>10 月</th><th>11 月</th><th>12 月</th><th>1 月</th><th>2 月</th><th>3 月</th><th>下半期 合計</th><th>年度 合計</th></tr><tr><td>男性</td><td>8</td><td>10</td><td>5</td><td>4</td><td>12</td><td>29</td><td>68</td><td>142</td></tr><tr><td>女性</td><td>129</td><td>192</td><td>210</td><td>184</td><td>200</td><td>216</td><td>1131</td><td>2023</td></tr><tr><td>合計</td><td>137</td><td>202</td><td>215</td><td>188</td><td>212</td><td>245</td><td>1199</td><td>2165</td></tr><tr><td>新規</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td><td>6</td><td>1</td><td>9</td><td>18</td></tr><tr><td>退会</td><td>0</td><td>1</td><td>1</td><td>2</td><td>0</td><td>0</td><td>4</td><td>9</td></tr></table> ②スタッフ月例ミーティング（月 1 回） 利用者の状況や対応の申し送り、活動内容の検討 ③バス研修 4/26(金) 築地、NHK 放送博物館、参加者 27 名 ④新年交流会 1/24（金）ボランティアグループによる演目（和太鼓、手話ダンス、踊り）の鑑賞等、参加者 37 名		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	上半期 合計		男性	11	14	17	13	8	11	74		女性	175	199	191	144	58	125	892		合計	186	213	208	157	66	136	966		新規	2	3	2	0	0	2	9		退会	2	1	1	1	0	0	5			10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	下半期 合計	年度 合計	男性	8	10	5	4	12	29	68	142	女性	129	192	210	184	200	216	1131	2023	合計	137	202	215	188	212	245	1199	2165	新規	1	0	0	1	6	1	9	18	退会	0	1	1	2	0	0	4	9
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	上半期 合計																																																																																																						
男性	11	14	17	13	8	11	74																																																																																																						
女性	175	199	191	144	58	125	892																																																																																																						
合計	186	213	208	157	66	136	966																																																																																																						
新規	2	3	2	0	0	2	9																																																																																																						
退会	2	1	1	1	0	0	5																																																																																																						
	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	下半期 合計	年度 合計																																																																																																					
男性	8	10	5	4	12	29	68	142																																																																																																					
女性	129	192	210	184	200	216	1131	2023																																																																																																					
合計	137	202	215	188	212	245	1199	2165																																																																																																					
新規	1	0	0	1	6	1	9	18																																																																																																					
退会	0	1	1	2	0	0	4	9																																																																																																					
高齢者生きがい講座	「めざせ、昔遊びマスター！～遊びは人と人をつなげるツール～」 開催日：3/12（水）																																																																																																												

	内容：ボランティアグループ「遊び塾」による昔遊び体験・講話、福祉協力員会等の活動紹介 参加者：9名
--	---

(2) 敬老福祉啓発事業

健やか敬老事業	○市・所管課との協議 ・4月26日（金）；これまでの実施内容及び協議内容の確認を行う。今年度の実施内容について協議。 ・6月3日（月）；市・所管課との協議。今年度の実施内容（含記念品選考）について協議。 ・前事業の「長寿を共に祝う会」では関係者会議を実施していたが、本事業では実施せずに各町福祉協力員会の会議等の場で事業内容や協力依頼を行うこととし、5月下旬頃から順次進めた。 ・市所管課との協議内容については、社協の理事者の承諾を得た後、各町福祉協力員会の全体会等の場で説明した。 ○実施までの経過 7月；記念品選定・発注。各町お祝いメッセージの集約および印刷発注。 郵便局とのスケジュール等の確認。 8月；中旬にお祝い状、記念品等封入を福祉作業所に依頼及び下旬に納品。 9月；発送作業（発送数；1,562名）。 ・対象者全員へお祝い状と記念品（市内福祉用具事業所提案の体操ゴムバンド、市内茶屋提供のお茶パック）等を郵送。従来と異なり、郵送規格にスマートレターを採用。もしくは手配りによりお届けした（手配り実施町；本町、青葉町、諏訪町、多摩湖町）。
「高齢者への手紙」（米寿のお祝い）	○児童から高齢者への手紙 ・5月；教育部教育総務係を通じて、校長会に依頼文・作文用紙を提出。5月中に各校へ配付。 ・7月～8月；児童からの手紙回収、検読。 ・9月上旬；お祝い状、記念品、児童からの手紙封入作業、発送準備。

6 健康長寿のまちづくり推進事業

多目的講座室利用状況（延べ件数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
市老連	10	8	11	11	10	10	9	8	11	8	8	14	118
高齢者団体	8	17	9	10	9	10	11	11	9	10	11	9	124
福祉団体 他	1	1	2	3	1	2	3	2	3	1	3	1	23
市	25	7	4	8	9	5	11	5	6	10	4	4	98
計	44	33	26	32	29	27	34	26	29	29	26	28	363

7 老人クラブ等助成事務及び育成相談事業

項 目	実 績																																																	
補助金申請 援助	市老連事務局は、書類提出時点で軽微な誤りや書類不足等の点検を行い、領収書のデータ入力作業を行った。市健康増進課にて内容検査を行った上で、対面でのヒアリングを実施した。書類等の修正を行ったうえで、補助金申請及び実績報告書を社協から市健康増進課へ提出した。 ・令和6年度東村山市老人クラブ補助金申請書及び令和5年度実績報告書の受付及びチェック；4月1日（月）～5日（金） ・領収書データ入力等；4月1日（月）～12日（金） ・補助金対面ヒアリング；4月15日（月） ・返還金対応；5月7日（火）																																																	
老人クラブ の育成・相 談	・補助金対象会員数；1,490名/前年度 比較 35名減 ・市外、重複入会含む老人クラブ加入総数；1,522名/前年度 比較 26名減 ・解散1クラブ。 ○令和6年4月末現在 老人クラブ数；30クラブ 会員数；1,522名 <table><tr><th>町名</th><th>本町</th><th>久米川</th><th>秋津</th><th>青葉</th><th>恩多</th><th>萩山</th><th>栄</th></tr><tr><td>クラブ数</td><td></td><td>5</td><td>1</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>5</td></tr><tr><td>会員数</td><td></td><td>259</td><td>65</td><td>49</td><td>60</td><td>127</td><td>239</td></tr></table> <table><tr><th>町名</th><th>富士見</th><th>美住</th><th>廻田</th><th>多摩湖</th><th>諏訪</th><th>野口</th></tr><tr><td>クラブ数</td><td>4</td><td>2</td><td>2</td><td>1</td><td>2</td><td>2</td></tr><tr><td>会員数</td><td>169</td><td>81</td><td>92</td><td>91</td><td>170</td><td>120</td></tr></table> 【相談概要】 1 市老連行事の相談 2 単位クラブの運営支援 3 単位クラブ主催行事への協力依頼や相談 4 その他	町名	本町	久米川	秋津	青葉	恩多	萩山	栄	クラブ数		5	1	1	2	3	5	会員数		259	65	49	60	127	239	町名	富士見	美住	廻田	多摩湖	諏訪	野口	クラブ数	4	2	2	1	2	2	会員数	169	81	92	91	170	120				
町名	本町	久米川	秋津	青葉	恩多	萩山	栄																																											
クラブ数		5	1	1	2	3	5																																											
会員数		259	65	49	60	127	239																																											
町名	富士見	美住	廻田	多摩湖	諏訪	野口																																												
クラブ数	4	2	2	1	2	2																																												
会員数	169	81	92	91	170	120																																												
連合会事務 局の運営及 び活動支援	○事務所及び談話室来訪者数（件） <table><tr><th></th><th>①老人ク ラブ会員 （人）</th><th>②会員外 高齢者 （人）</th><th>③職員他 （人）</th><th>④談話室 利用人）</th><th>⑤電話外 線（本）</th><th>⑥電話内 線（本）</th><th>対応計</th></tr><tr><td>年間計</td><td>1,591</td><td>896</td><td>879</td><td>478</td><td>1,296</td><td>753</td><td>5,893</td></tr><tr><td>月平均</td><td>133</td><td>75</td><td>73</td><td>40</td><td>180</td><td>63</td><td></td></tr><tr><td>日平均</td><td>7</td><td>4</td><td>4</td><td>2</td><td>5</td><td>3</td><td></td></tr></table> ※①②③は、いきいきプラザ4階市老連事務室来訪者数。 ④は、いきいきプラザ4階健康長寿のまちづくり推進室談話室利用者数。 ⑤、⑥は、市老連事務所電話対応数。 ○令和6年度市老連活動実績 <table><tr><th>活動 項目</th><th>主な活動</th><th>4月～6月</th><th>7月～9月</th><th>10月～12月</th><th>1～3月</th></tr><tr><td rowspan="2">奉 社 仕 会 活 動</td><td>総務部会活動</td><td>2回 18人</td><td>1回 7人</td><td>1回 8人</td><td></td></tr><tr><td>友愛実践活動</td><td></td><td></td><td>1回 100人</td><td></td></tr></table>		①老人ク ラブ会員 （人）	②会員外 高齢者 （人）	③職員他 （人）	④談話室 利用人）	⑤電話外 線（本）	⑥電話内 線（本）	対応計	年間計	1,591	896	879	478	1,296	753	5,893	月平均	133	75	73	40	180	63		日平均	7	4	4	2	5	3		活動 項目	主な活動	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1～3月	奉 社 仕 会 活 動	総務部会活動	2回 18人	1回 7人	1回 8人		友愛実践活動			1回 100人	
	①老人ク ラブ会員 （人）	②会員外 高齢者 （人）	③職員他 （人）	④談話室 利用人）	⑤電話外 線（本）	⑥電話内 線（本）	対応計																																											
年間計	1,591	896	879	478	1,296	753	5,893																																											
月平均	133	75	73	40	180	63																																												
日平均	7	4	4	2	5	3																																												
活動 項目	主な活動	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1～3月																																													
奉 社 仕 会 活 動	総務部会活動	2回 18人	1回 7人	1回 8人																																														
	友愛実践活動			1回 100人																																														

	健康づくり活動	厚生部会活動	2 回 20 人		2 回 23 人	
		健康体操教室	5 回 88 人	6 回 103 人	6 回 82 人	6 回 81 人
		レクダンス講習	4 回 127 人	3 回 102 人	3 回 73 人	3 回 71 人
		介護予防大作戦 (レクダンス)				1 回 30 人
		レクリエーション講習会				4 回 190 人
		運動会準備・講習	2 回 54 人	1 回 76 人		
		平均年齢 80 歳の運動会		280 人		
		グランドゴルフ大会	1 回 130 人		1 回 125 人	
		輪投げ大会	150 人		1 回 164 人	
	生きがいを高める活動	文化部会活動	4 回 55 人	9 回 110 人	3 回 26 人	3 回 60 人
		緑の祭典	51 人			
		女性部会活動	8 回 93 人	3 回 26 人	5 回 68 人	7 回 92 人
		広報部会活動	6 回 35 人	5 回 41 人	8 回 52 人	4 回 33 人
		手芸教室	1 回 20 人		1 回 23 人	1 回 23 人
		芸能文化祭関連			9 回 2,129 人	
		子ども文化実行委員会	1 回 1 人		1 回 2 人	1 回 2 人
		GOGO 子どもアートデー	35 人			
		多摩湖町自治会 ハロウィン			1 回 5 人	
	その他の社会活動	都老人クラブ連合会 行事・会議・研修等	6 回 36 人	4 回 46 人	7 回 100 人	7 回 49 人
		市老連会長会、地区協議 会活動等	6 回 159 人	6 回 123 人	8 回 150 人	8 回 202 人
		役員会、役員研修等	3 回 38 人	3 回 37 人	3 回 37 人	4 回 43 人
		国、都、市関連行事・会 議等	2 名			
		社協地域福祉大会	1 回 1 人			
		その他	1 回 6 人			1 回 6 人
	その他	航空委自衛隊お祭り		1 回 40 人		
		会員親睦旅行等		1 回 73 人		1 回 104 人

Ⅱ 相談事業

1 総合相談事業

係を横断した「総合相談チーム」を編成し、市民からのあらゆる相談に対して必要に応じて福祉サービス等の情報を提供するとともに、相談内容により社協他事業や関係機関等に繋ぐ支援を行った。

- ・相談経路は昨年同様、「本人」が最も多く、継続相談になるケースも増えた。
- ・相談内容に関しては、住まいや金銭に関する相談や地域関係に関する相談が多かった。

(1) 相談実績

①新規、継続相談件数

・新規相談者	3 8	(4 2)	() 内は 令和 5 年度	
新規相談の対応結果	継続相談	1 8		(1 6)
	初回相談のみ	2 0		(2 6)
・前年度からの継続相談者	0	(7)		

※「初回相談のみ」は、「相談を受ける→情報提供した」という1往復のやりとりで終了したものの。情報提供等したのち、さらに相談等が続いたものを継続相談としている。

②相談経路

本人	家族・ 親族	友人・ 知人	近隣・ 自治会	福祉協力員・ 民生委員	学校・病 院・関係機 関	社協内	その 他	計
20	7	3	4	0	1	0	3	38

③地域別

本	久	恩	秋	青	萩	栄	計
2	1	3	3	3	1	1	
富	美	廻	多	諏	野	不明	
1	2	3	1	0	1	16	

④月別の電話相談、来所、連絡調整等の延べ件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月		
1	6	14	19	4	8		
10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度
17	11	6	0	0	5	91	(246)

⑤対応方法（延べ件数）

来所相談	電話相談	家庭訪問	電話訪問	ケース連絡	ケース引継ぎ	その他	合計
15	36	2	10	15	2	11	91

⑥相談内容（延べ件数）

1. 病気や健康、障がいについて	13	10. 家族との関係について	10
2. 住まいについて	8	11. 子育てについて	1
3. 収入・生活費について	10	12. 介護について	4
4. 家賃やローンの支払いについて	4	13. ひきこもり・不登校について	6
5. 税金や公共料金の支払い	4	14. DV・虐待について	8
6. 債務について	4	15. 食べるものがない	0

7. 仕事探し、就職について	3	16. ペット	0
8. 仕事上の不安やトラブル	0	17. 身寄りがない、身元保証等	1
9. 地域との関係について	14	18. その他	45
		合計	135

その他の内容：地域のお祭りの情報がほしい、ホームページで抽選結果を見てほしい、等

(2) 相談対応の検証・分析

チームミーティングの開催

毎月第1火曜日10：30～定例開催とし、計9回開催した。

(3) 総合相談チーム（暮らしの相談ステーション）の発信

福祉だより 令和7年3月1日号掲載

(4) 社協職員のスキルアップを目的とした取り組み

「社協内連携のすすめ ～チームでケースを考えよう～」(事例に基づく情報交換)

参加者23名

(5) 調査・研究

2 生活福祉資金貸付事業

低所得者、障がい者もしくは高齢者のいる世帯の生活の安定と経済的自立を図るため、資金の貸付と必要な相談支援を行った。東社協受託事業。

(1) 貸付・償還相談

①貸付・償還等相談件数（項目重複あり、来所・電話相談等、延べ件数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
福祉費	10	22	20	38	37	27	21	21	13	8	12	20	249
教育支援資金	67	60	71	24	31	69	43	29	46	43	53	72	608
緊急小口資金	11	15	5	18	18	28	18	7	17	8	14	22	181
総合支援資金・ 離職者支援資金	14	12	13	14	9	3	4	3	0	2	1	2	77
不動産担保型生活資金・ 要保護世帯向け不動産 担保型貸付資金	7	3	3	6	10	4	1	0	0	3	1	6	44

②貸付実績報告（辞退含まず）

※貸付決定 36 件

資金種類				貸付 決定 件数	貸付決定金額
生活福祉資金	福祉資金	福祉費 ※	障害者用自動車の購入に必要な経費	1 件	2,173,000 円
			住居の移転等に必要な経費	1 件	441,000 円
			生活保護受給者の国民年金の任意加入により納める保険料の経費	0 件	0 円
			生活保護受給世帯の生活必需品等の購入に必要な費用	2 件	127,000 円
			技能習得に必要な経費	0 件	0 円
			葬祭に必要な経費	1 件	454,000 円
		緊急小口資金		5 件	452,000 円
	教育支援資金	教育支援費		16 件	16,769,900 円
		就学支度費		8 件	1,700,000 円
	総合支援資金	生活支援費	生活再建までの生活費用 (12 ヶ月以内)	2 件	759,000 円
		住宅入居費	敷金・礼金等住宅の賃貸契約を結ぶ 為に必要な費用	0 件	0 円
		一時生活再建費	生活再建の為に一時的に必要な費用	0 件	0 円
	不動産担保型生活資金	不動産担保型生活資金		0 件	0 円
		要保護世帯向け不動産担保型生活資金		0 件	0 円
臨時特例つなぎ資金			住居のない離職者が公的給付・ 貸付を受けるまでの生活費	0 件	0 円

※福祉資金・福祉費は貸付実績のある資金種類のみを掲載。

③償還相談及び救済制度等の申請手続き

貸付対象の世帯は様々な生活上の課題を抱えており、借受世帯の安定や自立促進のために、償還猶予や延滞利子免除の適用検討・手続きを行った。東京都社会福祉協議会からの発行帳票を送付する際などに、電話・訪問を適宜行い償還を促すと共に、償還状況を確認しながら救済制度の適用を図った。

償還猶予	延滞利子免除	償還免除
4 件	1 件	5 件

④市関係機関等との連携・協議

○民生委員・児童委員協議会

合同及び地区定例会へ適宜参加して事業周知を進めるとともに、貸付世帯の情報共有を個別に行った。また、民生委員による生活福祉資金借受世帯への支援状況を確認するため、支援記録票の点検を行った。

日 時	場 所	点検者
令和 6 年 5 月 17 日（金）	社協・地域福祉活動室	地区会長 5 名

○自立相談課・ほっとシティ東村山

相談の調整をスムーズに図ることができるよう、市役所自立相談課、ほっとシティ東村山（自立相談支援機関）と定期的にケース連絡・情報交換を行うことになった。

日程	相手先	内容
令和 7 年 2 月 20 日（木）	ほっとシティ東村山	生活困窮者自立支援法の一部改正、特例貸付のフォローアップ支援、応急小口資金の償還状況について

⑤会議、研修

項目	出席者数	実施日	場 所
令和 6 年度 生活福祉資金新任職員研修	1 名	4 月 11 日（木） 4 月 22 日（月） 4 月 30 日（火） 6 月 13 日（月）	家の光会館 7 階 または オンライン
新型コロナウイルス感染症に係る緊急小口等特例貸付事務説明会	4 名	5 月 10 日（金）	オンライン
令和 6 年度 生活福祉資金貸付事業説明会	1 名	6 月 28 日（金）	オンライン
令和 6 年度 生活福祉資金実務研修会 「教育支援資金の運用について」	1 名	8 月 30 日（金）	家の光会館 7 階
民生委員調査書等の見直しにかかる生活福祉資金貸付制度の運用変更案説明会	1 名	9 月 3 日（火）	飯田橋セントラルプラザ 12 階
令和 6 年度 生活福祉資金 本則およびコロナ特例貸付事業説明会	2 名	10 月 25 日（金）	オンライン
令和 6 年度 コロナ特例貸付意見交換会	2 名	11 月 22 日（金）	飯田橋レインボービル 7 階
令和 6 年度 生活福祉資金 事例検討会	1 名	12 月 9 日（月）	飯田橋セントラルプラザ 12 階
特例貸付事務説明①	2 名	12 月 12 日（木）	オンライン
関連制度研修「自立相談支援機関」について	1 名	1 月 28 日（火）	研究社英語センター大会議室
特例貸付事務説明②	1 名	2 月 28 日（火）	オンライン

（２）緊急小口資金等特例貸付に関わるフォローアップ支援

特例貸付を借り受けた世帯の相談先は東京都社会福祉協議会が設置した「特例貸付事務センター」が基本となっているが、対面での手続き支援や継続相談支援が必要な世帯などについては、引き続き

来所や電話による相談を受け付けた。また、償還猶予中世帯については生活状況確認等を実施した。

○コロナ特例貸付の償還相談・支援

借受世帯の状況に応じて、償還方法の変更・償還免除申請・償還猶予申請、償還困難申出、ほっとシティへの相談などを案内した。償還免除、償還猶予、償還困難申出を希望する相談者のうち、社会福祉協議会の意見書等が必要となる場合に、相談と申請受付を行った

(償還猶予；申請：17世帯／36件、償還困難申出；申請：2世帯／2件、償還免除；申請：7世帯／13件)。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
特例貸付借受世帯からの償還相談（来所・電話相談等、延べ件数）	41	41	78	37	34	34	41	40	65	53	61	42	567

3 ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業

母子父子家庭高等職業訓練促進給付金を活用して養成機関に在学、資格取得を目指すひとり親家庭の親を対象とし、入学準備金・就職準備金を貸し付ける。地区社協は申込書・借用書の収受、送付業務を行う。東社協受託事業。

相談件数	入学準備金	就職準備金
0件	0件	0件

4 応急小口資金貸付事業

低所得世帯が不測の事態により、緊急かつ一時的に生活資金が必要になった際に貸付を行った。また、ほっとシティ東村山による自立相談支援利用者に関しては柔軟に対応した。未償還者に対しては個別に連絡を試み、反応のない世帯には督促状を発行した。社協独自事業。

○貸付・償還件数及び金額

(件数及び金額は延べの数字)

貸付件数	貸付金額	償還件数	償還金額
57件	567,767円	84件	645,021円

※前年度以前の貸出金の償還も含む。

○相談経路

生活福祉課	18件
自立相談課	22件
ほっとシティ	13件
以前貸付利用	3件
その他	1
合計	57件

○世帯状況

生活保護申請中	21件
生活保護受給中	19件
就労中	9件
老齢年金受給中	8件
合計	57件

○運営委員会

運営委員：5名（社協理事）

日程	場所	内容
令和6年9月11日（水）	社協・地域福祉活動室	令和5年度事業報告、償還免除について、意見・情報交換等

5 中部地域包括支援センター（基幹型）

基幹型地域包括支援センターの令和6年度重点事業は、①「東村山市ACP（人生会議）シート」の作成・発行、②地域ケア会議課題循環の仕組みづくり、③チームオレンジ立ち上げに向けての支援となっている。上半期に①が完成し現在専門職や市民に普及するための講座等を実施している。令和6年度の課題を整理し令和7年度で検討を深める準備をしたり、次年度のチームオレンジ立ち上げを目指し市民向け講座メニューの内容を検討した。

項 目	実 績
1. 介護予防・日常生活支援総合事業の支援	①課題を解決する取組につながるような仕組みづくり ：市 所管との定例協議 11回 ②適切な介護予防ケアマネジメントの実施支援 ：包括主任介護支援専門員会議において「介護予防ケアプラン立案の手引き」作成 9月26日研修「介護予防支援・ケアマネジメントの視点と実践」実施協力（市 介護保険課主催） 自立支援型地域ケア会議への参加（各地域型地域包括支援センター主催）（東部1回、西部1回、南部2回、中部2回）
2. 生活支援体制整備事業の支援	①認知症の方を地域で見守り支援するための体制づくり ：上記の体制づくりのため、市・基幹型・認知症地域推進委員・生活支援コーディネーターと会議を重ねた。 認知症施策会議 11回 9月17日 ステップアップ講座中央開催 ②生活支援コーディネーターの活動支援 ：生活支援コーディネーター定例協議 12回 第1層協議体関係 各地域包括支援センターと社会福祉協議会まちづくり支援係との連携会議（東部11回、西部11回、南部10回、北部10回、中部12回） 6月 1日 東部マッチングイベント支援（会議3回、説明会1回） 各圏域サロン交流会への参加 ③介護予防大作戦への支援
3. 包括的・継続的ケアマネジメント支援	①主任介護支援専門員会議 6回 ：「介護予防ケアプラン立案の手引き」作成 総合事業について、市と協議 ケアプラン点検実施に向けての打ち合わせ ②介護保険事業者連絡会の支援 1) 居宅介護支援事業者連絡会 総会 4月14日 役員会 12回 研修会 3回 主任CM部会 全体会1回、 点検部会3回、制度業務部会11回、研修部会7回 2) 訪問介護事業者連絡会 総会 5月21日 役員会 4回 サ責部会 6回（9月 市所管と総合事業についての意見交換） 研修会 1回

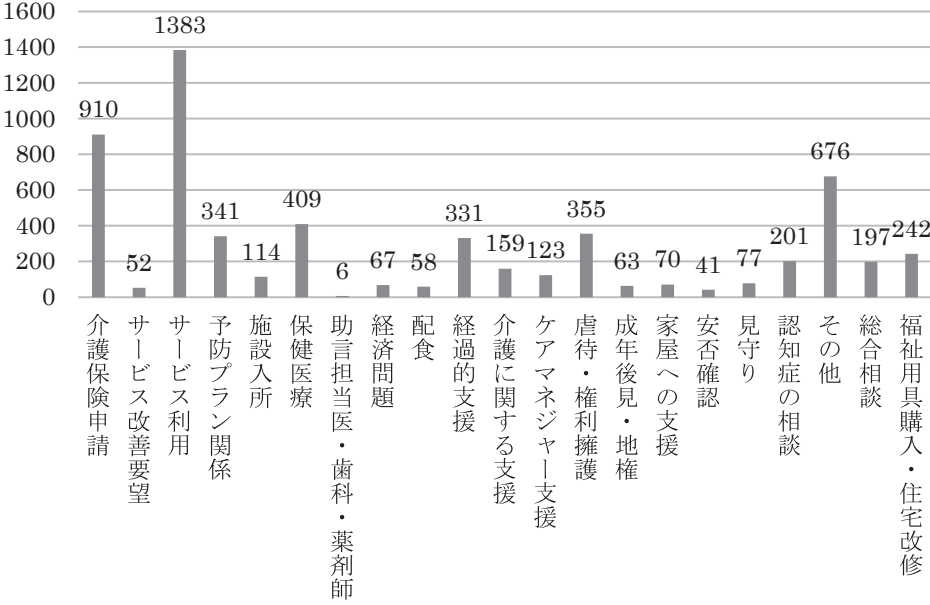
	3) 通所サービス事業者連絡会 総会 5月15日 役員会 4回 研修会 2回 交流会 1回 ③介護保険事業者連絡会同士の連携支援 : Kネット（東村山市介護サービス事業者等ネットワーク）運営委員会 →居宅介護支援事業者、訪問介護事業者、通所サービス事業者、訪問看護ST、老健の各連絡会代表、高福連代表が参加 5月13日 今年度の計画、課題について市との意見交換（人材不足、総合事業等）、各連絡会の動向等 8月19日 BCP訓練についての意見聴取、データ連携についてのお願い 12月9日 BCP訓練についてのふりかえり ④在宅医療・介護連携の体制構築 : 在宅療養窓口会議の開催 12回 意思決定支援ツールの「東村山版ACP（人生会議）シート」作成・発行 多職種連携研修 3回 7月11日「ACP（人生会議）の基本編」磯部 健夫氏 9月13日「身寄りのないかたを支援するお役立ち制度」松原 拓郎氏 1月23日「ACPの実践編」 他団体の支援 糖医会研修開催の支援 8月24日 研修会（オンライン開催）、打合せ5回 医療介護連携推進委員会への参加 7月10日 ⑤認知症のある方に対する支援についての相談 : 認知症施策会議 11回 チームオレンジ立ち上げに向けての準備 初期集中支援相談 実人数1回、延べ1回 東村山市行方不明高齢者検索ネットワーク発動 6回 北多摩北部圏域 初期集中支援部会に参加
4. 地域型地域包括支援センターの統括	①各地域型地域包括支援センターの統括 : 地域支援事業に関した会議の運営や、地域型運営の支援 総合事業についての意見交換等 ②保険者・地域型地域包括支援センターとの会議体の企画・運営 : 定例協議 11回、実務リーダー会議 12回 虐待対応・関係機関連携強化会議 10回

6 中部地域包括支援センター（地域型；本町・久米川町・恩多町担当）

認知症があっても暮らし続けるまちづくりを目指し、認知症サポーター養成講座を市民向けに実施するとともに、店舗や施設職員に対しても行った。さらに、認知症になっても、馴染んだ場所に参加し続けられるように、サロンスタッフへの啓発・認知症の方の受入支援を行った。

また、在宅療養支援窓口として、広報誌を作成し、ACPについての普及啓発を行った。

(1) 総合相談支援

項 目	実 績																																											
総合相談支援	① 新規相談件数 (件)																																											
	<table><tr><th></th><th>独居</th><th>高齢世帯</th><th>同居</th><th>入院</th><th>その他</th><th>合計</th></tr><tr><td>件数</td><td>210</td><td>202</td><td>157</td><td>97</td><td>72</td><td>738</td></tr><tr><td>(%)</td><td>28.5</td><td>27.4</td><td>21.3</td><td>13.1</td><td>9.7</td><td>100.0</td></tr></table>		独居	高齢世帯	同居	入院	その他	合計	件数	210	202	157	97	72	738	(%)	28.5	27.4	21.3	13.1	9.7	100.0																						
		独居	高齢世帯	同居	入院	その他	合計																																					
	件数	210	202	157	97	72	738																																					
	(%)	28.5	27.4	21.3	13.1	9.7	100.0																																					
	② 相談件数 (件)																																											
	<table><tr><th></th><th>電話</th><th>訪問</th><th>来所</th><th>メール・ファックス</th><th>その他</th><th>合計</th></tr><tr><td>件数</td><td>4903</td><td>1718</td><td>332</td><td>201</td><td>51</td><td>7205</td></tr><tr><td>(%)</td><td>68.0</td><td>23.8</td><td>4.6</td><td>2.8</td><td>0.8</td><td>100.0</td></tr></table>		電話	訪問	来所	メール・ファックス	その他	合計	件数	4903	1718	332	201	51	7205	(%)	68.0	23.8	4.6	2.8	0.8	100.0																						
		電話	訪問	来所	メール・ファックス	その他	合計																																					
	件数	4903	1718	332	201	51	7205																																					
	(%)	68.0	23.8	4.6	2.8	0.8	100.0																																					
③ 相談内容																																												
昨年度と同様、介護保険利用および認定申請に関する相談が多い。																																												
 <table><thead><tr><th>相談内容</th><th>件数</th></tr></thead><tbody><tr><td>介護保険申請</td><td>910</td></tr><tr><td>サービス改善要望</td><td>52</td></tr><tr><td>サービス利用</td><td>1383</td></tr><tr><td>予防プラン関係</td><td>341</td></tr><tr><td>施設入所</td><td>114</td></tr><tr><td>保健医療</td><td>409</td></tr><tr><td>助言担当医・歯科・薬剤師</td><td>6</td></tr><tr><td>経済問題</td><td>67</td></tr><tr><td>配食</td><td>58</td></tr><tr><td>経過的支援</td><td>331</td></tr><tr><td>介護に関する支援</td><td>159</td></tr><tr><td>ケアマネジャー支援</td><td>123</td></tr><tr><td>虐待・権利擁護</td><td>355</td></tr><tr><td>成年後見・地権</td><td>63</td></tr><tr><td>家屋への支援</td><td>70</td></tr><tr><td>安否確認</td><td>41</td></tr><tr><td>見守り</td><td>77</td></tr><tr><td>認知症の相談</td><td>201</td></tr><tr><td>その他</td><td>676</td></tr><tr><td>総合相談</td><td>197</td></tr><tr><td>福祉用具購入・住宅改修</td><td>242</td></tr></tbody></table>	相談内容	件数	介護保険申請	910	サービス改善要望	52	サービス利用	1383	予防プラン関係	341	施設入所	114	保健医療	409	助言担当医・歯科・薬剤師	6	経済問題	67	配食	58	経過的支援	331	介護に関する支援	159	ケアマネジャー支援	123	虐待・権利擁護	355	成年後見・地権	63	家屋への支援	70	安否確認	41	見守り	77	認知症の相談	201	その他	676	総合相談	197	福祉用具購入・住宅改修	242
相談内容	件数																																											
介護保険申請	910																																											
サービス改善要望	52																																											
サービス利用	1383																																											
予防プラン関係	341																																											
施設入所	114																																											
保健医療	409																																											
助言担当医・歯科・薬剤師	6																																											
経済問題	67																																											
配食	58																																											
経過的支援	331																																											
介護に関する支援	159																																											
ケアマネジャー支援	123																																											
虐待・権利擁護	355																																											
成年後見・地権	63																																											
家屋への支援	70																																											
安否確認	41																																											
見守り	77																																											
認知症の相談	201																																											
その他	676																																											
総合相談	197																																											
福祉用具購入・住宅改修	242																																											
担当圏域の民生委員との連携	地域住民から受けた相談や、民生委員自身が気付いた地域課題について随時連絡を頂き、必要に応じて対象者への訪問・見守り等を行った。 地域ケア会議を行い、地域の持つ強みや課題の共有と、高齢者に関する情報交換を行った。																																											
民生委員不在地区訪問の実施	民生委員不在地区の対象世帯に緊急連絡先確認書類及び啓発チラシを投函した。																																											
包括支援センターの周知	昨年度好評だった『もしもの話を大切な人と。ACP』の続編をテーマに広報紙を発行し、配布した。																																											

(2) 介護予防ケアマネジメント事業

項 目	実 績						
介護予防ケア マネジメント	担当圏域内で、介護保険サービスの利用を希望する要支援認定者及び事業対象者 に対して、介護予防ケアマネジメントを実施した。また、利用者の同意が得られ 事業所も受入が可能なケースについては、居宅介護支援事業所へ委託した。 今年度より、居宅介護支援事業所が直接介護予防サービスの契約ができるよう になったため、ケアマネジメント数は減少している。また、委託は全体の 53.0%で あり、包括職員が直接ケアマネジャーとして担当する件数が依然として多い。						
	介護予防ケアマネジメント件数						(件)
	月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
	件数	674	666	653	644	637	640
	うち委託	371	363	348	340	326	343
	うち新規	15	12	17	18	8	12
	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	合計
	640	640	643	640	640	644	7761
	341	341	340	337	335	333	4118
	15	17	17	15	13	23	182

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援

項 目	実 績
担当圏域の介護支援専門員への支援	担当圏域の介護支援専門員が利用者に寄り添い、その人らしい日常生活を営むことを支援できるように介護支援専門員に対して支援を行った。 ① ケアプラン点検 ケアプラン点検全体打ち合わせ 1 回 ケアプラン点検 8 月
	② 介護支援専門員への支援 地域の介護支援専門員からの相談に応じ、延べ1 2 3 件の個別相談を行った。
地域の連携体制の構築	担当地域の医療・介護、その他の関係者が協働できるような地域の関係機関の連携体制の構築に努め、地域ケア会議を開催した。

(4) 権利擁護事業

項 目	実 績
高齢者虐待への取り組み	① 高齢者虐待の早期発見解決に向けて、東村山市と連携して対応した虐待対応件数（延べ）355 件 ② 地域住民・関係機関への啓発及び協力体制づくりを行った虐待防止、関係機関連携強化会議への出席 1 0 回

	③職場内研修を開催（サービス従業者向け虐待防止研修）した 社協 高齢者虐待防止研修 7月25日(木)13:30～15:00
--	--

（５）在宅療養・介護連携推進事業

項 目	実 績			
在宅医療・介護連携への取り組み	① 在宅療養支援窓口の利用 助言担当医への相談、往診依頼、地域ケア会議への参加等 8件			
	② 在宅療養支援窓口会議への出席 11回（1回悪天候のため未開催）			
	③ 在宅療養支援窓口通信『どんとこい！』発行 目的：地域型包括支援センターの機能である在宅療養支援窓口の市民への普及啓発のため、在宅療養で起こりがちな困りごとや在宅療養を支える専門職の紹介を行った。			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>号数</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第6号 8月発行</td><td>「ACP」の普及啓発、訪問看護の現場から事例紹介</td></tr> </tbody> </table>	号数	内容	第6号 8月発行
号数	内容			
第6号 8月発行	「ACP」の普及啓発、訪問看護の現場から事例紹介			
	④市民向け ACP 普及啓発講座（地域ケア会議）の開催（12月11日）：東村山市版 ACP シートの紹介も兼ねて、老いを迎えた時の ACP をテーマとして、ACP の必要性を自分事として捉えられる機会とした。 誰にでも訪れる“老い”により人生の最終段階を意識した時、自ら ACP について考え、気軽に周囲と話し合ったり、ACP シートを試しに作成してみるというプロセスを動画を用いて視覚化し、シート記入を実践した。			

（６）地域ネットワーク構築

項 目	実 績	
認知症への対応	○認知症施策会議への出席 11 回	
	○認知症サポーター養成に関わる取り組み	
	日程(種別)	対象／人数
	7 月 4 日(認サポ)	一般市民／28 名
	8 月 2 日(事業所向け認サポ)	事業所職員／3 名
	9 月 10 日(企業向け認サポ)	イトーヨーカドー職員／16 名
	9 月 17 日(ステップアップ)	認サポ受講生／26 名
	12 月 7 日(企業向け認サポ)	新日本婦人の会東村山支部／19 名
	2 月 14 日(学校認サポ)	久米川東小学校 4 年生／74 名
	※7 月 4 日の講座参加者の内、希望者には認知症ステップアップ講座の案内を送付した。	
○パルシステムより認知症についての講座依頼あり、3 月 17 日実施。		
協議体の開催	○協議体「本町アパート令和会」にて高齢者の生活に関するニーズ調査と災害時の避難行動に関する調査を行った。4 月 23 日～5 月 18 日	
	○上記結果を「本町アパート令和会」にて報告、助け合い活動に向けた活用についての働きかけをした。8 月 25 日	
	○協議体「ラポール会」で行った高齢者の生活に関するニーズ、災害時の避難行動に関する調査の報告会、防災に関わるミニ講座を開催した。4 月 27 日	
	○協議体「ラポール会」会議の開催支援 5 回	
	○協議体「介護サロンほんちようカフェ」連絡会議の開催支援 5 回	
	○協議体「介護サロンほんちようカフェ」で「むらのあきまつり」に参加し広報活動を行った。9 月 22 日	

見守りネットワークの支援	高齢者見守りネットワーク「本町だいじょうぶだぁネット」の運営を支援した。 ・運営委員会の開催支援。8回 ・報告・研修会「睡眠時無呼吸症候群について」の実施。6月15日 ・見守り活動助成、申請手続きの支援 ・まちなか護美プロジェクトの開催 9月22日、11月30日、3月1日
介護予防活動連携支援	・まちづくり支援係と共に圏域の「介護予防大作戦」の会議及び当日に参加し支援した。11回 ・地域のサロンに地域包括支援センターのPR・高齢者福祉の理解等を図るため、関係機関等からの依頼に応じて広報啓発活動やミニ講座を実施すると共に、コロナ禍での活動再開の相談を含め、活動支援の相談を実施した。
まちづくり支援係との連携	まちづくり支援係との連携会議を定例開催（12回）し、圏域の情報交換や地域課題について、協議体の持ち方などについて検討を行った。

（7）その他の業務

諸会議等への参加	中部エリア内の介護事業所が行う運営推進会議に出席した。 社協内BCP研修に出席した。
実習受入	社協・社会福祉士実習、国立看護大学より看護実習、杏林大学より看護実習の受け入れを行った。

7 東村山市基幹相談支援センター

基幹相談支援センターとして、特定相談支援事業所等関係機関からの相談を受け、カンファレンスの設定・参加、ケース活動の支援等の他、東村山市障害者自立支援協議会の事務局として各種会議の運営にあたった。

また、障害者相談支援事業として適切な支援につながない障害者への情報提供など支援を行った。

（1）総合相談・専門相談

①市民及び指定特定相談支援事業所からの相談の受付

- ・市民からの相談

相談支援を利用している障害者等の人数

	身体	重身	知的	精神	発達	高次脳	その他	実人員
障害者	24	1	54	85	4	0	18	186
障害児	1	0	1	1	0	0	0	3
計	25	1	55	86	4	0	18	189

支援方法

	訪問	来所	同行	電話等	個別支援会議	関係機関	その他	計
	161	221	78	2129	66	523	64	3242

支援内容

	福祉サービスの利用等に関する支援	障害や病状の理解に関する支援	健康・医療に関する支援	不安の解消・情緒安定に関する支援	保育・教育に関する支援	家族関係・人間関係に関する支援	家計・経済に関する支援	生活技術に関する支援	就労に関する支援
件数	687	89	625	470	4	226	393	627	174
	社会参加・余暇活動に関する支援	権利擁護に関する支援	その他	計					
件数	37	236	820	4388					

②利用者のニーズに合った専門的な相談支援の実施

- ・障害年金相談会（毎月第1月曜、13：30～、3名まで受付）

4月1日、4月15日、5月13日、6月3日、7月1日、8月5日、9月2日、
10月7日、11月11日、12月2日、1月6日、2月3日、3月3日

計13回、延べ27名

（2）地域の相談支援体制の強化の取り組み

①人材育成の取り組み

- ・相談員のスキルアップ研修の実施

10月22日(火) 午後1時30分～午後3時	「合理的配慮の提供について ～弁護士から学ぶ、事業所に求められる対応～」 講師：松原 拓郎氏 (井の頭法律事務所)	参加者 22名
12月17日(火) 午後1時～午後3時	「対人援助職のためのアンガーマネジメント ～もやもやした気持ちへの対処の仕方～」 講師：橋爪 悠里氏 (国立精神・神経医療研究センター病院 臨床心理室)	参加者 27名

- ・困難事例など事例検討の場の企画

東村山市障害者自立支援協議会 相談支援部会：3回、地域生活支援部会：1回

- ・調整・助言、相談期間との連携強化の取り組み

i) 計画相談やケアマネジャー等からの相談：延べ25ケース

ii) 東京都相談支援従事者現任研修実習対応：6件

iii) 東京都相談支援従事者初任者研修実習対応：5件

- ・指定特定相談支援事業所の巡回支援（未実施）

②地域生活支援拠点コーディネート業務

（該当ケースなし）

③東村山市障害者自立支援協議会

・定例会の開催

回	月 日	内 容
1	8月16日(金)	委員改選、これまでの活動の振り返り、専門部会報告、研修会の実施、情報発信について ※台風の影響により、書面開催。
2	1月28日(火)	地域ニーズを踏まえた事業者指定について、福祉人材の確保について、研修会の開催について
3	3月26日(水)	専門部会の定めの改正について、令和7年度の進め方について、福祉人材の確保について

・相談支援部会の開催（毎月第3木曜10：00～12：00）

回	月 日	内 容
1	4月18日	・年間予定の検討・報酬改定について
2	5月16日	・地域課題について（昨年度まとめ）
3	6月20日	・野中式事例検討
4	7月18日	・BCPについて
5	8月15日	・部会長、副部会長選出、分野別グループフリートーク
6	9月19日	・訪問看護との交流
7	10月17日	・野中式事例検討
8	11月21日	・ケアマネジャーとの合同研修
9	12月19日	・生活保護制度・生活困窮者自立支援事業について
10	1月16日	・野中式事例検討
11	2月20日	・地域課題について
12	3月13日	・振り返り

上記の他、主任相談支援専門員による打ち合わせを毎月開催した。

・就労支援部会の開催（隔月最終月曜日、15：00～）

回	月 日	内 容
1	5月27日	・今年度の活動について、研修交流会の開催について
2	7月29日	・研修交流会の振り返り
3	8月26日	・委員の改選、年間予定の検討
4	9月30日	・知的障害者余暇活動室「イクシア」について
5	11月25日	・就労に繋がりそうな方のニーズや課題について
6	1月27日	・就労選択支援について情報共有

・就労支援部会 市内通所事業所研修・交流会の開催（16名参加）

7月24日(水) 13：30～15：30

「工賃向上の取り組みについて」3事業所から実践報告、グループに分かれて意見交換

・多摩北部ブロック就労支援を考える会にて東村山市の取組を報告

令和7年3月5日(水) 17：00～19：00

・地域生活支援部会の開催（7月より、奇数月第2金曜日13：30～15：30）

回	月 日	内 容
1	5月31日(金) 14：30～15：30	・年間計画の作成 ・今後の地域生活支援部会運営について
2	7月12日	・BCP策定の経過、内容、特色について ・地域生活支援部会運営について
3	8月9日	・これまでの取り組み ・今後協議したい取り組み
4	9月13日	・障害福祉計画について、地域課題について

5	11月8日	・事例検討、地域生活支援拠点として取り組む課題の検討
6	1月10日	・地域生活支援拠点に伴う加算について
7	3月14日	・障害福祉の就職相談会振り返り

・障害福祉の就職相談会

令和6年11月30日(土) 10:00～15:00 中央公民館1階 展示室にて
出展法人：9団体、来場者：39名

・その他

自立支援協議会運営会議を3回開催した。

自立支援協議会主催研修会 令和7年3月6日(木)13:30～15:00

「障害者虐待防止の取組 ～従事者による虐待について

通報の受理から調査、法人・事業所の対応～」

18名参加（会場参加5名、オンライン参加13名）

講義：基幹相談支援センター及び市障害支援課

取組報告：さやま園、けやき第二作業所、社会福祉法人いずみ

参加者同士で意見交換

④居宅介護サービス事業者交流会

月 日	内容	担当事業所
4月19日	障害者総合支援法改正点 障害福祉サービス等報酬改定内容	サンケアネット
6月21日	計画相談との交流会 (障害者総合支援法改正を踏まえて)	サンケアネット ひだまり
8月16日 台風のため中止	コミュニケーション技術Ⅰ (障害特性に応じたコミュニケーション)	えがお SESSE
10月18日 (金)	コミュニケーション技術（利用者家族との信頼関係づくり）	ギフトッドライフ SESSE
12月17日 (火)	アンガーマネジメント研修（人材育成研修 再掲）	おおきな木 ひだまり
令和7年 2月21日 (金)	支援事例の動画を見て意見交換	ギフトッドライフ ビーサイドユー
3月21日(金)	年度のまとめ・次年度の計画	サンケアネット

⑤各種会議・研修への参加

障害福祉計画推進部会、東村山市自殺対策推進協議会、高次脳機能障害支援ネットワーク、生活困窮者支援ネットワーク会議、精神障害者地域移行体制整備支援事業圏域別会議、精神保健福祉ケア検討会、成年後見制度初期窓口ネットワーク会議

⑥新たな地域資源の開発、情報の集約及び発信

ひきこもり家族会「オアシス」の運営支援を、社協まちづくり支援係とともに行った。

(3) 地域移行体制整備

①地域相談支援（地域移行支援・地域定着支援の提供）

地域移行支援：3件

地域定着支援：0件

②入所施設や精神科病院への働きかけ

③地域の体制整備のコーディネート

(4) 権利擁護・虐待防止

①虐待の早期発見、早期対応

・通報にもとづき、市とともに事業所等へ訪問調査を行った。12件。

②虐待（防止）相談、研修会の開催

③職場内研修の開催（サービス従業者向け虐待防止研修）

・社協 障がい者虐待防止研修 7月25日(木) 10:00～11:30

④成年後見制度に関する相談

⑤ヘルプカード・ヘルプ手帳の周知、配布活動

(5) その他の業務

①おしゃべり会（場所／社協 会議室）

身体障害や難病を抱える方を対象に、日常生活課題等の意見や情報交換、交流の場を提供。
今年度からは、福祉だよりで広報し、都度参加者を募集して開催することとした。

6月6日（木）、11月14日(木)、1月9日(木)、計3回、延べ12名参加

②日曜くらぶ

主に知的障害や身体障害のある障害者を対象に、余暇活動支援を目的として実施。

登録者：18名

日時	主な内容	場所	参加者	職員他
6月16日 10:20～12:00	ボウリング	久米川ボウル	7名	3名
9月29日 10:30～12:00	ボッチャ	社会福祉協議会 地域福祉活動室	8名	4名
12月7日 10:00～11:45	パラスポーツ交流会 in 福祉のつどい	TAC 東村山 スポーツセンター	2名	2名
3月1日 10:20～12:15	ボウリング	久米川ボウル	8名	3名

③東村山あんしんネットワーク ヘルプカードを配布

8 福祉サービス総合支援事業（地域福祉権利擁護事業含む）

市内に在住する要援護者が福祉サービスを利用して、安心して地域で暮らしていけるように、福祉サービスに関する利用相談、成年後見制度の利用相談、福祉サービスの利用に際しての苦情対応、判断能力が不十分な方々の権利擁護相談等の支援を総合的・一体的に提供する窓口を設置し、地域福祉権利擁護事業と一体的に運営した。

(1) 利用者サポート

①福祉サービスの利用に際しての苦情対応（介護保険制度を除く）：4件

②判断能力の不十分な方々の権利擁護相談（新規）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2	8	4	5	6	4	8	8	4	2	5	4	60

③成年後見制度の利用相談 ⇒成年後見制度推進事業相談実績を参照

④その他福祉サービス利用に関する専門的な相談 0件

(2) 福祉サービス利用援助事業

①地域福祉権利擁護事業

認知症の高齢者・知的障害者・精神障害者等の判断能力が不十分な方々に対し、地域で自立した生活を維持できるよう支援した（福祉サービス利用援助サービス、日常的金銭管理サービス、書類等預かりサービス）。

○契約者数（令和7年3月末現在）

※（ ）内は前年度数値

種別	認知症 高齢者	知的 障害者	精神 障害者	不明 その他	合 計
契約者	29 (34)	21 (22)	33 (31)	6 (6)	89 (93)
うち生活保護 受給者	11	9	21	1	42

○新規契約者数

種別	認知症 高齢者	知的 障害者	精神 障害者	不明 その他	合 計
契約者	10	1	4	0	15

○終了・解約者数

理由	死亡	施設入所 長期入院	判断能力 低下	本人自立	その他	合 計 (内、後見人等へ引継)
解約者	3	4	9	0	3	19 (10)

※その他内訳…他地区転居（1）、家族支援へ移行（1）、
市実施の金銭管理支援プログラムへ移行（1）

○相談支援件数（未契約支援も含む）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
問合せ (制度・事業について)	9	3	5	9	6	5	7	10	5	13	13	4	89
初回利用相談	3	0	3	7	7	2	3	4	7	8	3	2	49
継続相談支援	341	273	302	381	348	344	360	407	386	412	350	399	4,303
合計	353	276	310	397	361	351	370	421	398	433	366	405	4,441

②対象拡大事業

地域福祉権利擁護事業の対象を、判断能力を有する要支援・要介護高齢者並びに身体障害者等にも拡大し、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理、書類預かりなどの援助を行い、地域で自立した生活が送れるよう支援した。

○契約者数（令和7年3月末現在）

※（ ）内は前年度数値

認知症 高齢者	知的 障害者	精神 障害者	身体 障害者	不明 その他	合 計
1(1)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(1)

○相談支援件数（未契約支援も含む）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
問合せ （制度・事業について）	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	3
初回利用相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
継続相談支援	1	3	3	3	1	1	1	1	2	3	3	4	26
合計	1	3	3	3	1	1	2	2	2	4	4	4	30

（３）苦情対応・専門相談の実施

弁護士による専門相談を実施。利用者支援の各相談窓口から引き継いだ苦情及び権利擁護相談に関して専門的見地からの助言等を行っている。

【相談日時】毎月第４金曜日（14時～16時 30分×4コマ）

【場所】社会福祉協議会内相談室

【専門相談員】弁護士１名（多摩パブリック法律事務所より派遣）

○相談件数

種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
高齢者	0	1	1	1	0	2	4	4	1	0	0	1	15
知的障害者	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	4
精神障害者	2	1	2	0	0	0	0	0	1	1	0	0	7
身体障害者	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
不明・その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	4	3	4	1	0	2	4	4	2	2	1	2	29

（４）会議・研修等

①専門員・業務担当者研修

日付	研修・会議名	主催	参加者
7/25 （木）	従事者向け障がい者虐待防止研修	東村山市社会福祉協議会	1名
7/25 （木）	従事者向け高齢者虐待防止研修	東村山市社会福祉協議会	1名

9/3 (火)	令和6年度 区市町村苦情対応機関 専門研修 (第1回) 「精神障害の理解と相談援助の知識を学ぶ」	福祉サービス 運営適正化委員会	1名
9/26 (木)	令和6年度 地域福祉権利擁護事業 専門員研修 「介護保険制度の理解～関係機関の役割を知り、 チームで利用者を支えるために～」	東京都社会福祉協議会	1名
11/19 (火)	令和6年度 地域福祉権利擁護事業 専門員研修 「地域福祉権利擁護事業にかかわる法律の基礎知識」 (事前動画視聴+オンライン講義)	東京都社会福祉協議会	4名
3/21 (金)	東村山市社会福祉協議会 令和6年度 感染症対策研修	東村山市社会福祉協議会	2名

②生活支援員研修

日付	研修・会議名	主催	参加者
10/3 (木)	新任生活支援員研修	東村山市社会福祉協議会	1名
11/14 (木)	令和6年度 地域福祉権利擁護事業 新任生活支援員研修 (動画視聴)	東京都社会福祉協議会	1名
12/6 (金)	令和6年度 地域福祉権利擁護事業 北多摩北部ブロック社協 生活支援員合同研修会	北多摩北部ブロック社協	13名
3/11 (火)	令和6年度 第1回 生活支援員業務連絡会	東村山市社会福祉協議会	14名
3/25 (火)	令和6年度 地域福祉権利擁護事業 現任生活支援員研修 「障害のある方への理解とコミュニケーション」 (動画研修)	東京都社会福祉協議会	14名

③会議

日付	研修・会議名	主催	参加者
5/28 (火)	令和6年度第1回 北多摩北部ブロック権利擁護業務担当者会議	東久留米市 社会福祉協議会	2名
6/20 (木)	令和6年度第1回 地域福祉権利擁護事業 業務連絡会	東京都社会福祉協議会	1名
7/19 (金)	令和6年度第2回 北多摩北部ブロック権利擁護業務担当者会議	東久留米市 社会福祉協議会	2名
10/15 (火)	令和6年度第3回 北多摩北部ブロック権利擁護業務担当者会議	東久留米市 社会福祉協議会	2名
11/25 (月)	令和6年度 地域福祉権利擁護事業 センター長会議	東京都社会福祉協議会	1名
1/31 (金)	令和6年度第2回 地域福祉権利擁護事業 業務連絡会	東京都社会福祉協議会	1名
2/18 (火)	令和6年度第4回 北多摩北部ブロック権利擁護業務担当者会議	東久留米市 社会福祉協議会	1名
2/25 (火)	地域福祉権利擁護事業 令和7年度委託費説明会 (オンライン)	東京都社会福祉協議会	1名

2/27 (木)	法テラス多摩地方協議会	法テラス多摩	1名
-------------	-------------	--------	----

④広報・周知等

日 時	内 容	対象者
5/16 (木)	東村山市自立支援協議会 相談支援部会にてチラシ配布	市内計画相談支援事業所相談員
5/17 (金)	主任ケアマネジャー全体会にてチラシ配布	主任ケアマネジャー
9/13 (金)	東村山市基幹包括支援センター 多職種連携研修にてパンフレットの配布	地域包括支援センター職員、居宅介護支援事業所、訪問介護事業所職員、通所事業所職員、病院相談員、市職員等
11/15 (金)	「地域福祉権利擁護事業」説明会&相談会	市内の福祉関係者

9 成年後見制度推進事業

成年後見制度推進機関として制度利用促進のため広報周知、相談支援、後見人支援等を行った。相談件数が昨年度に比べ新規・継続相談が減少したが、相談内容は制度利用手続き、金銭管理、相続について、特に身寄りのない方からの任意後見制度利用の相談が増加傾向である。

今年度「後見人等連絡会」を開催した。参加者同士の交流が活発に行われ、参加者からは次年度も引き続き開催の希望が多数寄せられた。来年度も引き続き計画に盛り込んでいきたい。

昨年度から引き続き中核機関化に向け、市・所管課と協議を行い、運営委員会にて令和7年4月より推進機関に中核機関の機能を付加する形で事業実施していくことの承認を得た。

(1) 成年後見人等の支援

①成年後見制度の利用相談・問合せ

○問合せ・新規相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
高齢者	15	18	6	12	22	31	19	30	14	25	32	18	242
知的障害者	0	3	3	2	2	4	4	11	2	1	3	5	40
精神障害者	1	3	1	1	0	1	5	5	2	5	5	2	31
その他／不明	1	0	1	1	1	2	2	3	2	2	1	2	18
合計	17	24	11	16	25	38	30	49	20	33	41	27	331

○問合せ・新規相談件数の内訳（複数回答）

項 目	合計	項 目	合計
成年後見制度利用・手続き等	257	遺言作成	7
任意後見制度利用・手続き等	71	親亡き後	14
専門職の紹介等	44	相続手続き	23

後見人等就任後の業務	35	債務問題	5
監督人との問題	0	消費者被害	4
後見人等の辞任について	1	金銭搾取、経済的虐待	2
日常的金銭管理	60	親族間紛争	8
財産（不動産含む）の管理	34	入院費、施設利用料等の支払い	48
預貯金の取引、解約	10	将来・死後	27
福祉サービス利用、入所等契約	6	不明／その他	0
合 計			656

○継続相談支援件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
高齢者	191	189	144	126	121	130	121	116	135	134	116	137	1660
知的障害者	23	28	20	10	16	18	4	15	13	10	15	15	187
精神障害者	18	26	11	14	15	4	18	16	36	14	12	14	198
その他／不明	0	1	4	0	0	0	3	3	4	1	1	1	18
合計	232	244	179	150	152	152	146	150	188	159	144	167	2063

②成年後見人等支援のための実務研修、連絡会等

○関係者向け講座（主催）

	日 時	講座名	講 師	参加者
1	10/30（水） 13:30～16:30	成年後見制度（法定後見）利用支援のポイント	ぱあとなあ東京 岡野範子氏	21 名

○市民向け講座（主催）

	日 時	講座名	講 師	参加者
1	11/13（水） 14:00～16:00	知って役立つ！成年後見制度	リーガルサポート東京 支部 大坂谷扶美枝氏	31 名
2	3/7（金） 14:00～16:00	知って役立つ！成年後見制度	リーガルサポート東京 支部 大坂谷扶美枝氏	29 名

○親族後見人向け個別相談会（主催）

	日 時	対象者	講 師	参加者
1	9/19（木） 13:30～16:00	制度の利用を検討しているかた、 親族後見人として活動しているか たやそのご家族、支援している福 祉関係者のかた	リーガルサポート 東京支部 真坂武氏	4 組 5 名

○出前講座（主催）

	日 時	内容	対象者	参加者
1	11/16（土） 10:00～12:00	成年後見制度について、質 疑応答等	ダウン症児親の会 「まんまる」	22 名

③その他の取組み

○市長申立て数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
高齢者	2	0	2	2	1	0	0	1	1	1	1	1	12
知的障害者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
精神障害者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
計	2	0	2	2	1	0	0	1	1	1	1	2	13

○緊急的な事務管理

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
終了	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
管理中	2	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	

○第三者後見人等候補者紹介（取下げ含む）（その他内訳；法人1件）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
弁護士	0	1	0	1	1	0	2	0	0	0	0	0	5
司法書士	6	1	4	0	7	1	5	2	6	1	2	2	37
社会福祉士	0	0	0	1	2	0	2	0	2	0	0	2	9
その他	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
計	6	3	4	2	10	1	9	2	8	1	2	4	52

○その他専門職紹介（内訳；申立書類作成単発依頼5）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
弁護士	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
司法書士	1	0	0	0	1	0	0	2	1	0	0	0	5
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	1	0	0	0	1	0	0	2	1	0	0	0	5

○地域福祉権利擁護事業（以下、地権）から成年後見制度への移行ケース

<審判時(地権解約時)の類型>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
後見	0	1	1	0	0	1	0	0	0	1	1	0	5
保佐	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	3
補助	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
計	1	2	1	2	0	2	0	0	0	1	1	0	10

<申立人>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
本人	1	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	4
親族	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2
市長	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	4
計	1	2	1	2	0	2	0	0	0	1	1	0	10

＜成年後見人等＞

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
親族	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
弁護士	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
司法書士	1	0	1	0	0	2	0	0	0	1	0	0	5
社会福祉士	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	3
市民	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	1	2	1	2	0	2	0	0	0	1	1	0	10

＜地権から成年後見制度への移行理由(複数回答)＞

項 目	合計	項 目	合計
判断能力の低下	4	債務	1
長期入院・施設入所	5	金銭搾取・金銭問題	2
財産（不動産含む）の管理・売却	0	支援可能な親族・キーパーソンが不在	8
相続	1	その他	0
合計			21

（２）地域ネットワークの活用

①初期相談窓口ネットワーク会議（主催）

	日 時	内 容	参加者
1	10/4（金） 13:30～15:00	成年後見制度と初期相談窓口の連携について、成年後見制度利用促進基本計画について、情報交換	19 名
2	3/10（月） 13:30～15:00	令和7年度中核機関化および実施事業の変更点について	13 名

②ケース検討会議（主催）

	日 時	件 数（内容）	参加者
1	5/8（水）13:30～14:00	1 件（市長申立ての検討）	関係者 1 名 事務局 5 名
2	5/28（火）9:30～11:30	4 件（市長申立ての検討、その他ケース検討）	関係者 6 名 事務局 4 名
3	8/1（木）13:00～13:30	1 件（緊急事務管理の検討）	関係者 1 名 事務局 5 名
4	9/26（木）9:30～12:00	5 件（市長申立ての検討）	関係者 3 名 事務局 6 名 実習生 2 名
5	2/7（金）13:00～13:30	1 件（市長申立ての検討）	関係者 1 名 事務局 6 名

③後見人等連絡会（主催）

	日 時	内 容	対象者	参加者
1	11/29（金） 14:00～16:00	成年後見制度推進機関について、情報交換等	市民後見人等、専門職後見人等、市内の初期相談窓口	32 名

④その他

	日付	研修・会議名	参加者
1	5/24 (金) 14:00～16:00	令和6年度 第1回利用者支援区市町村連絡会 (オンライン)	1名
2	11/21 (木) 13:00～16:30	令和6年度東京都成年後見地域連携ネットワーク会議及び東京都成年後見制度推進機関連絡会 (オンライン)	1名
3	2/26 (水) 13:30～16:30	令和6年度家事関係機関と東京家庭裁判所との連絡協議会 (オンライン)	1名
4	2/28 (金) 13:30～15:45	令和6年度 第2回利用者支援区市町村連絡会 (オンライン)	1名

(3) 運営委員会

運営委員会の開催 (主催)

	日 時	内 容	参加者
1	8/26 (月) 13:30～15:30	委員長・副委員長の選出、令和6年度事業計画について、第二期成年後見制度利用促進基本計画について、中核機関について (オンライン)	委員等9名 事務局6名
2	2/17 (月) 9:30～11:05	令和6年度事業報告について、中核機関について (オンライン)	委員等12名 事務局6名

(4) 法人後見監督の受任

○法人後見監督受任状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
終了	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受任中	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	

○法人後見監督受任ケース一覧

	性別	申立日	審判日	終了日	類型	原因障害
1	女	H29/ 9/29	H29/10/16	R4/7/10	後見	認知症、精神障害
2	女	R 1/ 8/28	R 1/ 9/13		後見	認知症、知的障害
3	男	R 1/11/ 6	R 1/11/29	R5/8/19	後見	認知症
4	男	R 3/ 4/30	R 3/ 5/13		後見	精神障害
5	女	R 6/ 4/ 5	R 6/ 4/22		後見	認知症

○法人後見監督 相談支援件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	7	22	26	27	15	1	4	4	3	2	3	2	116

(5) 市民後見人等候補者の養成及び支援の一体的実施

平成27年度(2015年度)より、近隣7市(小金井市、小平市、西東京市、東久留米市、三鷹市、武蔵野市、東村山市)による市民後見人候補者等養成に関する合同会議を開催。平成28年度よ

り隔年で基礎講習およびフォローアップ講習を合同開催。

令和6年度（2024年度）は7市合同後見人等候補者養成基礎講習を開催。幹事は西東京市、副幹事は東久留米市。

①市民後見人の養成

○登録状況推移 現在13名（うち1名は東京都養成講習修了生）

年度	～R3	R4	R5	R6	合計
基礎講習修了者	～12	2		2	16
新規登録者	～13	0	2	0	15
登録解除者	～0	0	0	2	2
登録者計	13	13	15	13	

○市民後見人等養成受講説明会（主催）

	日 時	内 容	出席者
1	10/8（火） 13:30～15:30	令和6年度市民後見人等養成講習について	4名

○市民後見人等養成入門講習（主催）

	日 時	内 容	講 師	出席者
1	11/26（火） 9:00～9:15	オリエンテーション	社会福祉協議会職員	2名
2	9:15～12:00	・成年後見制度の基本理念と概要 ・後見人の実務について ・市民後見人の背景と役割	リーガルサポート 東京支部 小室博志氏	
3	13:00～15:00	後見人に必要な福祉サービスの知識と相談援助の基本について	社会福祉協議会 生活支援課長	
5	15:10～16:10	市民後見人からの実践報告	東村山市市民後見人 登録者 新井幸子氏	
6	16:10～16:50	地域福祉権利擁護事業の理解と生活支援員の活動	社会福祉協議会職員	
7	16:50～17:00	今後のお知らせと流れ	社会福祉協議会職員	

○7市合同後見人等候補者養成基礎講習 ※オンライン講習（2/12、2/27 除く）

	日 時		内 容	講 師	出席者 ※東村山
	1/24 (金)	10:00～ 10:15	開講式		2 名
1		10:15～ 11:45	市民後見人に期待すること	リーガルサポート 東京支部 稲岡秀之氏	
2		13:30～ 16:30	成年後見制度の基本理念とその概要		
3	2/5 (水)	10:00～ 11:30	知的障害の理解 コミュニケーションについて～対話をして寄り添いましょう～	東洋大学 教授 高山直樹氏	2 名
4		13:15～ 14:45	障害者の理解と対象者理解 「精神障害について」	精神保健福祉士 原埜雄司氏	
5		15:00～ 17:00	支援のための法律知識	弁護士 松原拓郎氏	

6		10:00～ 12:00	被後見人に対する基本的な支援	弁護士 清水光子氏	
7	2/12 (水)	13:30～ 15:00	本人を支える意思決定支援と社会資源の つなぎ方	ぱあとなあ東京 横田昌志氏	2名
8		15:15～ 16:15	講習前半を振り返って		
9	2/21 (金)	10:00～ 12:00	消費者被害の実態とその対応	武蔵野市 消費生活センター 稲井京子氏	2名
10		13:30～ 15:00	認知症の方の見える世界を理解する	(公財)認知症予防財団 菅 朋江氏	
11		10:00～ 11:30	後見人からの実践レポート	リーガルサポート 東京支部 河西麻子氏	2名
12	2/27 (木)	11:45～ 12:30	市民後見人からの実践報告	西東京市社協 市民後見人2名	
13		13:30～ 16:30	いろいろな場面を通じて成年後見人とし て対応を考える	ぱあとなあ東京 田中康一氏	
		16:30～ 16:45	閉講式		

○市民後見人等養成基礎講習Ⅱ（主催）

	日 時	内 容	参加者
1	3/19（水） 10:00～16:00	東村山市における市民後見人活動について、生活支援員実 習について	2名

②市民後見人等候補者の支援

○市民後見人等候補者連絡会（主催）

	日 時	内 容	参加者
1	8/31（土） 13:00～13:20	受任している市民後見人の活動状況、市民後見人のケース 受任状況、連絡事項、情報交換	7名

○市民後見人等フォローアップ講習（主催）

	日 時	内 容	講 師	参加者
1	8/31（土） 13:30～16:30	成年後見人の実務（演習）	リーガルサポート東京支部 河西麻子氏	8名

③会議の開催等

○成年後見事例検討会（主催）

	日 時	件数（内容）	参加者
1	5/30（木）14:00～16:00	中核機関について（オンライン）	委員4名 事務局5名
2	8/26（月）15:45～17:00	1件（支援検討）（オンライン）	委員4名 事務局4名 事例提出者1名
3	11/28（木）10:00～12:00	2件（事例検討）（オンライン） 市民後見人間のリレーについて	委員4名 事務局5名

4	2/17（月） 11:05～11:40	令和7年度の体制・今後の流れについて （オンライン）	委員 4 名 事務局 6 名
---	---------------------	-------------------------------	-------------------

④会議の出席等

○7市合同後見人等候補者養成講習事務局会議

	日 時	件数（内容）	出席者
1	7/18（木） 10:00～11:30	令和6年度7市合同市民後見人等候補者養成講習について（オンライン）	2 名
2	9/25（水） 14:00～15:00	令和6年度7市合同市民後見人等候補者養成講習について（オンライン）	1 名
3	3/24（月） 14:00～15:00	令和6年度7市合同後見人等候補者養成講習振り返りについて、令和7年度フォローアップ講習について（オンライン）	2 名

（6）その他推進機関業務

①推進機関業務

○地域福祉推進課との定例協議

	日 時	内 容
1	4/24（水）	中核機関の協議、ケース検討会議、成年後見事例検討会等
2	5/8（水）	中核機関の協議
3	5/22（水）	緊急事務管理、ケース相談、ケース検討会議、事例検討会、市民後見人候補者等連絡会及びフォローアップ講座、市民後見人受任等
4	6/20（木）	中核機関の協議、ケース相談、市民後見人等養成講習、市民後見人等候補者連絡会及びフォローアップ講習、親族後見人等個別相談会、ケース検討会議、市民後見人死後事務対応、成年後見制度推進事業実施要綱等
5	7/22（月）	中核機関の協議、ケース相談、市民後見人等養成講習、運営委員会・事例検討会、市民後見人等候補者連絡会及びフォローアップ講習、親族後見人等個別相談会、ケース検討会議、市民後見人死後事務対応、成年後見制度推進事業実施要綱等
6	8/22（木）	中核機関の協議、ケース相談、市民後見人等養成講習、運営委員会・事例検討会、市民後見人等候補者連絡会及びフォローアップ講習、親族後見人等個別相談会、ケース検討会議、初期相談窓口ネットワーク会議、成年後見制度推進事業実施要綱等
7	9/24（火）	予算、ケース相談、市民後見人等養成講習、ケース検討会議、初期相談窓口ネットワーク会議、関係者向け講座等
8	10/10（木）	予算、ケース相談、市民後見人等養成講習、ケース検討会議、市民向け講座、関係者向け講座、事例検討会、後見人等連絡会等
9	11/19（火）	中核機関の協議、ケース相談、市民後見人等養成講習、成年後見事例検討会、後見人等連絡会、ケース検討会議等
10	12/19（木）	中核機関の協議、ケース相談、市民後見人等養成講習、運営委員会、成年後見事例検討会、初期相談窓口ネットワーク会議等
11	1/21（火）	令和7年度予算・事業体制、ケース相談、市民後見人等養成講習、運営委員会、成年後見事例検討会、初期相談窓口ネットワーク会議等
12	2/4（火）	中核機関の協議

13	2/7 (金)	中核機関の協議、初期相談窓口ネットワーク会議等
14	3/25 (火)	令和7年度事業、ケース相談、市民後見人等養成事業等

○顧問弁護士相談（相談日：毎月第2金曜日、件数には電話・メールでの相談も含む）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
日	12	10	14	12	9	13	11	8	13	10	14	14	
件数	7	6	8	4	4	5	5	5	4	3	5	6	62

②会議・連絡会への参加

○成年後見制度推進機関テーマ別研究会議

	日 時	内 容	出席者
1	12/12 (木) 14:00～16:30	「地域福祉権利擁護事業と成年後見制度の連携について～地権から市民後見人や法人後見等へのつながり」 (オンライン)	2名
2	3/17 (月) 14:00～15:45	「身寄りがない方の入院・入所に関する課題について」 (オンライン)	1名

○その他会議、研修

	日 時	内 容	出席者
1	7/24 (水) 14:00～16:30	令和6年度第2回成年後見制度推進機関職員フォローアップ研修「高齢者終身サポート事業」 (オンライン)	2名
2	7/25 (木) 10:00～11:30	従事者向け障がい者虐待防止研修	2名
3	8/5 (月) 13:30～15:00	令和6年度区市町村長申立て研修 (オンライン、部分参加)	1名
4	9/5 (木) 13:30～15:00	ほっとシティ東村山・自立相談課との打合せ	3名
5	11/27 (水) 14:00～16:00	令和6年度法人後見「基礎研修」 (オンライン)	1名
6	12/ 4 (水) 14:00～16:00	令和6年度法人後見「基礎研修」 (オンライン)	2名
7	1/22 (水) 13:30～16:30	令和6年度市民後見人養成「フォローアップ研修」 (動画・オンライン)	1名
8	3/21 (金) 13:00～14:30	東村山市社会福祉協議会 令和6年度感染症対策研修	1名

③実習生受け入れ 9月2名、10月1名

Ⅲ 在宅福祉サービス事業

1 居宅介護支援事業、介護予防ケアマネジメント、介護予防支援事業

令和6年度介護保険制度改正に沿って運営の見直しを行った。上半期においては、居宅介護支援事業をはじめ実施している諸サービスにおいて身体拘束の適正化の推進を運営規程に位置づけるなどの変更を行なった。また、8月には指定権者による事業者への運営指導が行われたが報酬の返還に至るような指摘を受けることはなかった。12月にケアマネジャーが1名退職したが、引継ぎのタイミングでケアマネジャーの確保ができず、一部利用者を別の居宅介護支援事業所に依頼せざるを得ない状況となった。そのため、下半期の利用者は減少している。

(1) 居宅介護支援、介護予防ケアマネジメント、介護予防支援

①ケアマネジメントの実施、介護予防ケアマネジメント、介護予防支援の受託

要介護度別介護報酬請求件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	(%)
予防受託	12	14	14	16	16	15	16	14	13	9	9	9	157	14.0
要介護1	33	33	32	34	34	34	39	39	38	33	32	32	413	36.8
要介護2	23	25	26	28	28	27	26	26	23	22	21	21	296	26.4
要介護3	17	15	17	13	10	9	8	8	8	6	7	7	125	11.0
要介護4	5	6	6	8	10	10	10	10	9	7	6	6	93	8.3
要介護5	4	5	5	5	4	3	3	2	2	2	2	2	39	3.5
合計	94	98	100	104	102	98	102	99	93	79	77	77	1,123	100.0

※予防受託は要支援者と事業対象者の合計（地域包括支援センターからプラン作成を受託）

加算の請求件数

加算内容	件数	加算内容	件数
初回加算	17	入院時情報連携加算Ⅰ	0
退院・退所加算Ⅰ	2	入院時情報連携加算Ⅱ	2
退院・退所加算Ⅱ	0	通院時情報連携加算	13

②研修・会議等

○令和6年度集団指導（オンライン実施）

4/23 1名参加

○令和6年度東京都介護支援専門員専門研修課程Ⅰ

6/19～8/18(動画視聴・集合研修4日) 1名参加

○社協主催「令和6年度従事者向け高齢者虐待防止研修」（社協地域福祉活動室）

7/25 4名参加

○通所型サービスAの開始及び訪問型サービスAの介護報酬改定等に伴う介護予防・日常生活支援総合事業説明会（市民センター）

8/8 2名参加

○研修「みんなで知っておこう～在宅緩和ケアの考え方と実践」（黒目川診療所主催）（東久留米市成美教育文化会館グリーンホール）

9/26 1名参加

○令和6年度第1回東村山市介護支援専門員の資質向上研修会「介護予防ケアマネジメントについて」(市民センター)

9/26 1名参加

○令和6年度居宅鍵支援事業所「管理者向けケアマネジメント支援研修」

11/20～12/20 動画視聴 管理者参加

○令和6年度 東村山市介護保険事業者研修「ハラスメント対応研修」 12/19 管理者参加

○令和6年度市内介護サービス事業所を対象とした発災訓練への参加及び防災に関する講和の受講 11/8 管理者参加(業務継続計画に基づく訓練の実施)

○令和6年度東村山市社会福祉協議会高齢者虐待防止検討委員会(社協・会議室)

5/15 11/2 管理者参加

○令和6年度東村山市社会福祉協議会感染症対策委員会(社協・会議室)

7/21 1/19 管理者参加

○令和6年度感染症対策研修「感染法上、5類に位置付けられて以降の新型コロナ感染症対策」
4名参加

○東村山市居宅介護支援事業者連絡会令和6年度総会 4/19(社協地域福祉活動室) 1名参加

○東村山市居宅介護支援事業者連絡会主任介護支援専門員部会全体会 5/17(社協地域福祉活動室) 1名参加

○居宅連絡会・主任ケアマネジャー部会・ケアプラン点検 8/6

○居宅連絡会・主任ケアマネジャー部会・制度担当打合せ 5/9、6/6、7/8、8/1、9/5、11/7、
12/5、2/6、3/6

○所内・居宅介護支援事業職員会議 12回

2 訪問介護事業、介護予防・日常生活支援総合事業第一号訪問事業

(1) 訪問介護、介護予防・日常生活支援総合事業第一号訪問事業

介護の担い手である登録ヘルパーの人数は、依然、活動要請に対して慢性的に不足している。事業所としては、国による介護職員処遇改善支援補助金を申請し、従業員の賃金改善を図ると同時に活動による腰痛を予防する観点からリラクゼーションヨガを採り入れ福利厚生の実施に努めた。

また今年度は、担い手不足の一助となることを目的に大学、専門学校より介護福祉士国家資格取得を目指す実習生の受け入れを積極的に行った。一方で、今年度、新規のヘルパー登録はなく、人員の充実が課題となっている。

運営面では、サービス提供時間数も昨年度に比べ増加しており、経営のバランスを見るための指標となる介護保険(訪問介護)と総合事業(訪問型サービス)の比率も適正な割合で推移している。

①サービス内容

介護保険制度で要支援・要介護と認定された方及び介護予防・日常生活支援総合事業対象者の方を対象に、居宅サービス計画に基づき訪問介護員を派遣し、生活支援・介護サービスを提供するこ

とにより利用者の在宅生活を支援する。内容としては、入浴・排泄・食事等の介護、調理・洗濯・掃除等の家事、外出付添、生活に関する相談助言等である。

②サービス提供時間

月曜日～土曜日（祝日を含む）の午前7時～午後7時の間

③実績

利用者数及びサービス提供時間数（時間数は時間：分で表示）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
訪問介護	人数	65	67	63	69	69	68	
	時間数	533 : 35	545 : 35	465 : 35	546 : 40	526 : 10	466 : 50	
訪問型サービス	人数	40	41	40	38	35	37	
	時間数	168 : 50	183 : 20	158 : 45	173 : 05	165 : 30	168 : 00	
自費	人数	6	12	7	5	10	9	
	時間数	32 : 00	30 : 00	16 : 30	21 : 30	21 : 30	25 : 00	
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
訪問介護	人数	67	66	64	70	65	66	799名
	時間数	522 : 25	511 : 05	509 : 55	511 : 25	497 : 05	513 : 10	6,149時間30分
訪問型サービス	人数	37	36	36	35	33	32	440名
	時間数	188 : 15	165 : 05	169 : 00	150 : 45	141 : 00	141 : 10	1,972時間45分
自費	人数	10	11	7	11	9	4	101名
	時間数	21 : 30	19 : 30	13 : 00	29 : 00	18 : 00	17 : 00	264時間00分

※自費の利用者は訪問介護又は訪問型サービスの利用者を含む

訪問介護員稼働実績（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
嘱託	3	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	37
登録	27	28	25	27	25	27	28	23	26	24	23	23	306
合計	30	32	28	30	28	30	31	26	29	27	26	26	343

※嘱託の人数にはガイドヘルパー派遣事業の嘱託職員1名を含む

④職員研修

訪問介護員内部研修会等の開催

回	月/日	内 容	参加者数
第1回	6月	社協ヘルパーの心構え（グループワーク） 6月18日～7月5日の間、2～4人のグループ 単位で6回に分けて実施した	19名
第2回	1/24	移動動作、おむつ交換を中心に	7名
第3回	3月	自己評価シートの作成	22名
-	7/25	従業者向け高齢者虐待防止研修（社協主催）	30名
-	3/21	感染症対策研修（社協主催）	6名
-	3/10	災害ボランティア立ち上げ訓練事前説明会	3名
-	3/17	災害ボランティアセンター立ち上げ訓練	1名

市および訪問介護事業者連絡会主催の研修

研修・講習会	月/日	人数
腰痛予防と身体に負担の少ない介護技術	7/17	6名
知っておきたい ACP の基本	10/15	8名

管理者、サービス提供責任者研修等

研修・講習会	月/日	人数
介護予防・日常生活支援総合事業説明会	8/8	2名
「聞こえづらい」ことについて話そう、学ぼう	10/15~ 11/15	2名
家庭医療で患者さんをまるごと診る	2/13	2名
介護サービス利用者の家族への対応とクレーム対応	2/15	1名

⑤ヘルパー交流会等福利厚生

内 容	月/日	人数
第1回リラクゼーションヨガ教室	6/3	13名
第2回リラクゼーションヨガ教室	10/23	8名
交流会	9/29	12名

⑥会議

会 議 名	開催回数	内 容
ケース会議（サービス担当者会議）	144回	利用者へのサービス内容の見直し、検討等
チーフヘルパー会議	20回	訪問介護事業所の運営に関する連絡調整等

⑦実習生の受入

受入大学、内容等	人数	期間
白梅学園大学3年生・介護実習	2名	6月3日～6月14日の期間中、各5日間
YMCA 医療福祉専門学校	1名	10月27日～11月10日 うちの10日間

⑧その他

- ・登録ヘルパーへの被服等の支給（ポータブルスリッパ）
- ・登録ヘルパーに配布している感染予防対策キットの補充
- ・健康診断の実施（嘱託職員3名、非常勤職員19名）
- ・令和6年度第1回東村山市社会福祉協議会高齢者虐待防止検討委員会（社協・会議室）
5/15 11/22 管理者参加
- ・東村山市訪問介護事業者連絡会に加入し、サービス提供責任者部会、役員会に参加
訪問介護事業者連絡会総会 5/21 1名
- ・令和6年度市内介護サービス事業所を対象とした発災訓練への参加及び防災に関する講和の受講 11/8 管理者参加（業務継続計画に基づく訓練の実施）

3 ガイドヘルパー派遣事業（身体障害者居宅介護事業）

ガイドヘルパー派遣事業は視覚障害者（児）を対象に、日常生活上必要な外出における付き添いと、文書等の代読・代筆、買い物等の介助を行うために、ガイドヘルパーを派遣する事業。

この事業は、市が実施する地域生活支援事業の「移動支援事業」と、障害者総合支援法による「介護給付費に位置づけられた同行援護と居宅介護」に区分される。また、65歳未満の利用者の通院は居宅介護で対応、65歳以上の利用者の通院は、介護保険制度が優先適用される。

実績についてはサービス提供時間の総体でいえば昨年度より微増が見られるがコロナ前の水準に戻ったとは決して言えない。利用者の状況としては、高齢化に加えコロナ禍における閉居などの影響から心身機能の低下が少なからず見られサービス利用に至るまで事業所が計画を担当する機関の専門

職と連携しながらサポートを要する場面が増えてきた。一方、担い手の確保については、昨年度、市が同行援護研修を実施したことにより修了後ガイドヘルパー登録をいただいた方もいて僅かに改善の兆しが見られた。

(1) ガイドヘルパーの利用に関する相談及び派遣調整

①利用契約者数 30 名

②ヘルパー登録者数 25 名

③派遣件数・派遣時間

移動支援（各種申請、冠婚葬祭、ウォーキング、買い物等）

(回/時間)

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
件数	4	4	2	5	5	4	7	6	7	7	6	6	63
時間	12.0	9.5	5.0	11.0	13.0	12.0	20.5	20.0	15.5	14.5	17.0	15.0	62.5

同行援護（各種申請、冠婚葬祭、ウォーキング、買い物等）

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
件数	111	136	134	133	93	107	120	102	114	108	99	98	1355
時間	286.5	372.0	394.5	366.5	252.5	293.5	340.0	314.0	330.0	329.5	295.5	265.5	3840.0

居宅介護（通院、リハビリ）

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
件数	36	35	29	33	26	27	31	27	34	25	26	33	362
時間	100.5	74.5	67.0	76.5	77.0	65.0	65.5	62.5	82.5	62.0	45.5	81.5	860.0

④研修等

ガイドヘルパー派遣事業では、登録ガイドヘルパーの資質向上のために業務報告会と現任者研修をそれぞれ年 2 回実施している。今年度も事務報告は書面配布により、研修は、令和 3 年度の制度改正から義務付けられた障がい者虐待防止研修及び感染症対策研修を従事者に向けて実施し、欠席した職員には、書面で周知を行った。

I) 業務報告会

名称（実施方法）	日程	内容	参加者
業務報告会① （書面開催）	6 月 3 日配布	令和 5 年度年度業務報告	書面
業務報告会② （書面開催）	10 月 21 日配布	令和 6 年度上半期業務報告	書面

II) 現任者研修会

名称（実施方法）	日程	内容	参加者
第 1 回現任者研修会	6 月 14 日	基本技術の復習	17 名
第 2 回現任者研修会	7 月 25 日	従事者向け障がい者虐待防止研修（社協主催）	14 名
-	3 月 21 日	感染症対策研修	6 名

○令和 6 年度第 1 回東村山市社会福祉協議会障がい者虐待防止検討委員会（社協・会議室）

5/15 11/22 管理者参加

4 ふれあい事業

ふれあい事業は、一円貨募金を財源に、公的な制度の隙間を埋めるサービスとして当協議会が独自に取り組んでいる事業であり、社会福祉法人が実施する「地域における公益的な取組」に位置付けることができる。

(1) ひとり暮らし高齢者等ふれあい訪問事業

ひとり暮らし高齢者等ふれあい訪問事業は、虚弱な独居高齢者を対象に、週3回乳酸菌飲料の配布を通じて安否の確認を行う事業であり、配布と通報を東京ヤクルト販売(株)に委託をして実施してきた。昨年度より委託先から「人員の確保等が困難でありこれまで通りの見守り体制は困難」との課題が投げかけられ今後の事業の実施体制について協議を重ねてきたが、継続は困難との結論に達し、令和6年10月末日をもって事業を終了した。令和6年4月より新規利用を受け入れを中止し、事業終結に向けて利用者、緊急連絡先への説明、市民への広報、関係諸機関との調整を行った。

①利用者の状況

- ・登録者数： 78名(令和6年10月末現在) ・新規登録者： 0名(新年度受入中止のため)
- ・取消者；4名

②延べ訪問回数：3,307回

③安否確認活動：9件

委託先からの連絡を受け、利用者の緊急連絡先、ケアマネジャーや地域包括支援センターなどの関係機関、地域の民生委員等と連絡をとり、安否確認活動を8回行った。

安否確認の結果は、①呼鈴が聞こえない、気づかない3件 ②外出3件 ③取り忘れ1件 ④入院2件であった。

(2) ひとり暮らし高齢者等ふれあい電話訪問事業

ひとり暮らし高齢者を対象に孤独感の緩和を主な目的として、電話訪問員(6名)が週に1回電話による訪問を行い、話し相手になる傾聴を中心とした事業。利用者からの相談に関しては、電話訪問員や担当職員が関係機関等へ連絡をして対応を行った。

①利用者の状況

- ・登録者数：26名(令和7年3月末現在) ・新規登録者；3名 ・取消者；3名

②延べ訪問回数：1088回

③付帯するケース活動：17回

④電話訪問員研修：7回

電話訪問員研修は、感染拡大防止に努めながらコロナ前のペースに戻して実施している。内容としては、従来行ってきた外部講師を依頼したり、施設見学などはできおらず電話訪問員同士の情報交換に留まっている。

⑤交流行事：ふれあい茶話会 5/28 利用者14名参加

ウイズコロナといわれる時代の中で利用者と電話訪問員の対面交流の機会を回復させる意味から茶話会を開催した。実施にあたっては引き続き感染予防対策の徹底を図った。また、交流会に参加されなかった利用者については、11月25日から11月29日に利用者宅を電話訪問員が訪問して、対面での交流を行った。

5. 手話通訳者派遣事業

(1) 聴覚障がい者に関する相談・意思疎通支援

相談、通訳者派遣とも、市や関係機関と連携し利用者の生活支援を行った。

相談については、聴覚障害者が安心して社会生活を送れるよう、必要な情報を手話で提供し、電話通訳や持参した書類等を手話で説明した。オンラインでの相談もあった。

福祉的課題を抱える聴覚障害者へは、基幹相談支援センターの相談支援専門員や居宅介護支援事業所のケアマネジャー等と連携しつつ支援した。利用者のエンパワーメントを高めるような支援を意識し、公的機関だけでなく民間業者とも連携して対応した。

・月別相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
件数	66	64	68	50	51	64		
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度
件数	43	52	61	46	52	45	662	711

・相談内容

生命/健康	仕事	福祉	生活	家族	行政	家計	I T	その他	計
84	77	153	89	29	11	12	27	305	787

(2) 手話通訳者の派遣・調整

聴覚障害者個々人の持つコミュニケーション方法を勘案しながら通訳者を調整した。

事業説明会や報告会など、合理的配慮に基づく行政からの依頼が増加した。

①ろう者からの依頼

利用者・登録通訳者数

制度利用者数	個人 28 名	団体 (1)
登録手話通訳者数	15 名 (男 1、女 14)	

②月別派遣件数

月別件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月			
地域登録通訳	43	45	56	61	47	66			
都派遣センター	2	4	2	1	3	4			
月別件数	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	合計	前年度
地域登録通訳	60	60	58	43	43	57	639	672	672
都派遣センター	2	2	3	3	4	3	33		

③利用内容

生命	権利	行政	福祉	労働	住居
226	14	66	110	33	6
教育	文化	人間関係	団体会議	その他	合計
6	20	24	34	133	672

※派遣先が市外遠方の場合には、東京手話通訳等派遣センターからの派遣とした。

※上記の他、市、社協の事業等への派遣を行った。

④幹旋通訳

企業・団体等からの依頼を受け、会議やイベント等に派遣した。 計 23 件

⑤市障害支援課及び基幹相談支援センター等と連携し、合理的配慮の提供に関する情報提供に取り組んだ。

(3) 登録手話通訳者の資質向上

①登録手話通訳者研修会 第1 (土) 19:00～社協地域福祉活動室にて

- ・ 8 回開催
- ・ 主な内容：障害者虐待防止研修、手話通訳者等養成・登録制度検討委員会について、他

②招聘講師研修

日時	テーマ	講師	参加者数
7月27日(土) 18:45～20:45	同音異義語の手話表現	トム氏	11 名
11月25日(月) 18:45～20:15	手話通訳者のあり方・倫理等 ～手話通訳の技能を高めるために～	江原 こう平氏 (東京都手話通訳問題研究会)	11 名
1月25日(土) 18:45～20:00	守秘義務について	松原 拓郎氏 (井の頭法律事務所)	11 名
2月8日(土) 18:45～20:45	手話と日本語「翻訳」	トム氏	9 名

(4) 手話通訳者等の養成

毎年、手話奉仕員及び手話通訳者の養成を目的とした手話講習会を開催している。

今年度も入門クラス、基礎クラスを受講希望者が多かった。入門夜クラスでは抽選を行い、基礎クラスでは定員超過で受講者を決定した。

①手話講習会運営委員会

4月2日、4月22日、5月20日、6月24日、7月29日、9月10日 計6回開催

②手話講習会開催曜日・時間・場所・受講者数

	クラス	開催日時	場所	受講者数	申込者数	修了者数
i)	入門(昼)	(火) 9:50～11:50 全 25 回	市民センター	25 名	25 名	19 名
i)	入門(夜)	(火) 19:00～21:00 全 25 回	市民センター	25 名	35 名	20 名
ii)	基礎	(土) 13:00～15:00 全 30 回	市民センター	28 名	28 名	21 名
iii)	通訳応用	(土) 9:50～11:50 全 30 回	社会福祉センター	13 名	13 名	8 名
iv)	通訳養成	(金) 19:00～21:00 全 25 回	社会福祉センター	7 名	9 名	6 名

③講師・アシスタントのための学習会を開催

④東村山市手話通訳者登録試験検討委員会への参加

毎年3月に実施される手話通訳者登録試験の試験内容を検討するため、市が開催している。
社協からは担当係長及び派遣事業担当者が委員として参加。

⑤手話通訳登録制度検討委員会（全４回）への参加

手話通訳者の登録制度及び今後の試験実施方法（全国手話通訳統一試験の導入等）を検討するために市が開催した。

社協からは担当係長が委員として参加し、派遣事業担当者は委員会の初回で事業の現状と課題について報告した。

（５）中途失聴・難聴者の支え手の育成

中途失聴・難聴者とともに学ぶコミュニケーション講座

「聞こえづらいこと」について話そう・学ぼう

10月25日（金）～11月15日（金）13:30～15:00、全４回、参加者16名

回	日	テーマ	講師
1	10月25日	講演「聴覚障害・聴覚障害者について」	河合 優子氏 （東京都中途失聴・難聴者協会）
2	11月1日	中途失聴・難聴者が使いやすい手話①	河合 優子氏 （東京都中途失聴・難聴者協会）
3	11月8日	中途失聴・難聴者が使いやすい手話②	河合 優子氏 （東京都中途失聴・難聴者協会）
4	11月15日	地域の団体紹介・交流会	東村山市難聴者の会 悠々 要約筆記サークルゆいま～る 事務局

（６）会議等

①市・障害支援課と定例協議

②東村山市意思疎通支援事業連絡調整会議

9月30日、3月27日

③聴覚障がい者への支援力の向上を目的に、各種研修への参加

④「手話通訳派遣事業利用者の声を聴く会」

2月1日（土）14:00～16:00 社協 地域福祉活動室にて

利用者17名出席

6 移送サービス事業

社協会員世帯で、在宅車いす利用者と視覚障がい者を対象に、移送支援を行った。市内の NPO 法人から福祉車両の寄付をいただき、令和 6 年 5 月から 4 台体制となっている。

下表のとおり移送車の運行を行った。（前年度利用件数：1, 650 件）

①登録者数 149 名（うち新規登録者 19 名）※令和 7 年 3 月末現在

②月別運行件数

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	年間
利用者実人数	51	52	47	50	45	48	46	46	45	41	39	47	91
(内視覚障がい者)	12	11	9	12	13	9	15	11	10	7	9	7	22

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
利用のべ件数	160	149	146	165	152	157	165	167	150	130	130	147	1,818
(内視覚障がい者)	38	32	32	34	48	43	45	41	40	24	26	25	428

③利用内容

	通院・入退院	買物・金融機 関立ち寄り	講座・会合出席	スポーツ	その他
件数	1,334	231	56	51	146

※その他：理美容、面会、行政等手続き、娯楽の外出、墓参り、施設見学他

7 車いす短期貸出事業

社協会員世帯で歩行が困難な方等を対象に車いすの短期貸し出しを行った。車いすの貸し出し状況及び在庫情報をデータ化し、適切な管理に努めた。また、ボランティアグループ“ウィールの会”の協力により、車いすの清掃、簡単なメンテナンスを月 2 回程度実施した。ボランティアセンターと連携してウィールの会と打合せ会を行い、円滑なメンテナンスをしていただけるような仕組みづくりに努めた。

	貸出	返却
件数	166 件（延長 5 件含む）	141 件

車いすの寄付；5 台

IV 法人運営

1 組織運営事業

(1) 理事会・評議員会・役員会の開催、監事監査の実施

項 目	実 績				
役員等の 現状	(令和5年6月28日改選 令和7年3月31日現在)				
	会 長；大原喜美子 副 会 長；遠藤剛之、丹代了				
	常務理事；江藤佳子 会計担当理事；石橋茂				
	理 事；鳥羽美香、水戸部瑞江、松江みち子、新村逸男、西岡修、 酒井雅司、佐藤恒夫、藤原公子、吉田謙、東村浩二				
	監 事；小松健二、瀧口章江				
		顧 問	監 事	理 事	評議員
	定 数	若干名	2 名	14～16 名	28～32 名
	現員数	2 名	2 名	15 名	29 名
理事会	回数	日時・会場	出 席	主 な 内 容	
	第1回	6/4(火) 10:00～12:03 社会福祉協議会	理事 14 名 監事 2 名	令和5年度事業報告の承認 令和5年度資金収支決算の承認 理事候補者 評議員候補者の推薦 経理規程の一部改正 令和6年度定時評議員会の招集 資産運用規程の制定	
	第2回	10/15(火) 10:00～11:55 社会福祉協議会	理事 11 名 監事 1 名	令和6年度資金収支補正予算の承認 嘱託職員に関する要綱の一部改正 非常勤職員の取扱いに関する要綱の一部改正 ひとり暮らし高齢者等ふれあい訪問事業実施要綱の廃止 福祉サービス総合支援事業実施要綱の一部改正 東村山市基幹相談支援センター運営要綱の一部改正 指定一般相談支援事業運営規程の制定 成年後見制度推進機関設置運営要綱の制定 令和6年度第2回評議員会の招集	
	第3回	3/4(火) 10:00～11:57 社会福祉協議会	理事 13 名 監事 2 名	令和6年度資金収支補正予算の承認 令和7年度事業計画の承認 令和7年度資金収支予算の承認 事業基金の取り崩し 退職給付引当資産の積み立て	

評議員会				管理職の選任 役員等賠償責任保険契約の締結 令和6年度第3回評議員会の招集
	回数	日時・会場	出席	主 な 内 容
	第1回	6/19(水) 10:00～11:50 社会福祉協議会	出席 24 名	令和5年度事業報告の承認 令和5年度資金収支決算の承認 理事の選任
	第2回	10/25(金) 10:00～11:32	出席 21 名	令和6年度資金収支補正予算の承認 ひとり暮らし高齢者等ふれあい訪問事業実施要綱の廃止
	第3回	3/18(火) 10:00～11:59	出席 22 名	令和6年度資金収支補正予算の承認 令和7年度事業計画の承認 令和7年度資金収支予算の承認 事業基金の取り崩し 退職給付引当資産の積み立て
役員会	会長・副会長・常務理事・会計担当理事で構成する定例役員会を毎月開催した(8月を除く)。			
監査等の実施	・会計内部監査 5/21 15:00～15:40 内容；会計担当理事による令和5年度決算監査 11/21 10:00～10:30 内容；会計担当理事による令和6年度上半期会計監査 ・監事監査 5/23 10:00～11:50 内容；令和5年度事業・決算監査 11/28 9:30～12:00 内容；令和6年度上半期事業・会計監査			
理事・監事選考委員会	理事・監事の次期改選に向けた準備を始めた。 ・第1回 3/12(水) 10:00～11:10、出席4名 内容；委員会の役割について、委員長の選出、選考方針について、選出区分及び選出母体の確認について、現任理事・監事の理事会出欠席状況 他			

(2) 部会・委員会の開催

項 目		実 績	
部会・委員会の活動			
① 女性・子ども部会〔委員 9 名〕			
月 日	出席	内 容	
2／26	6 名	視 察 ・ 講 義	東村山市立 本町児童館 学習会「児童館の現状と今後の展望について」 講師：本町児童館 館長 吉野澄雄氏
②心身障害者（児）部会〔委員 9 名〕			
災害時の障がい者の支援			
月 日	出席	内 容	
9／25	6 名	会 議	部会長あいさつ、部会員自己紹介と近況 今年度の部会の活動についての検討

1/22	6 名	講 義 ・ 会 議	防災防犯課説明（市内の避難所の設備や備蓄状況等） 地域福祉推進課説明（福祉避難所の設備や備蓄状況等） 意見交換
3/11	7 名	会 議	今年度テーマ「災害時の障がい者の支援」の総括 次年度の部会について

③高齢者部会〔委員 10 名〕

月 日	出席	内 容	
12/16	5 名	講 義	学習会「地域で暮らす高齢者を支える取り組みについて」 ・地域包括支援センターの取組み～各圏域の活動から見えてきたもの～ 講師：地域包括支援センター 係長 中島文亜 ・東村山市社会福祉協議会の取組み 講師：法人経営・まちづくり推進課長 徳田尚美

④地域福祉活動部会〔委員 9 名〕

月 日	出席	内 容	
1/16	4 名	学習会	学習会「令和 6 年能登半島地震に係る災害ボランティアの取組み」 ～「能登半島地震被災者支援」ボランティアに参加して～ ・お話 恩多町福祉協力員会地区長 藤原 幸博氏

⑤福祉だより編集委員会〔委員 5 名〕

年 5 回の発行を通じ、市民に向けて社協事業の広報に努めた。

月 日	出席	内 容
5/21	4 名	福祉だより 7/1（第 233 号）の企画・編集
8/22	4 名	福祉だより 10/1（第 234 号）の企画・編集
10/23	5 名	福祉だより 12/1（第 235 号）の企画・編集
1/21	4 名	福祉だより 3/1（第 236 号）の企画・編集
3/24	5 名	福祉だより 5/1（第 237 号）の企画・編集

（３）会員制度の啓発、会員拡充

社協パンフレットを活用して新規加入の方を対象に、社協の PR に努めた。現在加入してくださっている方々には感謝の気持ちを伝えるとともに、継続していただけるよう働きかけを行った。また、自動払いをすすめるチラシを作成・配布し、会費納入の利便性の向上に努めた。会員企画については、会員ニーズを絞り切れず実施が出来なかった。

令和 6 年度 会員加入状況	区 分		会費額 (1 口)	令和 6 年度		令和 5 年度	
				会員数	金 額	会員数	会員数
	正会員	個 人	500 円	4,615	3,755,000	4,754	3,892,500
		団 体	1,000 円	114	546,000	123	559,000
	賛助 会員	一般賛助	1,000 円	122	173,000	123	179,000
		特別賛助	5,000 円	61	440,000	61	445,000
				4,912	4,914,000	5,061	5,075,500
令和 6 年度新規会員加入者数 160 件（令和 5 年度 180 件） 会員加入率 6.4%（令和 5 年度 6.6%）							

	東村山市世帯数 77,177 世帯（令和 6 年 3 月 31 日現在）
地域福祉大会 の開催	合唱、講演、計画発表、どれも充実した内容で好評だったが、『集客力』を考えると映画上映などのプログラムが必要。 ○4 月 20 日（土）13:00～16:00 参加者:250 名（延べ人数・職員を除く） 内容： <第一部 式典> 表彰・感謝状贈呈 福祉協力員 15 期；1 名、福祉協力員 10 期；15 名、福祉協力員 5 期；28 名、高額寄付；9 名（個人・団体）、ボランティア活動功労；3 件 <第二部> 第 6 次地域福祉活動計画（2024～2029）発表会 内容：①オープニング(合唱) 混声合唱団 Coro Mira(コーロミラ) ②(講演)「このまちを住み良いまちにするために」 策定委員長 室田信一氏（都立大 准教授） ③『ありがとう』言って言われる東村山 一計画発表
会員制度啓発 会費募集の取 り組み	・会員ニュース発行 5,500 部 メモ帳発行 5,500 部 ※全会員対象に配布。会員ニュースは、夏！体験ボランティアや子ども協力員の活動紹介、第 6 次地域福祉活動計画について等、社協の子ども・若者に焦点を当てた取り組みを伝える内容で、会員の社協事業の理解促進に努めた。 ・新規会員に社協パンフレットを配布した。 ・昨年度に引き続き、個別集金は福祉協力員会に依頼した。それぞれの町にあった方法で会員加入のお礼・継続依頼文書と会員ニュース・前年度の事業報告を配布後に会費の依頼をし、会員募集の呼びかけに努めた。 ・事務局扱いの会員全員に口座引落のご案内を行い、会費納入の利便性向上に努め、24 件の申込みがあった。

（４）運営体制の整備

項 目	実 績
規程等の整備	定款、規程、要綱等の改正、所轄庁への届出等を行った。
法人経営管理 業務の改善	会計事務所と顧問契約を締結し、適正な財務会計体制の確立と経営管理の改善に努めた。
苦情への対応	2/3（月）の苦情申立てを受け、苦情解決における客観性と社会性を確保するため第三者委員を設置した。また適宜、障がい者虐待防止検討委員会等で状況の共有、対応方法等を検討して苦情の解決をすすめた。
検討委員会の 開催	5/15（水）9：30～ 第 1 回高齢者虐待防止検討委員会 〃 10:00～ 第 1 回障がい者虐待防止検討委員会 11/22（金）13：00～ 第 2 回障がい者虐待防止検討委員会 〃 14：00～ 第 2 回高齢者虐待防止検討委員会 2/6（木）10：00～ 第 3 回障がい者虐待防止検討委員会
感染症対策の 実施	10/18（金）14：00～15：00 第 1 回感染症対策委員会 2/21（金）14：00～15：00 第 2 回感染症対策委員会 3/21（金）13：00～14：30 令和 6 年度感染症対策研修（講師；栗須崇先生）
職場内研修の 実施	7/25（木）10：00～11：30 従事者向け障がい者虐待防止研修 〃 13：30～15：00 従事者向け高齢者虐待防止研修
局会議の開催	係間連携を強化し、組織の効果的な運営を図るために毎月 2 回局会議を開催した。
市・社協総合	地域福祉の推進に向け、事業の在り方について総合的に調整することを目的

調整会議の開催	として市・健康福祉部の各所管並びに経営政策部と総合調整会議を開催した(2回)。
---------	---

(5) 自己財源の確保

項 目	実 績
会員会費 (再掲)	会員数；4,912件 (令和5年度；5,061件) 会費額；4,914,000円 (令和5年度；5,075,500円)
寄附金・寄附 物品	一般寄附金；142件 5,935,090円※一円貨募金推進委員会からの寄付含む (令和5年度；152件 10,349,735円) マンスリー寄附者5名 マンスリー継続寄付(クレジットカード決済等)をホームページ上で募集。 物品寄附；車いす5台、食料品、生理用品、商品券等
募金運動	下記のような取り組みの工夫を行いながら募金運動を進めた。 ・市内ボランティアの協力を得て募金箱のデコレーションを行い、公民館等の各公共機関へ設置。 ・東村山市内社会福祉法人連絡会へ募金箱の設置を依頼し、様々な施設に募金箱を設置。 ・各募金運動の広報のため、福祉協力員会へポスター掲示やチラシ配布等の協力を依頼。 ・職員が使用する自転車や公用車に、募金PRのラミネート等を貼り付け、募金運動の広報活動を実施。 ①一円貨募金 一円貨募金推進委員会の事務局として募金運動を推進した。募金は、移送サービス事業、ふれあい訪問・ふれあい電話訪問事業、標準服リユース事業、生活にお困りの方への物資支援の一部の財源とし、募金運動の推進に努めた。 ・募金総額2,969,924円 (令和5年度；3,078,345円) ・特別賛助会員に募金の協力の依頼文書を送付。 ・街頭募金 i) 7月1日(月) 17:00～18:00 東村山駅で実施 ii) 7月8日(月) 10:00～11:00 イトーヨーカドー東村山店で実施 iii) 7月16日(火) 10:00～11:00 いなげや東村山秋津店で実施 iv) 7月26日(金) 17:00～18:00 久米川駅、新秋津駅で実施 v) 7月31日(水) 17:00～18:00 いなげや東村山市役所前店で実施 ※大雨のため途中中断 ②赤い羽根共同募金 東京都共同募金会東村山地区協力会の事務局として、赤い羽根共同募金運動を推進するための準備を行った。街頭募金実施において新規箇所の開拓、高校や中学校への声掛けの範囲を拡げ、協力を募った。 ・募金総額1,776,067円 (令和5年度1,721,804円) ・街頭募金 i) 10月1日(火) 17:00～18:00 東村山駅、新秋津駅で実施 ii) 10月3日(木) 11:30～12:30 スーパーアルプス東村山店で実施 iii) 10月15日(火) 11:30～12:30 ヨークフーズ東村山店で実施 〃 17:00～18:00 いなげや東村山秋津店で実施

	iv) 10月18日(金) 11:30~12:30 イトーヨーカドー東村山店で実施 v) 10月24日(火) 11:30~12:30 生活クラブ生協デポー東村山で実施 vi) 10月28日(月) 17:00~18:00 いなげや東村山市役所前店で実施 vii) 10月31日(木) 17:00~18:00 久米川駅、武蔵大和駅で実施 ・地区協力会 i) 第1回 8月23日(金) 10:00~11:30 出席14名 内容; ①令和5年度共同募金運動報告、②令和6年度共同募金運動計画、 ③令和5年度地区協力会監事監査報告、その他 ii) 第2回 3月25日(火) 10:00~11:30 出席9名 内容; ①令和6年度共同募金運動報告、②令和7年度共同募金運動計画、 ③令和6年度配分推せん委員会報告、その他 ③歳末たすけあい運動 東京都共同募金会が主催する歳末たすけあい運動を推進した。 ・募金総額 3,251,047 円 (令和5年度 3,021,039 円) ・街頭募金 i) 12月2日(月) 17:00~18:00 東村山駅・新秋津駅で実施 ii) 12月13日(金) 10:00~11:00 ヨークフーズ東村山店で実施 〃 17:00~18:00 いなげや東村山市役所前店で実施 iii) 12月18日(水) 17:00~18:00 イトーヨーカドー東村山店で実施 iv) 12月23日(月) 17:00~18:00 久米川駅で実施 ・募金の使いみちを一部変更した。次年度配分分より反映させる。 ・「歳末たすけあい運動」ののぼり旗を作成し、広報に使用した。
配分推せん委員会の開催	東京都共同募金会東村山地区配分推せん委員会を開催した。施設見学は現地見学を実施した。また配分対象施設のヒアリングを行い、 i) 第1回 令和6年6月25日(火) 10:00~11:47 出席7名 内容; 地域配分の受付・評価方法の確認、受配団体見学について検討 ii) 施設見学会 令和6年9月11日(水) 出席; 配分推せん委員2名 見学先; 児童発達支援センター マイム 10:00~11:30 内容; 施設職員からの施設説明及び質疑応答 iii) 第2回 令和7年1月22日(水) 10:00~11:30 出席8名 内容; 地域配分の配分推せん額の検討、共同募金小地域福祉活動費の報告 歳末たすけあい募金配分計画の検討、全都配分の推せん報告、対象施設ヒアリング報告
東村山市社協ファンドレイジングチーム(FRT)の開催	(1)事務局会議の開催 自主財源確保のための仕組みや広報、自主事業の発展を検討するため、主に法人経営・まちづくり推進課職員7名で「東村山市社協ファンドレイジングチーム(FRT)」を構成し、検討を行った。 内容; FRの取り組み(今年度の重点事業の確認等)について 他 (2)ファンドレイジング(FR)実施の検討 ・久津摩和弘氏(一般社団法人日本地域福祉ファンドレイジングネットワーク COMMNET 理事長)をアドバイザーに迎え、社協で取り組むファンドレイジングについて打合せをオンライン(Zoom)にて実施した。 ・実施; 毎月第2、4木曜(日)13:00~16:00を基本に開催 ・FRの取り組み検討、ロジックモデル、活動・スタッフレポートの作成 他 ・ロジックモデルの作成; 社会課題、解決への取り組みを地域に伝えるため、法人経営・まちづくり推進課職員(12名)が、3つのテーマに分かれ、久津

	摩氏のアドバイスを受けロジックモデルの作成に取り組んだ。 ・ニュースレターの発行；社協の取り組みを応援してくださる寄付者等に向け、福祉の最前線の“今”の情報を伝えるニュースレター「FACT（創刊号）」を12月に発行した。 (3) 広報 ・毎月の寄付者（マンスリー）を募るため、作成したチラシ・申込書を福祉協力店等に設置したほか、産業祭で配布して広報を行った。 ・マンスリー協力者；1名増（8月より）
自動販売機の設置	公共施設等に2台を設置（東京都東村山福祉園2台） 手数料収益 261,466 円（令和5年度；336,049 円・5台）
その他自主財源の確保	広告収入；1,578,000 円（令和5年度；1,579,000 円） 印刷機使用料収入；501,873 円（令和5年度；559,615 円）

（6）法人管理事務

項 目	実 績
法人管理事務	課会議や係会議を定期開催し、情報を共有して、よりよい事業運営ができるように下記の事項について検討・事務を行った。 ①人事・給与管理、社会保険、福利厚生・健康管理 ○給与・手当等の計算 ○入退職手続 ○労働者名簿の管理 ○社会保険資格得喪手続 ○健康診断予約 ○産業医の配置 ○マイナンバーの管理 ○勤怠管理システムのトライアル実施など ②財務・その他管理 ○予算・決算 ○経理事務 ○金銭出納 ○資産管理 ○税務 ○契約事務 ○各種届出 ○文書の収受・管理、建物・車両等の管理・点検 ○建物防火管理 など

2 計画推進・調査・広報・連絡調整

（1）第6次地域福祉活動計画の推進

項 目	実 績
事務局会議の開催	第6次地域福祉活動計画の推進について、事務局会を開催して検討を行った。 ・開催回数；9回（5/20、7/18、9/18、10/16、11/20、12/18、1/22、2/19、3/19） ・事務局職員；10名 ・内容；社協職員対象説明会の進め方、アクションチームメンバーの募集方法、福祉だより特集ページの検討、アクションチームの進捗状況（チーム会議、活動等）の共有・検討、視察・意見交換会に向けた検討、第1回推進委員会について、地域福祉大会での報告内容について 等
計画の推進	(1) 地域福祉大会での市民への計画説明を行った後、第6次地域福祉活動計画策定委員との「振り返りの会」（5/22）を実施。具体的な計画推進に向けて策定委員に引き続きの協力を呼びかけた。 (2) 各アクションチーム会議で今年度の取り組みについての検討を行い、子ども・若者への調査（直接インタビュー、夏ボラ参加者へのアンケート、産業

	祭でのアンケート）や他地区の視察の検討・調整等の活動を行った。 (3) 第6次地域福祉活動計画の推進に活かせるよう、東京ボランティア・市民活動センター主催の「地域の居場所づくり研究委員会」に参加し、他地区の取り組みについての情報収集等を行った。（4/25、8/30、3/4） (4) 推進委員会の開催 推進委員会を開催し、今年度の活動報告をするとともに、各アクションチームの課題等を共有し、今後必要な取り組みについて助言をいただいた。 ・開催回数；1回(3/7) ・推進委員；7名 ・事務局職員；10名 ・内容；委員長、副委員長選出、各アクションチームの進捗状況報告、次年度の取り組み、その他（地域福祉大会、地域協議会）等
計画のPR、理解促進の取り組み	(1) 地域福祉大会（4/20・中央公民館）の第2部で発表会を実施（室田策定委員長の講演、及び策定委員による計画説明） ※再掲 (2) 東村山市第6次地域福祉活動計画書、及びダイジェスト版を市内公共施設に設置した。また、市内外の関係機関・団体への配布を行い、計画の周知に努めた。 (3) 社協職員を対象とした「職員説明会」を開催し、計画の理解促進と意識啓発を行った。（5/22） (4) 社協職員が地域の様々な場面で第6次地域福祉活動計画についての説明ができるよう、プレゼンテーション用の資料を用意し、職員に周知した。 また、地域住民との接点の多い、まちづくり支援系の係会議において計画のポイントについて共有・意見交換を行った。 (5) ボランティアグループ懇談会からの依頼で、第6次地域福祉活動計画の説明を行った。（6/22） (6) 福祉だより（5/1号（1面・2面）、12/1号（特集ページ））に掲載した。 (7) 社協理事会（10/15）、評議員会（10/25）で第6次計画の説明を行った。 (8) 第6次計画で目指すことを学校教員にも理解を深めていただくため、市内小・中学校の校長会役員会（2/25）、校長会（3/6）で説明を行った。 (9) SNSを使った広報；Facebook、twitterにて取り組みの報告（随時）

（２）社協中期経営計画の策定

項 目	実 績
社協中期経営計画の策定	社協中期経営計画の策定にあたり、「社会福祉協議会基本要項 2025」の改定を反映させて策定することとしていたが、改定が令和7年度となったことから策定を遅らせることとなった。また、これまでの社協発展・強化計画の振り返りを行い、策定に向けての情報共有と意見交換などを行った。令和7年度早期に策定し、推進を行う。

（３）広報

項 目	実 績
福祉だよりの発行	5月1日号（No. 232）、7月1日号（No. 233）、10月1日号（No. 234）、12月1日号（No. 235）、3月1日号（No. 236）を発行
ホームページ・SNS	・ホームページ；新着情報更新（随時）。 ・Facebook、Twitter；「ぽんたくんのまちづくり日記—東村山市社協—」幅広い世代へ向けて活動計画だけでなく地域活動の情報提供を行った。 ・情報管理を目的に掲載記事についてルール作り（事前決裁）を行った。

出前講座	社協事業や福祉制度への理解を深めるために、職員の専門知識を活かして出前講座を実施。 ◇4月24日「災害トイレの説明、災害ボランティアセンターの役割について」 (廻田町福祉協力員会めぐりたサロン) ※協力：東村山災害スタボラ会 ◇11月16日「成年後見制度について」 (まんまる・ダウン症児親の会、於；ころころの森) ◇1月19日「“いざ”という時に備えて～エンディングノート～」 (久米川町第三高砂クラブ、於；久米川ふれあいセンター) ◇3月4日「子ども食堂について」 (民生児童委員・生活福祉部会、於；市民センター第6会議室) ◇3月25日「終活・エンディングノート」 (久米川町保健推進員会、於；中央公民館第3集会室)
その他 広報活動	○福祉協力店事業(2025.3月末現在：33店舗) ・商店・事業所等の協力を得て、社協情報の広報紙やポスターの掲示、募金箱の設置等を行い、社協活動のPRに努めた。 ・福祉だよりで「あなたのまちの“協力店”」の連載を行った。

(4) 関係機関との連携・連絡調整

項 目	実 績
関係機関・団体との連携	1. 東村山市高齢者福祉施設連絡会 東村山市高齢者福祉施設連絡会の事務局を社会福祉協議会が担当した。 (1) 会議の開催 ①施設長会議；6回(4/16、6/18、8/20、10/8、12/17、2/25) ・主な内容；令和5年度事業報告・決算報告、令和6年度事業計画・予算、委員会等委員の選出、令和6年度事業報告・決算報告、令和7年度事業計画・予算、年間会議予定、担当者会議報告、各委員会報告、情報交換 他 ②役員会；1回(2/10) ・主な内容；施設連絡会の運営について、令和6年度事業報告・決算(案)、令和7年度事業計画・予算(案)の確認 他 ③担当者会議；6回(5/27、7/29、9/30、11/25、1/27、3/24) ・主な内容；各事業についてチーム別に検討(研修会、施設見学会、お年寄りの手づくり作品展) (2) 研修会 ①栄養士研修 『栄養士による栄養士のための情報交換会』 日時；10月11日(金) 13:30～15:30 会場；特別養護老人ホーム 白十字ホーム 出席；12名(栄養士7名、研修会担当者3名、事務局2名) 内容；自己紹介、事前アンケートについての情報交換、意見交換、会場見学 ②テーマ別研修『福祉施設の情報発信について』 日時；2月14日(金) 14:00～16:00 会場；養護老人ホーム さくらコート青葉町

	出席；18名(13施設) 内容；会場見学、事前アンケートについての情報交換、AI 議事録ソフトの紹介等 ③介護職員短期派遣研修 11月～12月を実施期間とし、介護職の資質向上を図ることを目的として、各施設へ介護職の派遣を行った。 参加施設；派遣9施設（受け入れ可と回答した施設：16施設） 参加者数；10名 (3)高齢者施設見学会（となりのホーム） ・新型コロナウイルス感染症予防のため見学会は中止とし、代わりにデイサービス、軽費老人ホーム、養護老人ホームの紹介動画を作成。お年寄りの手づくり作品展会場で動画を上映。施設紹介冊子『つながり』を修正、増刷し、各関係機関へ配布。 (4)お年寄りの手づくり作品展 ・日時；令和7年3月13日（木）～16日（日）9：00～18：00 （最終日のみ15：00まで） ・会場；東村山市中央公民館 1階展示室 ・作品数；478点（施設464点、地域14点） / 来場者；930名 (5)外国人人材の採用・受入れに関する勉強会 講師；ヒューマンライフケア（株） 【第1回】 4月16日（火） 参加者；9名 ・現在の介護業界における人材問題、外国人介護士を取り巻く環境、経営戦略としての外国人人材受け入れ 【第2回】 8月6日（火） 参加者；10名 ※うち2名は市外より参加 ・各国における文化の違いについて、外国人介護人材への教育・指導ポイント、法人・事業所における外国人介護士が働きたい環境作り 2. 東村山市内社会福祉法人連絡会 東村山市高齢者福祉施設連絡会の事務局を東村山市社会福祉協議会が担当した。令和6年9月に1法人が加わり、市内全29法人が加盟した。 ○全体会； ①第1回 5/14(火)15：00～/地域福祉活動室 ・内容；幹事等役員の選任、2023(令和5)年度事業報告の承認、2023(令和5)年度決算の承認、2024（令和6）年度事業計画（案）、情報交換 ②第2回 9/27(金)13：00～/地域福祉活動室 ・内容；2024(令和6)年度上半期活動報告、食料等支援事業実施計画(案)、情報交換 ③第3回 1/17(金)10：00～/地域福祉活動室 ・内容；2024(令和6)年度活動報告(2024.10月～12月)、企業からのフードドライブの協働実施に関する申し入れ、情報交換 ④第4回 3/17(月)10：00～/地域福祉活動室 ・内容；2024(令和6)年度活動報告(2025.1月～3月)、2025(令和7)事業計画
--	--

	(案)・予算(案)、企業からのフードドライブの協働実施に関する申し入れ、生活支援コーディネーターからの調査依頼事項、情報交換 ○幹事会；11回（4/10、5/8、5/14、6/11、7/9、9/10、10/7、11/14、12/23、2/10、3/14） ・役員体制の確認、全体会について、2023年度事業報告・決算報告、2024年度事業実施計画(案)、福祉のしごと相談・面接会、お昼ご飯お届け事業、食料等支援事業、研修会、幹事会ニュースの発行、企業からのフードドライブ事業の協働実施に関する申し入れ、幹事会の体制強化、2025(令和 7)年度事業計画(案)・予算(案)、東久留米市内社会福祉法人連絡会からの講演依頼について 等 ○地域公益活動の実施 ①暮らしの相談ステーション；各法人窓口（27 法人 35 ヲ所）にて実施 ②お昼ご飯お届け事業 ・東村山市内に住所があり、学校が休みになる期間に給食がなくて困っている“ひとり親家庭”の小中学生へお昼ご飯をお届けした。 - また、学童クラブ利用世帯からの利用申込みを想定して、事業実施前に市関係所管と情報共有を行い、対応方法について検討した。 ・8月5日(月)～8月30日(金)（土日・祝日を除く19日間） ・利用者；12世帯・21人（小学生8、中学生8、その他5） ・配達食数；341食 ・調理；7法人/配達；6法人/配達協力；6名（東村山市民生委員・児童委員協議会） ・振り返りの会；9月19日（木）15:00～16:30 オンライン ③食料等支援事業 物価高騰等の影響で生活にお困りの方に対する支援として、フードドライブ、フードマーケット、フードパントリー事業を実施した。 また、実施にあたり、実行委員会を設置して企画・準備を行った。 ○実行委員会の開催 ・実行委員；7法人 ・会議；①第1回；10月29日（火）10:00～11:30 ②第2回；12月 9日（月）13:30～14:30 ③第3回； 3月11日（火）13:30～14:00 ・内容；食料支援事業（ドライブ・マーケット・パントリー）の実施内容、各事業のスケジュール確認、対象者・申込み方法・開催日時・広報・備品・運営等の検討、参加者企画・アンケート検討、イレギュラー対応 他 ○フードドライブ事業（一般家庭で眠っている食品等を“集める”取り組み） ・実施期間；11月25日（月）～30日(土) ・実施・提供法人；14法人（昨年比+6法人） ・他食品提供；市民の方、福祉協力員、pal システム東京等 ○フードマーケット事業（フードドライブで集まった食品の中から直接選んでもらい、無償で提供する取り組み） ・実施日；12月13日（金）15:00～18:00、12月14日（土）10:00～12:00 ・会場；6拠点(①白十字ホーム、②コロニー東村山、③はるびの郷、④ハトホーム、⑤さくらテラス青葉町、⑥社会福祉協議会
--	---

	・参加者；82名（昨年比▲3名） ・その他；法人連絡会の目的や取り組みを理解していただくため、パンフレットを作成し、配布した。 ○フードパントリー事業（封詰めした食品を無償で提供する取り組み） ・実施日；3月13日（木）～15日（土） ・会場；8拠点（①コロニー東村山、②はるびの郷、③飛翔クラブ、④花さき保育園、⑤さくらテラス青葉町、⑥ハトホーム、⑦山鳩会、⑧社会福祉協議会） ・参加者；50名（昨年比▲48名） ・その他；法人連絡会の目的や取り組みを理解していただくため、パンフレットを作成し、配布した。 ④民生委員・児童委員協議会との連携に向けた情報共有 ・法人連絡会の活動説明（お昼ご飯お届け事業への協力） ・お昼ご飯お届け事業への配達協力、及び振り返りの会への参加 等 ○その他 ①東村山市「涼みどころ」設置協力 ・7月1日～9月30日 ②福祉のしごと相談・面接会（主催；東村山市社会福祉協議会・東京都社会福祉協議会・東京都福祉人材センター/共催；ハローワーク立川/後援；東村山市、法人連絡会） ・8月5日（月）13:30～16:00 サンパルネ コンベンションホール ・出展；15法人 参加者；40名（内採用者11名） ③幹事会ニュース発行（8月、12月） ④研修会「明日からの職員採用に役立つhow-to」 ・9月27日（金）15:00～17:00 ・参加；13法人（19名）
--	---

（５）実習受入

項 目	実 績
実習生受入等	○社会福祉士を目指す学生を対象に、ソーシャルワーク実習の受け入れを行った。昨年度から大きくカリキュラムに変更があり、ソーシャルワーク実習個別実習プログラムを作成した。また、昨年度同様に受入人数・期間を限定し、短期集中型の実習で5つの係に配属し、社協を包括的に理解できるプログラムとした。 〔Ⅰ期・9月2日～10月11日・24日間〕 ・日本社会事業大学1名・文京学院大学1名 ・オリエンテーション（9/2）、グループワーク（3回）他 ○第七中学校からの職場体験の依頼があり、10月31日・11月1日・2日間、2名の生徒を受け入れた。 ○障がい者雇用を検討する際の参考として、都教育庁の特別支援教育推進室が取り組む、都立特別支援学校生徒のインターンシップの受け入れについて、都担当職員に来所（3/5）してもらい、事業概要の説明を受けた。

令和 6 年度財務報告書

1	事業区分、拠点区分、サービス区分一覧	7 2
2	法人全体貸借対照表	7 3
3	法人全体資金収支計算書	7 4
4	法人全体事業活動計算書	7 5
5	法人全体財産目録	7 6
6	サービス区分別資金収支計算書	7 8
監事監査報告書		1 1 7

事業区分、拠点区分、サービス区分一覧

1. 社会福祉事業区分	
【地域福祉活動推進事業拠点区分】	
	1. 組織運営事業
	2. 調査研究事業
	3. ひとり親貸付事業
	4. 歳末たすけあい事業
	5. 地域福祉活動推進事業
	6. 移送サービス事業
	7. ふれあい事業
	8. ボランティア活動推進事業
	9. 助成事業
	10. 生活福祉資金貸付事業
	11. 福祉サービス利用援助事業
【市受託事業拠点区分】	
	1. 手話通訳者事業
	2. 地域包括支援センター基幹業務
	3. 中部地域包括支援センター事業
	4. 高齢者生きがい事業
	5. 敬老福祉啓発事業
	6. 健康長寿のまちづくり推進室事業
	7. 老人クラブ育成相談事業
	8. 福祉サービス総合支援事業
	9. 成年後見制度推進事業
	10. 基幹相談支援センター事業
	11. 第1層生活支援コーディネーター事業
	12. 第2層生活支援コーディネーター事業
【介護保険事業拠点区分】	
	1. 居宅介護支援事業
	2. 訪問介護事業
	3. 身体障害者居宅介護事業
【応急小口資金貸付事業拠点区分】	
	1. 応急小口資金貸付事業
2. 収益事業区分	
【自動販売機設置事業拠点区分】	
	1. 自動販売機設置事業

法人単位貸借対照表

令和 7年 3月31日 現在

資産の部				負債の部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産				流動負債			
現金預金	85,649,944	113,500,093	△27,850,149	事業未払金	30,619,332	56,119,997	△25,500,665
事業未収金	69,075,270	57,636,671	11,438,599	1年以内返済予定リース債務	14,722,251	15,291,451	△569,200
未収補助金	14,351,242	53,870,578	△39,519,336	未払費用	728,640		728,640
立替金	67,900	0	67,900	預り金	10,381,247	30,057,017	△19,675,770
前払金	246,780	228,840	17,940	職員預り金	2,594,900	5,648,071	△3,053,171
短期貸付金	1,433,052	1,211,050	222,002	前受金	2,177,793	5,103,958	△2,926,165
	475,700	552,954	△77,254		14,501	19,500	△4,999
固定資産	226,666,036	230,551,040	△3,885,004	固定負債	27,579,711	24,690,580	2,889,131
基本財産	3,000,000	3,000,000	0	リース債務	2,246,640		2,246,640
定期預金	3,000,000	3,000,000	0	退職給付引当金	25,333,071	24,690,580	642,491
その他の固定資産	223,666,036	227,551,040	△3,885,004	負債の部合計	58,199,043	80,810,577	△22,611,534
建物	2	2	0	純資産の部			
構築物	181,866	203,223	△21,357	基本金	12,937,997	12,937,997	0
車両運搬具	2,820,690	4,001,156	△1,180,466	第1号基本金	12,937,997	12,937,997	0
器具及び備品	1,729,349	2,281,095	△551,746	基金	190,553,154	195,801,640	△5,248,486
有形リース資産	2,914,560		2,914,560	事業基金	61,236,352	66,778,752	△5,542,400
ソフトウェア	513,334	953,334	△440,000	市民活動推進事業基金	107,260,564	107,502,046	△241,482
退職給付引当資産	25,333,071	24,690,580	642,491	介護保険事業運営基金	21,056,238	20,520,842	535,396
事業基金積立資産	61,236,352	66,778,752	△5,542,400	応急小口資金貸付事業基金	1,000,000	1,000,000	0
市民活動推進事業基金積立資産	107,260,564	107,502,046	△241,482	国庫補助金等特別積立金	1,252,000	1,789,459	△537,459
介護保険事業運営基金積立資産	21,056,238	20,520,842	535,396	その他の積立金	0	0	0
差入保証金	600,000	600,000	0	次期繰越活動増減差額	49,373,786	52,711,460	△3,337,674
その他の固定資産	20,010	20,010	0	(うち当期活動増減差額)	△8,315,049	△4,258,883	△4,056,166
資産の部合計	312,315,980	344,051,133	△31,735,153	純資産の部合計	254,116,937	263,240,556	△9,123,619
				負債及び純資産の部合計	312,315,980	344,051,133	△31,735,153

法人単位資金収支計算書

(自)令和 6年 4月 1日(至)令和 7年 3月31日

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支	収入				
	会費収入	5,120,000	4,914,000	206,000	
	寄附金収入	10,048,000	5,935,090	4,112,910	
	経常経費補助金収入	126,580,000	119,529,525	7,050,475	
	受託金収入	264,523,000	261,178,695	3,344,305	
	事業収入	5,269,000	4,853,569	415,431	
	介護保険事業収入	71,613,000	68,891,556	2,721,444	
	障害福祉サービス等事業収入	14,040,000	15,060,090	△1,020,090	
	受取利息配当金収入	1,838,000	1,773,558	64,442	
	その他の収入	540,000	581,036	△41,036	
	事業活動収入計(1)	499,571,000	482,717,119	16,853,881	
	支出				
事業活動による収支	人件費支出	437,644,000	430,875,298	6,768,702	
	事業費支出	14,596,000	12,131,753	2,464,247	
	事務費支出	46,871,000	40,493,959	6,377,041	
	助成金支出	5,135,000	4,232,300	902,700	
	事業活動支出計(2)	504,246,000	487,733,310	16,512,690	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		△4,675,000	△5,016,191	341,191	
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等収入計(4)				
	支出				
	固定資産取得支出	300,000	287,710	12,290	
	ファイナンス・リース債務の返済支出	795,000	667,920	127,080	
施設整備等による収支	施設整備等支出計(5)	1,095,000	955,630	139,370	
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△1,095,000	△955,630	△139,370	
	その他の活動による収支				
その他の活動による収支	収入				
	基金積立資産取崩収入	6,424,000	5,529,509	894,491	
	その他の活動収入計(7)	6,424,000	5,529,509	894,491	
	支出				
	基金積立資産支出	1,000	536,041	△535,041	
	積立資産支出	644,000	642,491	1,509	
その他の活動による収支	その他の活動支出計(8)	645,000	1,178,532	△533,532	
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	5,779,000	4,350,977	1,428,023	
予備費支出(10)		9,000	—	9,000	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		0	△1,620,844	1,620,844	
前期末支払資金残高(12)		57,382,000	57,380,096	1,904	
当期末支払資金残高(11)+(12)		57,382,000	55,759,252	1,622,748	

法人単位事業活動計算書

(自)令和 6年 4月 1日(至)令和 7年 3月31日

(単位:円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	収益			
	会費収益	4,914,000	5,075,500	△161,500
	寄附金収益	5,935,090	10,349,735	△4,414,645
	経常経費補助金収益	119,529,525	155,645,439	△36,115,914
	受託金収益	261,178,695	245,312,979	15,865,716
	事業収益	4,853,569	5,804,244	△950,675
	介護保険事業収益	68,891,556	61,061,640	7,829,916
	障害福祉サービス等事業収益	15,060,090	14,063,072	997,018
	基金取崩収益	271,111	271,111	0
	サービス活動収益計(1)	480,633,636	497,583,720	△16,950,084
サービス活動増減の部	費用			
	人件費	431,517,789	440,289,247	△8,771,458
	事業費	12,131,753	13,551,586	△1,419,833
	事務費	40,493,959	45,172,505	△4,678,546
	助成金費用	4,232,300	4,064,509	167,791
	減価償却費	3,209,914	1,651,781	1,558,133
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△537,459	△312,500	△224,959
	徴収不能額		61,366	△61,366
サービス活動増減の部	サービス活動費用計(2)	491,048,256	504,478,494	△13,430,238
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	△10,414,620	△6,894,774	△3,519,846
サービス活動外増減の部	収益			
	受取利息配当金収益	1,789,651	1,784,438	5,213
	その他のサービス活動外収益	581,036	252,564	328,472
	サービス活動外収益計(4)	2,370,687	2,037,002	333,685
	費用			
サービス活動外増減の部	支払利息	271,111	271,111	0
	サービス活動外費用計(5)	271,111	271,111	0
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	2,099,576	1,765,891	333,685
経常増減差額(7)=(3)+(6)		△8,315,044	△5,128,883	△3,186,161
特別増減の部	収益			
	施設整備等補助金収益		1,503,000	△1,503,000
	固定資産受贈額		870,000	△870,000
	特別収益計(8)	0	2,373,000	△2,373,000
	費用			
	固定資産売却損・処分損	5		5
	国庫補助金等特別積立金積立額		1,503,000	△1,503,000
特別増減の部	特別費用計(9)	5	1,503,000	△1,502,995
	特別増減差額(10)=(8)-(9)	△5	870,000	△870,005
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)		△8,315,049	△4,258,883	△4,056,166
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	52,711,460	50,823,458	1,888,002
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	44,396,411	46,564,575	△2,168,164
	基本金取崩額(14)			
	基金取崩額計(15)	5,529,509	6,000,000	△470,491
	その他の積立金取崩額(16)		163,840	△163,840
	その他の積立金積立額(17)	552,134	16,955	535,179
次期繰越活動増減差額(18)=(13)+(14)+(15)+(16)-(17)		49,373,786	52,711,460	△3,337,674

財産目録
令和 7年 3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
I 資産の部						
1 流動資産						
現金預金		—	—	—	—	69,075,270
現金	現金手元有高	—	運転資金として	—	—	403,976
現金 (地域)		—		—	—	303,947
現金 (受託)		—		—	—	1,000
現金 (介護)		—		—	—	0
現金 (応急)		—		—	—	99,028
現金 (歳末)		—		—	—	1
小口現金		—		—	—	60,000
小口現金 (地域)		—		—	—	20,000
小口現金 (受託)		—		—	—	20,000
小口現金 (介護)		—		—	—	20,000
釣り銭		—	コピー機コインペンダー用	—	—	0
普通預金		—	運転資金として	—	—	63,081,785
普通預金 (地域)	飯能信用金庫 東村山支店	—	運転資金として	—	—	44,502,961
普通預金 (生福)	飯能信用金庫 東村山支店	—	貸付金預かりとして	—	—	2,463,000
普通預金 (給与)	飯能信用金庫 東村山支店	—	運転資金として	—	—	0
普通預金	中央労働金庫 田無支店	—	運転資金として	—	—	1,908
普通預金 (歳末)	飯能信用金庫 東村山支店	—	募金活動として	—	—	0
普通預金 (その他)	飯能信用金庫 東村山支店	—	寄附・利用料等	—	—	27,061
普通預金	青梅信用金庫 東村山支店	—	運転資金として	—	—	252,926
普通預金	きらぼし銀行 久米川支店	—	運転資金として	—	—	121,018
普通預金	多摩信用金庫 東村山支店	—	運転資金として	—	—	309,332
普通預金	りそな銀行 東村山支店	—	住民税支払として	—	—	470
普通預金	ゆうちょ銀行 〇一九支店	—	会員会費口座として	—	—	39,090
普通預金	西武信用金庫 久米川支店	—	運転資金として	—	—	143,530
普通預金	西武信用金庫 久米川支店	—	募金活動として	—	—	9
普通預金	東京みらい農業協同組合東村山西支店	—	運転資金として	—	—	1,000
普通預金 (受託)	飯能信用金庫 東村山支店	—	運転資金として	—	—	14,699,287
普通預金 (介護)	飯能信用金庫 東村山支店	—	運転資金として	—	—	94,921
普通預金 (応急)	飯能信用金庫 東村山支店	—	運転資金として	—	—	425,272
普通預金 (収益)	飯能信用金庫 東村山支店	—	運転資金として	—	—	0
定期預金	西武信用金庫 久米川支店	—	運転資金として (基金取崩し)	—	—	5,529,509
事業未収金		—		—	—	14,351,242
事業未収金/居宅		—	介護報酬等	—	—	1,905,222
事業未収金/訪問		—	介護報酬等	—	—	4,882,490
事業未収金/訪問利用料		—	利用料	—	—	952,623
事業未収金/ガイド		—	介護報酬等	—	—	2,202,002
事業未収金/ガイド利用料		—	利用料	—	—	49,772
事業未収金/包括	中部地域包括支援センター	—	介護報酬等	—	—	3,453,254
事業未収金/その他	その他事業	—	その他	—	—	905,879
未収補助金		—	研修受講料補助金	—	—	67,900
立替金		—	各団体サロン保険代等	—	—	246,780
前払金		—	各種保険代等	—	—	1,433,052
短期貸付金		—	応急小口資金貸付事業	—	—	475,700
流動資産合計						85,649,944
2 固定資産						
(1) 基本財産						
定期預金	青梅信用金庫 東村山支店	—		—	—	3,000,000
基本財産合計						3,000,000
(2) その他の固定資産						
建物	公用駐車スペース内 1棟	1995年	物置：備品保管場所として	1,005,139	1,005,137	2
	〃	1995年	〃	305,910	305,909	1
	〃	—	〃	699,229	699,228	1
構築物	看板一式 他	—	広報用として	733,940	552,074	181,866
車輛運搬具	移送用トヨタエンタ・ボタNBOX等	—	地域福祉、利用者訪問・送迎用として	24,443,218	21,622,528	2,820,690
	電動アシスト自転車他	—	〃	—	—	—
器具及び備品	PC、プリンター、シュレッダー 他	—	事業運営のため	17,230,558	15,501,209	1,729,349
有形リース資産	複合機	—	〃	3,643,200	728,640	2,914,560
ソフトウェア	社協HP、成年後見支援システム等	—	〃	3,582,400	3,069,066	513,334
退職給付引当資産		—		—	—	25,333,071
地域福祉権利擁護事業	多摩信用金庫 東村山支店	—	嘱託職員退職手当として積立て	—	—	6,855,443
生活福祉資金貸付事業	きらぼし銀行 久米川駅前支店	—	嘱託職員退職手当として積立て	—	—	13,058,847
中部地域包括支援センター	飯能信用金庫 東村山支店	—	嘱託職員退職手当として積立て	—	—	2,642,728
介護保険事業/居宅	多摩信用金庫 東村山支店	—	嘱託職員退職手当として積立て	—	—	1,152,023
介護保険事業/訪問	多摩信用金庫 東村山支店	—	嘱託職員退職手当として積立て	—	—	874,014
介護保険事業/ガイド	多摩信用金庫 東村山支店	—	嘱託職員退職手当として積立て	—	—	750,016
事業基金積立資産		—		—	—	61,236,352
定期預金	三菱UFJ銀行 久米川支店	—	将来の事業充実のため積み立てている資金	—	—	10,055,312
定期預金	西武信用金庫 久米川支店	—	将来の事業充実のため積み立てている資金	—	—	31,099,852
投資有価証券	投資有価証券 1口	—	将来の事業充実のため資産運用している資金	—	—	10,081,188
普通預金	飯能信用金庫 東村山支店	—	将来の事業充実のため資産運用している資金	—	—	10,000,000
市民活動推進事業基金積立資産		—		—	—	107,260,564
定期預金	飯能信用金庫 東村山支店	—	将来のボランティア活動支援充実のため積み立てている資金	—	—	4,321,877
定期預金	多摩信用金庫 東村山支店	—	将来のボランティア活動支援充実のため積み立てている資金	—	—	7,000,000
投資有価証券	投資有価証券 2口	—	将来のボランティア活動支援充実のため積み立てている資金	—	—	95,938,687
介護保険事業運営基金積立資産		—		—	—	21,056,238
普通預金	飯能信用金庫 東村山支店	—	将来の介護保険事業充実のため	—	—	1,002,243
定期預金	きらぼし銀行 久米川支店	—	将来の介護保険事業充実のため	—	—	315,638
定期預金	きらぼし銀行 久米川支店	—	将来の介護保険事業充実のため	—	—	556,373
定期預金	多摩信用金庫 東村山支店	—	将来の介護保険事業充実のため	—	—	9,181,384
定期預金	東京みらい農業協同組合東村山西支店	—	将来の介護保険事業充実のため	—	—	10,000,600
差入保証金		—	ふれあいスペースいっぽく敷金	—	—	600,000
その他の固定資産	リサイクル料預け金	—	移送車リサイクル料	—	—	20,010
その他の固定資産合計						223,666,036
固定資産合計						226,666,036
資産合計						312,315,980

財産目録
令和 6年 3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
II 負債の部						
1 流動負債						
事業未払金		—	消費税、市補助金返還ほか	—	—	14,722,251
1年以内返済予定リース債務		—	事業運営のため	—	—	728,640
未払費用		—	職員退職給付費用等	—	—	10,381,247
預り金						2,594,900
生活福祉資金・預り金		—	東京都社協貸付金預かり	—	—	2,463,000
その他・預り金		—	ボランティア保険預り金ほか	—	—	131,900
職員預り金						2,177,793
雇用保険・預り金		—		—	—	416,975
社会保険・預り金		—		—	—	65,560
住民税・預り金		—		—	—	1,009,900
所得税・預り金		—		—	—	677,984
その他・預り金		—		—	—	7,374
前受金		—	令和6年度社協会員会費	—	—	14,501
流動負債合計						30,619,332
2 固定負債						
リース債務		—		—	—	2,246,640
退職給付引当金		—		—	—	25,333,071
固定負債合計						27,579,711
負債合計						58,199,043
差引純資産						254,116,937

(記載上の留意事項)

- ・土地、建物が複数ある場合には、科目を拠点区分毎に分けて記載するものとする。
- ・同一の科目について控除対象財産に該当し得るものと、該当し得ないものが含まれる場合には、分けて記載するものとする。
- ・科目を分けて記載した場合は、小計欄を設けて、「貸借対照表価額」欄と一致させる。
- ・「使用目的等」欄には、社会福祉法第55条の2の規定に基づく社会福祉充実残額の算定に必要な控除対象財産の判定を行うため、各資産の使用目的を簡潔に記載する。なお、負債については、「使用目的等」欄の記載を要しない。
- ・「貸借対照表価額」欄は、「取得価額」欄と「減価償却累計額」欄の差額と同額になることに留意する。
- ・建物についてのみ「取得年度」欄に記載する。
- ・減価償却資産（有形固定資産に限る）については、「減価償却累計額」欄に記載する。なお、減価償却累計額には、減損損失累計額を含むものとする。また、ソフトウェアについては、取得価額から貸借対照表価額を控除して得た額を「減価償却累計額」欄に記載する。
- ・車両運搬具の〇〇には会社名と車種を記載すること。車両番号は任意記載とする。
- ・預金に関する口座番号は任意記載とする。

組織運営事業サービス区分 資金収支計算書

(自)令和 6年 4月 1日(至)令和 7年 3月31日

社会福祉法人名 社会福祉法人 東村山市社会福祉協議会

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支	収入				
	会費収入	200,000	9,924	190,076	
	会費収入	200,000	9,924	190,076	
	寄附金収入	240,000	40,000	200,000	
	経常経費寄附金収入	240,000	40,000	200,000	
	経常経費補助金収入	69,212,000	62,782,496	6,429,504	
	市区町村補助金収入	69,012,000	62,582,496	6,429,504	
	市区町村補助金収入	69,012,000	62,582,496	6,429,504	
	助成金収入	200,000	200,000	0	
	助成金収入	200,000	200,000	0	
	事業収入	2,139,000	2,196,777	△57,777	
	広告料収入	1,578,000	1,578,000	0	
	実習受入収入	80,000	113,060	△33,060	
	使用料収入	480,000	501,873	△21,873	
	バザー収入	1,000	3,844	△2,844	
	受取利息配当金収入	287,000	252,970	34,030	
	受取利息配当金収入	1,000	2,550	△1,550	
	基金受取利息配当金収入	286,000	250,420	35,580	
	その他の収入	470,000	510,990	△40,990	
	雑収入	470,000	510,990	△40,990	
	雑収入	470,000	510,990	△40,990	
	事業活動収入計(1)	72,548,000	65,793,157	6,754,843	
	支出				
	人件費支出	71,095,000	70,326,448	768,552	
	職員給料支出	43,409,000	43,293,411	115,589	
	職員賞与支出	16,131,000	16,129,763	1,237	
	非常勤職員給与支出	1,862,000	1,482,446	379,554	
	法定福利費支出	9,693,000	9,420,828	272,172	
	事業費支出	866,000	559,077	306,923	
	車輦費支出	517,000	239,213	277,787	
	諸謝金支出	89,000	89,000	0	
	広報費支出	260,000	230,864	29,136	
	事務費支出	19,756,000	16,481,766	3,274,234	
	福利厚生費支出	643,000	628,470	14,530	
	旅費交通費支出	741,000	483,959	257,041	
	研修研究費支出(事務)	184,000	135,500	48,500	
	事務消耗品費支出(事務)	746,871	695,875	50,996	
	印刷製本費支出	602,000	374,275	227,725	
	修繕費支出	20,000	11,200	8,800	
	通信運搬費支出	603,746	512,595	91,151	
	会議費支出	16,000	8,083	7,917	
	業務委託費支出(事務)	3,496,129	3,496,129	0	
	手数料支出	296,490	224,468	72,022	
	保険料支出	555,510	555,510	0	
	賃借料支出	1,024,254	1,024,254	0	
	租税公課支出	9,107,000	6,625,502	2,481,498	
	保守料支出	1,050,537	1,044,890	5,647	
	渉外費支出	285,463	285,463	0	
	諸会費支出	359,000	355,040	3,960	
	雑支出	25,000	20,553	4,447	
	事業活動支出計(2)	91,717,000	87,367,291	4,349,709	
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△19,169,000	△21,574,134	2,405,134	
収入					
	施設整備等収入計(4)				

組織運営事業サービス区分 資金収支計算書

(自)令和 6年 4月 1日(至)令和 7年 3月31日

社会福祉法人名 社会福祉法人 東村山市社会福祉協議会

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
施設整備等による収支	支出				
	施設整備等支出計(5)				
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)				
その他の活動による収支	収入				
	基金積立資産取崩収入	6,424,000	5,529,509	894,491	
	事業基金積立資産取崩収入	6,424,000	5,529,509	894,491	
	事業区分間繰入金収入	158,000	261,466	△103,466	
	拠点区分間繰入金収入	19,603,000	22,789,635	△3,186,635	
	その他の活動収入計(7)	26,185,000	28,580,610	△2,395,610	
	支出				
	基金積立資産支出		536,024	△536,024	
	事業基金積立資産支出		639	△639	
	市民活動推進事業基金積立資産支出		6	△6	
	介護保険事業運営基金積立資産支出		535,379	△535,379	
	拠点区分間繰入金支出	4,316,000	2,103,121	2,212,879	
	サービス区分間繰入金支出	2,700,000	4,098,155	△1,398,155	
	その他の活動支出計(8)	7,016,000	6,737,300	278,700	
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	19,169,000	21,843,310	△2,674,310	
予備費支出(10)			—		
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		0	269,176	△269,176	
前期末支払資金残高(12)		46,147,000	46,146,771	229	
当期末支払資金残高(11)+(12)		46,147,000	46,415,947	△268,947	

調査研究事業サービス区分 資金収支計算書

(自)令和 6年 4月 1日(至)令和 7年 3月31日

社会福祉法人名 社会福祉法人 東村山市社会福祉協議会

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支	収入				
	会費収入	1,800,000	1,800,000	0	
	会費収入	1,800,000	1,800,000	0	
	寄附金収入	3,154,000	2,554,385	599,615	
	経常経費寄附金収入	3,154,000	2,554,385	599,615	
	経常経費補助金収入	13,066,000	13,069,395	△3,395	
	市区町村補助金収入	12,966,000	12,969,395	△3,395	
	市区町村補助金収入	12,966,000	12,969,395	△3,395	
	共同募金配分金収入	100,000	100,000	0	
	歳末たすけあい配分金収入	100,000	100,000	0	
	事業活動収入計(1)	18,020,000	17,423,780	596,220	
	支出				
	人件費支出	12,606,000	12,537,515	68,485	
	職員給料支出	5,487,416	5,487,416	0	
	職員賞与支出	2,297,000	2,296,868	132	
	非常勤職員給与支出	3,036,903	2,968,550	68,353	
	法定福利費支出	1,784,681	1,784,681	0	
	事業費支出	4,115,000	3,956,954	158,046	
	諸謝金支出	105,000		105,000	
	通信運搬費支出	30,000	11,360	18,640	
	広報費支出	2,207,800	2,173,394	34,406	
	業務委託費支出	1,772,200	1,772,200	0	
	事務費支出	3,999,000	3,929,311	69,689	
	旅費交通費支出	4,880	4,880	0	
	事務消耗品費支出(事務)	124,120	119,625	4,495	
	印刷製本費支出	29,687	14,559	15,128	
	通信運搬費支出	247,000	204,434	42,566	
	業務委託費支出(事務)	3,573,313	3,573,313	0	
	手数料支出	17,780	10,280	7,500	
	賃借料支出	2,220	2,220	0	
	事業活動支出計(2)	20,720,000	20,423,780	296,220	
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△2,700,000	△3,000,000	300,000	
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等収入計(4)				
	支出				
	施設整備等支出計(5)				
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)				
その他の活動による収支	収入				
	サービス区分間繰入金収入	2,700,000	3,000,000	△300,000	
	その他の活動収入計(7)	2,700,000	3,000,000	△300,000	
	支出				
	その他の活動支出計(8)				
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	2,700,000	3,000,000	△300,000	
予備費支出(10)			—		
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		0	0	0	

調査研究事業サービス区分 資金収支計算書

(自)令和 6年 4月 1日(至)令和 7年 3月31日

社会福祉法人名 社会福祉法人 東村山市社会福祉協議会

(単位:円)

勘定科目	予算 (A)	決算 (B)	差異 (A) - (B)	備考
前期末支払資金残高 (12)		0	0	
当期末支払資金残高 (11) + (12)	0	0	0	

ひとり親貸付事業サービス区分 資金収支計算書

(自)令和 6年 4月 1日(至)令和 7年 3月31日

社会福祉法人名 社会福祉法人 東村山市社会福祉協議会

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支	収入				
	受託金収入	10,000		10,000	
	都道府県社協受託金収入	10,000		10,000	
	都道府県社協受託金収入	10,000		10,000	
	事業活動収入計(1)	10,000		10,000	
	支出				
	事務費支出	10,000		10,000	
	事務消耗品費支出(事務)	2,000		2,000	
施設整備等による収支	印刷製本費支出	2,000		2,000	
	通信運搬費支出	2,000		2,000	
	手数料支出	4,000		4,000	
	事業活動支出計(2)	10,000		10,000	
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	0		0	
	収入				
	施設整備等収入計(4)				
	支出				
その他の活動による収支	施設整備等支出計(5)				
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)				
	収入				
	その他の活動収入計(7)				
	支出				
	その他の活動支出計(8)				
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)				
	予備費支出(10)		—		
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		0		0	
前期末支払資金残高(12)			0	0	
当期末支払資金残高(11)+(12)		0	0	0	

移送サービス事業サービス区分 資金収支計算書

(自)令和 6年 4月 1日(至)令和 7年 3月31日

社会福祉法人名 社会福祉法人 東村山市社会福祉協議会

(単位:円)

勘定科目		予算 (A)	決算 (B)	差異 (A)-(B)	備考
事業活動による収支	収入				
	会費収入	1,000,000	1,291,300	△291,300	
	会費収入	1,000,000	1,291,300	△291,300	
	寄附金収入	3,039,000	2,360,000	679,000	
	経常経費寄附金収入	3,039,000	2,360,000	679,000	
	経常経費補助金収入	2,040,000	2,039,712	288	
	市区町村補助金収入	2,040,000	2,039,712	288	
	市区町村補助金収入	2,040,000	2,039,712	288	
	事業活動収入計 (1)	6,079,000	5,691,012	387,988	
	支出				
	人件費支出	5,284,000	5,053,922	230,078	
	非常勤職員給与支出	4,848,000	4,703,230	144,770	
	法定福利費支出	436,000	350,692	85,308	
	事業費支出	633,000	491,936	141,064	
	車輛費支出	633,000	491,936	141,064	
	事務費支出	162,000	145,154	16,846	
	福利厚生費支出	33,000	33,000	0	
	事務消耗品費支出(事務)	5,350	1,150	4,200	
	印刷製本費支出	6,000	6,000	0	
	通信運搬費支出	60,520	60,520	0	
	手数料支出	6,000	3,190	2,810	
	保険料支出	49,480	39,644	9,836	
	租税公課支出	1,650	1,650	0	
	事業活動支出計 (2)	6,079,000	5,691,012	387,988	
	事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	0	0	0	
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等収入計 (4)				
	支出				
	施設整備等支出計 (5)				
	施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)				
その他の活動による収支	収入				
	その他の活動収入計 (7)				
	支出				
	その他の活動支出計 (8)				
	その他の活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)				
予備費支出 (10)			—		
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)		0	0	0	
前期末支払資金残高 (12)			0	0	
当期末支払資金残高 (11)+(12)		0	0	0	

ふれあい事業サービス区分 資金収支計算書

(自)令和 6年 4月 1日(至)令和 7年 3月31日

社会福祉法人名 社会福祉法人 東村山市社会福祉協議会

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支	収入				
	会費収入	500,000		500,000	
	会費収入	500,000		500,000	
	寄附金収入	2,010,000	560,000	1,450,000	
	経常経費寄附金収入	2,010,000	560,000	1,450,000	
	事業収入	4,000	2,100	1,900	
	参加費収入	4,000	2,100	1,900	
	事業活動収入計(1)	2,514,000	562,100	1,951,900	
	支出				
	人件費支出	1,409,000	1,268,280	140,720	
	非常勤職員給与支出	1,409,000	1,268,280	140,720	
	事業費支出	1,013,000	256,423	756,577	
	給食費支出	17,000	16,242	758	
	消耗器具備品費支出	18,000		18,000	
	諸謝金支出	19,000		19,000	
	業務委託費支出	959,000	240,181	718,819	
	事務費支出	92,000	72,749	19,251	
	事務消耗品費支出(事務)	18,000	10,683	7,317	
	通信運搬費支出	62,000	55,242	6,758	
	手数料支出	8,000	3,833	4,167	
	保険料支出	3,000	2,991	9	
	租税公課支出	1,000		1,000	
	事業活動支出計(2)	2,514,000	1,597,452	916,548	
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	0	△1,035,352	1,035,352	
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等収入計(4)				
	支出				
	施設整備等支出計(5)				
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)				
その他の活動による収支	収入				
	サービス区分間繰入金収入		1,035,352	△1,035,352	
	その他の活動収入計(7)		1,035,352	△1,035,352	
	支出				
	その他の活動支出計(8)				
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		1,035,352	△1,035,352	
予備費支出(10)			—		
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		0	0	0	
前期末支払資金残高(12)			0	0	
当期末支払資金残高(11)+(12)		0	0	0	

歳末たすけあい事業サービス区分 資金収支計算書

(自)令和 6年 4月 1日(至)令和 7年 3月31日

社会福祉法人名 社会福祉法人 東村山市社会福祉協議会

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支	収入				
	経常経費補助金収入	145,000	141,047	3,953	
	共同募金配分金収入	145,000	141,047	3,953	
	歳末たすけあい配分金収入	145,000	141,047	3,953	
	事業活動収入計(1)	145,000	141,047	3,953	
	支出				
	事務費支出	145,000	141,047	3,953	
	事務消耗品費支出(事務)	16,295	13,560	2,735	
	印刷製本費支出	10,000	9,996	4	
	通信運搬費支出	32,705	32,705	0	
施設整備等による収支	広報費支出	84,020	82,806	1,214	
	手数料支出	1,980	1,980	0	
	事業活動支出計(2)	145,000	141,047	3,953	
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	0	0	0	
	収入				
	施設整備等収入計(4)				
	支出				
	施設整備等支出計(5)				
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)				
	その他の活動収入計(7)				
その他の活動による収支	支出				
	その他の活動支出計(8)				
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)				
	予備費支出(10)		—		
	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	0	0	
	前期末支払資金残高(12)		0	0	
	当期末支払資金残高(11)+(12)	0	0	0	

地域福祉活動推進事業サービス区分 資金収支計算書

(自)令和 6年 4月 1日(至)令和 7年 3月31日

社会福祉法人名 社会福祉法人 東村山市社会福祉協議会

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支	収入				
	会費収入	1,620,000	1,390,580	229,420	
	会費収入	1,620,000	1,390,580	229,420	
	寄附金収入	551,000	9,924	541,076	
	経常経費寄附金収入	551,000	9,924	541,076	
	経常経費補助金収入	17,438,000	17,259,650	178,350	
	市区町村補助金収入	15,248,000	15,062,044	185,956	
	市区町村補助金収入	15,248,000	15,062,044	185,956	
	共同募金配分金収入	2,190,000	2,197,606	△7,606	
	一般募金配分金収入	170,000	177,606	△7,606	
	歳末たすけあい配分金収入	2,020,000	2,020,000	0	
	受取利息配当金収入	627,000	767,644	△140,644	
	基金受取利息配当金収入	627,000	767,644	△140,644	
	事業活動収入計(1)	20,236,000	19,427,798	808,202	
	支出				
	人件費支出	14,422,000	14,239,590	182,410	
	職員給料支出	9,305,000	9,298,733	6,267	
	職員賞与支出	3,209,000	3,208,763	237	
	法定福利費支出	1,908,000	1,732,094	175,906	
	事業費支出	1,192,000	980,812	211,188	
	消耗器具備品費支出	244,000	198,818	45,182	
	保険料支出	323,000	319,090	3,910	
	車両費支出	90,000	39,274	50,726	
	諸謝金支出	19,000		19,000	
	広報費支出	183,000	116,630	66,370	
	業務委託費支出	50,000	50,000	0	
	雑支出	283,000	257,000	26,000	
	事務費支出	2,799,000	2,387,096	411,904	
	旅費交通費支出	19,000	4,454	14,546	
	研修研究費支出(事務)	3,000		3,000	
	事務消耗品費支出(事務)	120,000	100,466	19,534	
	印刷製本費支出	97,851	11,010	86,841	
	水道光熱費支出	178,149	178,149	0	
	修繕費支出	200,000		200,000	
	通信運搬費支出	246,000	237,925	8,075	
	手数料支出	69,152	15,054	54,098	
	保険料支出	105,000	98,190	6,810	
	賃借料支出	389,848	389,848	0	
	土地・建物賃借料支出	1,336,000	1,336,000	0	
	租税公課支出	35,000	16,000	19,000	
	助成金支出	1,823,000	1,820,300	2,700	
	助成金支出	1,823,000	1,820,300	2,700	
	助成金支出	1,823,000	1,820,300	2,700	
	事業活動支出計(2)	20,236,000	19,427,798	808,202	
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	0	0	0	
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等収入計(4)				
	支出				
	施設整備等支出計(5)				
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)				
収入					

地域福祉活動推進事業サービス区分 資金収支計算書

(自)令和 6年 4月 1日(至)令和 7年 3月31日

社会福祉法人名 社会福祉法人 東村山市社会福祉協議会

(単位:円)

勘定科目		予算 (A)	決算 (B)	差異 (A)-(B)	備考
その他の活動による収支	収入				
	その他の活動収入計(7)				
	支出				
	その他の活動支出計(8)				
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)				
予備費支出(10)			—		
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		0	0	0	
前期末支払資金残高(12)			0	0	
当期末支払資金残高(11)+(12)		0	0	0	

ボランティア活動推進事業サービス区分 資金収支計算書

(自)令和 6年 4月 1日(至)令和 7年 3月31日

社会福祉法人名 社会福祉法人 東村山市社会福祉協議会

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支	収入				
	寄附金収入	100,000	102,000	△2,000	
	經常経費寄附金収入	100,000	102,000	△2,000	
	經常経費補助金収入	23,569,000	23,127,875	441,125	
	市区町村補助金収入	23,569,000	23,127,875	441,125	
	市区町村補助金収入	23,569,000	23,127,875	441,125	
	事業収入	107,000	120,765	△13,765	
	参加費収入	99,000	105,100	△6,100	
	資料・図書等頒布収入	8,000	15,665	△7,665	
	受取利息配当金収入	916,000	752,436	163,564	
	基金受取利息配当金収入	916,000	752,436	163,564	
	その他の収入	70,000	70,046	△46	
	雑収入	70,000	70,046	△46	
	雑収入	70,000	70,046	△46	
	事業活動収入計(1)	24,762,000	24,173,122	588,878	
	支出				
	人件費支出	22,549,000	22,184,107	364,893	
	職員給料支出	10,856,000	10,742,635	113,365	
	職員賞与支出	4,150,000	4,149,796	204	
	非常勤職員給与支出	4,558,000	4,370,850	187,150	
	法定福利費支出	2,985,000	2,920,826	64,174	
	事業費支出	439,000	412,020	26,980	
	消耗器具備品費支出	116,000	110,670	5,330	
	保険料支出	207,000	197,850	9,150	
	諸謝金支出	54,000	54,000	0	
	旅費交通費支出	62,000	49,500	12,500	
	事務費支出	979,000	909,075	69,925	
	旅費交通費支出	8,000	3,936	4,064	
	研修研究費支出(事務)	6,000	0	6,000	
	事務消耗品費支出(事務)	457,972	413,500	44,472	
	印刷製本費支出	15,000	13,260	1,740	
	通信運搬費支出	296,000	282,694	13,306	
	会議費支出	8,000	7,233	767	
	手数料支出	3,000	2,665	335	
	保険料支出		759	△759	
	賃借料支出	185,028	185,028	0	
	事業活動支出計(2)	23,967,000	23,505,202	461,798	
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	795,000	667,920	127,080	
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等収入計(4)				
	ファイナンス・リース債務の返済支出	795,000	667,920	127,080	
	施設整備等支出計(5)	795,000	667,920	127,080	
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△795,000	△667,920	△127,080	
その他の活動による収支	収入				
	その他の活動収入計(7)				
その他の活動による収支	支出				

ボランティア活動推進事業サービス区分 資金収支計算書

(自)令和 6年 4月 1日(至)令和 7年 3月31日

社会福祉法人名 社会福祉法人 東村山市社会福祉協議会

(単位:円)

勘定科目	予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
その他の活動支出計(8)				
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)				
予備費支出(10)		—		
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	0	0	
前期末支払資金残高(12)		0	0	
当期末支払資金残高(11)+(12)	0	0	0	

助成事業サービス区分 資金収支計算書

(自)令和 6年 4月 1日(至)令和 7年 3月31日

社会福祉法人名 社会福祉法人 東村山市社会福祉協議会

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支	収入				
	会費収入		422,196	△422,196	
	会費収入		422,196	△422,196	
	寄附金収入	904,000	258,781	645,219	
	経常経費寄附金収入	904,000	258,781	645,219	
	経常経費補助金収入	1,110,000	1,109,350	650	
	市区町村補助金収入	350,000	349,350	650	
	市区町村補助金収入	350,000	349,350	650	
	共同募金配分金収入	760,000	760,000	0	
	歳末たすけあい配分金収入	760,000	760,000	0	
	事業活動収入計(1)	2,014,000	1,790,327	223,673	
	支出				
	事業費支出	16,000	15,500	500	
	諸謝金支出	8,000	8,000	0	
	旅費交通費支出	8,000	7,500	500	
	事務費支出	28,000	4,290	23,710	
	事務消耗品費支出(事務)	1,000		1,000	
	印刷製本費支出	5,000		5,000	
	通信運搬費支出	14,000		14,000	
	手数料支出	8,000	4,290	3,710	
	助成金支出	1,970,000	1,833,340	136,660	
	助成金支出	1,970,000	1,833,340	136,660	
	助成金支出	1,970,000	1,833,340	136,660	
	事業活動支出計(2)	2,014,000	1,853,130	160,870	
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	0	△62,803	62,803	
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等収入計(4)				
	支出				
	施設整備等支出計(5)				
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)				
その他の活動による収支	収入				
	サービス区分間繰入金収入		62,803	△62,803	
	その他の活動収入計(7)		62,803	△62,803	
	支出				
	その他の活動支出計(8)				
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		62,803	△62,803	
予備費支出(10)			—		
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		0	0	0	
前期末支払資金残高(12)			0	0	
当期末支払資金残高(11)+(12)		0	0	0	

生活福祉資金貸付事業サービス区分 資金収支計算書

(自)令和 6年 4月 1日(至)令和 7年 3月31日

社会福祉法人名 社会福祉法人 東村山市社会福祉協議会

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支	収入				
	受託金収入	13,282,000	12,397,552	884,448	
	都道府県社協受託金収入	13,282,000	12,397,552	884,448	
	都道府県社協受託金収入	13,282,000	12,397,552	884,448	
	受取利息配当金収入	1,000	261	739	
	受取利息配当金収入	1,000	261	739	
	事業活動収入計(1)	13,283,000	12,397,813	885,187	
	支出				
	人件費支出	10,134,000	9,512,149	621,851	
	非常勤職員給与支出	9,136,000	8,611,454	524,546	
	法定福利費支出	998,000	900,695	97,305	
	事業費支出	419,000	419,000	0	
	車輛費支出	98,000	98,000	0	
	手数料支出	321,000	321,000	0	
	事務費支出	2,579,000	2,328,353	250,647	
	福利厚生費支出	28,000	25,632	2,368	
	旅費交通費支出	20,000	19,089	911	
	研修研究費支出(事務)	35,000	20,000	15,000	
	事務消耗品費支出(事務)	875,960	853,575	22,385	
	印刷製本費支出	156,000	101,888	54,112	
	修繕費支出	10,000	10,000	0	
	通信運搬費支出	744,000	595,975	148,025	
	会議費支出	3,000	3,000	0	
	業務委託費支出(事務)	14,000	14,000	0	
	手数料支出	151,040	151,040	0	
	保険料支出	56,166	56,166	0	
	賃借料支出	485,834	477,988	7,846	
	事業活動支出計(2)	13,132,000	12,259,502	872,498	
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	151,000	138,311	12,689	
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等収入計(4)				
	支出				
	固定資産取得支出	150,000	138,050	11,950	
	車輛運搬具取得支出	150,000	138,050	11,950	
	施設整備等支出計(5)	150,000	138,050	11,950	
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△150,000	△138,050	△11,950	
その他の活動による収支	収入				
	その他の活動収入計(7)				
	支出				
	積立資産支出	1,000	261	739	
	退職給付引当資産支出	1,000	261	739	
	その他の活動支出計(8)	1,000	261	739	
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△1,000	△261	△739	
予備費支出(10)		0	—	0	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		0	0	0	
前期末支払資金残高(12)			0	0	
当期末支払資金残高(11)+(12)		0	0	0	

福祉サービス利用援助事業サービス区分 資金収支計算書

(自)令和 6年 4月 1日(至)令和 7年 3月31日

社会福祉法人名 社会福祉法人 東村山市社会福祉協議会

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支	収入				
	寄附金収入	50,000	50,000	0	
	經常経費寄附金収入	50,000	50,000	0	
	受託金収入	15,448,000	15,448,000	0	
	都道府県社協受託金収入	15,448,000	15,448,000	0	
	都道府県社協受託金収入	15,448,000	15,448,000	0	
	事業収入	2,100,000	1,574,300	525,700	
	利用料収入	2,100,000	1,574,300	525,700	
	受取利息配当金収入	1,000	137	863	
	受取利息配当金収入	1,000	137	863	
	事業活動収入計(1)	17,599,000	17,072,437	526,563	
	支出				
	人件費支出	16,444,000	15,927,782	516,218	
	非常勤職員給与支出	14,801,000	14,367,656	433,344	
	法定福利費支出	1,643,000	1,560,126	82,874	
	事業費支出	11,000	5,028	5,972	
	諸謝金支出	3,000		3,000	
	旅費交通費支出	8,000	5,028	2,972	
	事務費支出	993,000	810,681	182,319	
	福利厚生費支出	22,000	18,756	3,244	
	旅費交通費支出	4,000	2,282	1,718	
	研修研究費支出(事務)	3,000	3,000	0	
	事務消耗品費支出(事務)	209,000	135,364	73,636	
	印刷製本費支出	30,000	30,000	0	
	修繕費支出	110,000	104,230	5,770	
	通信運搬費支出	257,000	175,152	81,848	
	手数料支出	100,000	84,597	15,403	
	保険料支出	93,000	92,300	700	
	賃借料支出	165,000	165,000	0	
	事業活動支出計(2)	17,448,000	16,743,491	704,509	
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	151,000	328,946	△177,946	
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等収入計(4)				
	支出				
	固定資産取得支出	150,000	149,660	340	
	車輛運搬具取得支出	150,000	149,660	340	
	施設整備等支出計(5)	150,000	149,660	340	
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△150,000	△149,660	△340	
その他の活動による収支	収入				
	その他の活動収入計(7)				
	支出				
	積立資産支出	1,000	137	863	
	退職給付引当資産支出	1,000	137	863	
	その他の活動支出計(8)	1,000	137	863	
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△1,000	△137	△863	
予備費支出(10)			—		
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		0	179,149	△179,149	
前期末支払資金残高(12)		515,000	514,291	709	

福祉サービス利用援助事業サービス区分 資金収支計算書

(自)令和 6年 4月 1日(至)令和 7年 3月31日

社会福祉法人名 社会福祉法人 東村山市社会福祉協議会

(単位:円)

勘定科目	予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
当期末支払資金残高(11)+(12)	515,000	693,440	△178,440	

手話通訳者事業サービス区分 資金収支計算書

(自)令和 6年 4月 1日(至)令和 7年 3月31日

社会福祉法人名 社会福祉法人 東村山市社会福祉協議会

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支	収入				
	受託金収入	8,126,000	8,126,338	△338	
	市区町村受託金収入	8,126,000	8,126,338	△338	
	市区町村受託金収入	8,126,000	8,126,338	△338	
	事業収入	261,000	267,800	△6,800	
	参加費収入	261,000	267,800	△6,800	
	事業活動収入計(1)	8,387,000	8,394,138	△7,138	
	支出				
	人件費支出	6,862,000	6,777,436	84,564	
	非常勤職員給与支出	6,265,000	6,184,125	80,875	
	法定福利費支出	597,000	593,311	3,689	
	事業費支出	1,952,000	1,843,253	108,747	
	消耗器具備品費支出	148,000	95,753	52,247	
	諸謝金支出	1,753,000	1,731,500	21,500	
	旅費交通費支出	9,000	7,500	1,500	
	業務委託費支出	42,000	8,500	33,500	
	事務費支出	358,000	287,573	70,427	
	福利厚生費支出	84,000	63,032	20,968	
	旅費交通費支出	5,000	1,078	3,922	
	研修研究費支出(事務)	13,000	2,000	11,000	
	事務消耗品費支出(事務)	33,160	25,974	7,186	
	印刷製本費支出	12,000	12,000	0	
	通信運搬費支出	90,316	69,208	21,108	
	手数料支出	38,000	31,757	6,243	
	保険料支出	24,840	24,840	0	
	賃借料支出	57,684	57,684	0	
	事業活動支出計(2)	9,172,000	8,908,262	263,738	
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△785,000	△514,124	△270,876	
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等収入計(4)				
	支出				
	施設整備等支出計(5)				
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)				
その他の活動による収支	収入				
	拠点区分間繰入金収入	785,000	514,124	270,876	
	その他の活動収入計(7)	785,000	514,124	270,876	
	支出				
	その他の活動支出計(8)				
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	785,000	514,124	270,876	
予備費支出(10)			—		
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		0	0	0	
前期末支払資金残高(12)			0	0	
当期末支払資金残高(11)+(12)		0	0	0	

地域包括支援センター基幹業務サービス区分 資金収支計算書

(自)令和 6年 4月 1日(至)令和 7年 3月31日

社会福祉法人名 社会福祉法人 東村山市社会福祉協議会

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支	収入				
	受託金収入	33,821,000	33,820,711	289	
	市区町村受託金収入	33,821,000	33,820,711	289	
	市区町村受託金収入	33,821,000	33,820,711	289	
	事業活動収入計(1)	33,821,000	33,820,711	289	
	支出				
	人件費支出	29,343,000	28,859,731	483,269	
	職員給料支出	17,527,000	17,387,567	139,433	
	職員賞与支出	7,094,000	7,093,027	973	
	非常勤職員給与支出	896,000	762,870	133,130	
	法定福利費支出	3,826,000	3,616,267	209,733	
	事業費支出	178,000	130,600	47,400	
	諸謝金支出	178,000	130,600	47,400	
	事務費支出	1,037,000	933,539	103,461	
	福利厚生費支出	32,000	29,247	2,753	
	旅費交通費支出	11,000	10,178	822	
	研修研究費支出(事務)	88,000	44,800	43,200	
	事務消耗品費支出(事務)	259,950	259,836	114	
	印刷製本費支出	72,000	72,000	0	
	通信運搬費支出	191,600	146,028	45,572	
	業務委託費支出(事務)	228,000	217,800	10,200	
	手数料支出	3,050	3,050	0	
	賃借料支出	151,000	150,200	800	
	租税公課支出	400	400	0	
	事業活動支出計(2)	30,558,000	29,923,870	634,130	
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	3,263,000	3,896,841	△633,841	
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等収入計(4)				
	支出				
	施設整備等支出計(5)				
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)				
その他の活動による収支	収入				
	その他の活動収入計(7)				
	拠点区分間繰入金支出	3,263,000	3,896,841	△633,841	
	その他の活動支出計(8)	3,263,000	3,896,841	△633,841	
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△3,263,000	△3,896,841	633,841	
予備費支出(10)			—		
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		0	0	0	
前期末支払資金残高(12)			0	0	
当期末支払資金残高(11)+(12)		0	0	0	

中部地域包括支援センター事業サービス区分 資金収支計算書

(自)令和 6年 4月 1日(至)令和 7年 3月31日

社会福祉法人名 社会福祉法人 東村山市社会福祉協議会

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支	収入				
	受託金収入	43,816,000	41,390,631	2,425,369	
	市区町村受託金収入	43,816,000	41,390,631	2,425,369	
	市区町村受託金収入	43,816,000	41,390,631	2,425,369	
	介護保険事業収入	23,230,000	20,811,503	2,418,497	
	居宅介護支援介護料収入	13,728,000	13,608,863	119,137	
	介護予防支援介護料収入	13,728,000	13,608,863	119,137	
	介護予防・日常生活支援総合事業収入	8,698,000	6,398,740	2,299,260	
	事業費収入	8,698,000	6,398,740	2,299,260	
	その他の事業収入	804,000	803,900	100	
	補助金事業収入(公費)	804,000	803,900	100	
	受取利息配当金収入	1,000	52	948	
	受取利息配当金収入	1,000	52	948	
	事業活動収入計(1)	67,047,000	62,202,186	4,844,814	
	支出				
	人件費支出	62,657,000	57,664,348	4,992,652	
	職員給料支出	25,472,000	22,366,851	3,105,149	
	職員賞与支出	9,390,000	8,553,527	836,473	
	非常勤職員給与支出	20,010,000	19,663,646	346,354	
	法定福利費支出	7,785,000	7,080,324	704,676	
	事業費支出	132,000	78,627	53,373	
	車輦費支出	94,000	59,627	34,373	
	諸謝金支出	38,000	19,000	19,000	
	事務費支出	4,258,000	3,924,215	333,785	
	福利厚生費支出	123,000	96,857	26,143	
	旅費交通費支出	24,028	24,028	0	
	研修研究費支出(事務)	168,000	108,100	59,900	
	事務消耗品費支出(事務)	349,058	322,179	26,879	
	印刷製本費支出	106,485	89,370	17,115	
	修繕費支出	26,000	22,484	3,516	
	通信運搬費支出	756,972	723,515	33,457	
	業務委託費支出(事務)	1,293,000	1,129,885	163,115	
	手数料支出	25,515	25,515	0	
	保険料支出	106,940	106,940	0	
	賃借料支出	1,201,942	1,201,942	0	
	諸会費支出	77,060	73,400	3,660	
	事業活動支出計(2)	67,047,000	61,667,190	5,379,810	
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	0	534,996	△534,996	
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等収入計(4)				
	支出				
	施設整備等支出計(5)				
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)				
その他の活動による収支	収入				
	その他の活動収入計(7)				
	支出				
	積立資産支出		52	△52	
	退職給付引当資産支出		52	△52	
	拠点区分間繰入金支出		534,944	△534,944	

中部地域包括支援センター事業サービス区分 資金収支計算書

(自)令和 6年 4月 1日(至)令和 7年 3月31日

社会福祉法人名 社会福祉法人 東村山市社会福祉協議会

(単位:円)

勘定科目	予算 (A)	決算 (B)	差異 (A) - (B)	備考
その他の活動支出計 (8)		534,996	△534,996	
その他の活動資金収支差額 (9) = (7) - (8)		△534,996	534,996	
予備費支出 (10)		—		
当期資金収支差額合計 (11) = (3) + (6) + (9) - (10)	0	0	0	
前期末支払資金残高 (12)		0	0	
当期末支払資金残高 (11) + (12)	0	0	0	

高齢者生きがい事業サービス区分 資金収支計算書

(自)令和 6年 4月 1日(至)令和 7年 3月31日

社会福祉法人名 社会福祉法人 東村山市社会福祉協議会

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支	収入				
	受託金収入	23,430,000	23,409,332	20,668	
	市区町村受託金収入	23,430,000	23,409,332	20,668	
	市区町村受託金収入	23,430,000	23,409,332	20,668	
	事業収入	126,000	145,560	△19,560	
	参加費収入	126,000	145,560	△19,560	
	事業活動収入計(1)	23,556,000	23,554,892	1,108	
	支出				
	人件費支出	19,143,000	19,142,025	975	
	職員給料支出	10,014,366	10,014,366	0	
	職員賞与支出	3,341,000	3,340,025	975	
	非常勤職員給与支出	3,294,730	3,294,730	0	
	法定福利費支出	2,492,904	2,492,904	0	
	事業費支出	740,000	634,521	105,479	
	消耗器具備品費支出	101,930	93,797	8,133	
	保険料支出	71,070	71,070	0	
	車輦費支出	98,904	98,904	0	
	諸謝金支出	6,000	4,000	2,000	
	旅費交通費支出	462,096	366,750	95,346	
	事務費支出	154,000	145,787	8,213	
	福利厚生費支出	23,000	22,726	274	
	旅費交通費支出	4,050	4,050	0	
	事務消耗品費支出(事務)	16,910	14,167	2,743	
	通信運搬費支出	47,950	47,484	466	
	手数料支出	17,000	12,870	4,130	
	保険料支出	36,090	36,090	0	
	租税公課支出	9,000	8,400	600	
	助成金支出	500,000	500,000	0	
	助成金支出	500,000	500,000	0	
	助成金支出	500,000	500,000	0	
	事業活動支出計(2)	20,537,000	20,422,333	114,667	
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	3,019,000	3,132,559	△113,559	
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等収入計(4)				
	支出				
	施設整備等支出計(5)				
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)				
その他の活動による収支	収入				
	その他の活動収入計(7)				
	拠点区分間繰入金支出	3,019,000	3,132,559	△113,559	
	支出				
	その他の活動支出計(8)	3,019,000	3,132,559	△113,559	
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△3,019,000	△3,132,559	113,559	
予備費支出(10)			—		
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		0	0	0	

高齢者生きがい事業サービス区分 資金収支計算書

(自)令和 6年 4月 1日(至)令和 7年 3月31日

社会福祉法人名 社会福祉法人 東村山市社会福祉協議会

(単位:円)

勘定科目	予算 (A)	決算 (B)	差異 (A)-(B)	備考
前期末支払資金残高(12)		0	0	
当期末支払資金残高(11)+(12)	0	0	0	

敬老福祉啓発事業サービス区分 資金収支計算書

(自)令和 6年 4月 1日(至)令和 7年 3月31日

社会福祉法人名 社会福祉法人 東村山市社会福祉協議会

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支	収入				
	受託金収入	20,867,000	20,866,797	203	
	市区町村受託金収入	20,867,000	20,866,797	203	
	市区町村受託金収入	20,867,000	20,866,797	203	
	事業活動収入計(1)	20,867,000	20,866,797	203	
	支出				
	人件費支出	13,883,000	13,874,178	8,822	
	職員給料支出	8,795,969	8,795,969	0	
	職員賞与支出	3,248,000	3,247,998	2	
	法定福利費支出	1,839,031	1,830,211	8,820	
	事業費支出	1,578,000	1,566,022	11,978	
	消耗器具備品費支出	1,578,000	1,566,022	11,978	
	事務費支出	420,000	349,117	70,883	
	福利厚生費支出	16,000	15,504	496	
	旅費交通費支出	3,000	984	2,016	
	印刷製本費支出	88,000	87,676	324	
	通信運搬費支出	283,000	221,544	61,456	
	業務委託費支出(事務)	21,000	20,769	231	
	手数料支出	9,000	2,640	6,360	
	助成金支出	650,000		650,000	
	助成金支出	650,000		650,000	
	助成金支出	650,000		650,000	
	事業活動支出計(2)	16,531,000	15,789,317	741,683	
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	4,336,000	5,077,480	△741,480	
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等収入計(4)				
	支出				
	施設整備等支出計(5)				
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)				
その他の活動による収支	収入				
	その他の活動収入計(7)				
	拠点区分間繰入金支出	4,336,000	5,077,480	△741,480	
	その他の活動支出計(8)	4,336,000	5,077,480	△741,480	
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△4,336,000	△5,077,480	741,480	
予備費支出(10)			—		
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		0	0	0	
前期末支払資金残高(12)			0	0	
当期末支払資金残高(11)+(12)		0	0	0	

健康長寿のまちづくり推進室事業サービス区分 資金収支計算書

(自)令和 6年 4月 1日(至)令和 7年 3月31日

社会福祉法人名 社会福祉法人 東村山市社会福祉協議会

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支	収入				
	受託金収入	754,000	753,327	673	
	市区町村受託金収入	754,000	753,327	673	
	市区町村受託金収入	754,000	753,327	673	
	事業収入	41,000	40,520	480	
	使用料収入	41,000	40,520	480	
	事業活動収入計(1)	795,000	793,847	1,153	
	支出				
	事務費支出	726,000	724,163	1,837	
	事務消耗品費支出(事務)	76,352	75,359	993	
	印刷製本費支出	52,386	52,386	0	
	通信運搬費支出	133,648	133,648	0	
	手数料支出	614	220	394	
施設整備等による収支	賃借料支出	403,000	402,600	400	
	保守料支出	60,000	59,950	50	
	事業活動支出計(2)	726,000	724,163	1,837	
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	69,000	69,684	△684	
	収入				
	施設整備等収入計(4)				
	支出				
	施設整備等支出計(5)				
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)				
	収入				
	その他の活動収入計(7)				
	拠点区分間繰入金支出	69,000	69,684	△684	
その他の活動による収支	支出				
	その他の活動支出計(8)	69,000	69,684	△684	
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△69,000	△69,684	684	
	予備費支出(10)		—		
	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	0	0	
前期末支払資金残高(12)			0	0	
当期末支払資金残高(11)+(12)		0	0	0	

老人クラブ育成相談事業サービス区分 資金収支計算書

(自)令和 6年 4月 1日(至)令和 7年 3月31日

社会福祉法人名 社会福祉法人 東村山市社会福祉協議会

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支	収入				
	受託金収入	11,054,000	11,053,001	999	
	市区町村受託金収入	11,054,000	11,053,001	999	
	市区町村受託金収入	11,054,000	11,053,001	999	
	事業収入	24,000	35,343	△11,343	
	使用料収入	24,000	35,343	△11,343	
	事業活動収入計(1)	11,078,000	11,088,344	△10,344	
	支出				
	人件費支出	9,413,000	9,251,465	161,535	
	職員給料支出	2,941,000	2,911,480	29,520	
	職員賞与支出	549,000	548,258	742	
	非常勤職員給与支出	4,727,000	4,597,641	129,359	
	法定福利費支出	1,196,000	1,194,086	1,914	
	事務費支出	740,000	603,356	136,644	
	福利厚生費支出	24,000	21,564	2,436	
	研修研究費支出(事務)	15,000	13,800	1,200	
	事務消耗品費支出(事務)	148,000	114,500	33,500	
	印刷製本費支出	118,000	95,147	22,853	
	通信運搬費支出	113,000	58,155	54,845	
	手数料支出	3,000	2,475	525	
	賃借料支出	319,000	297,715	21,285	
	事業活動支出計(2)	10,153,000	9,854,821	298,179	
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	925,000	1,233,523	△308,523	
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等収入計(4)				
	支出				
	施設整備等支出計(5)				
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)				
その他の活動による収支	収入				
	拠点区分間繰入金収入	80,000		80,000	
	その他の活動収入計(7)	80,000		80,000	
	支出				
	拠点区分間繰入金支出	1,005,000	1,233,523	△228,523	
	その他の活動支出計(8)	1,005,000	1,233,523	△228,523	
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△925,000	△1,233,523	308,523	
予備費支出(10)			—		
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		0	0	0	
前期末支払資金残高(12)			0	0	
当期末支払資金残高(11)+(12)		0	0	0	

福祉サービス総合支援事業サービス区分 資金収支計算書

(自)令和 6年 4月 1日(至)令和 7年 3月31日

社会福祉法人名 社会福祉法人 東村山市社会福祉協議会

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支	収入				
	受託金収入	4,164,000	4,163,612	388	
	市区町村受託金収入	4,164,000	4,163,612	388	
	市区町村受託金収入	4,164,000	4,163,612	388	
	事業収入	36,000	19,800	16,200	
	利用料収入	36,000	19,800	16,200	
	事業活動収入計(1)	4,200,000	4,183,412	16,588	
	支出				
	人件費支出	3,682,000	3,673,343	8,657	
	非常勤職員給与支出	3,173,136	3,173,136	0	
	法定福利費支出	508,864	500,207	8,657	
	事務費支出	434,000	414,226	19,774	
	福利厚生費支出	8,000	6,252	1,748	
	旅費交通費支出	5,000	1,652	3,348	
	研修研究費支出(事務)	8,000		8,000	
	事務消耗品費支出(事務)	32,000	31,864	136	
	印刷製本費支出	24,000	24,000	0	
	通信運搬費支出	36,000	35,484	516	
	業務委託費支出(事務)	264,000	264,000	0	
	手数料支出	8,000	2,134	5,866	
	賃借料支出	49,000	48,840	160	
	事業活動支出計(2)	4,116,000	4,087,569	28,431	
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	84,000	95,843	△11,843	
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等収入計(4)				
	支出				
	施設整備等支出計(5)				
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)				
その他の活動による収支	収入				
	拠点区分間繰入金収入	6,000		6,000	
	その他の活動収入計(7)	6,000		6,000	
	支出				
	拠点区分間繰入金支出	90,000	95,843	△5,843	
	その他の活動支出計(8)	90,000	95,843	△5,843	
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△84,000	△95,843	11,843	
予備費支出(10)			—		
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		0	0	0	
前期末支払資金残高(12)			0	0	
当期末支払資金残高(11)+(12)		0	0	0	

成年後見制度推進事業サービス区分 資金収支計算書

(自)令和 6年 4月 1日(至)令和 7年 3月31日

社会福祉法人名 社会福祉法人 東村山市社会福祉協議会

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支	収入				
	受託金収入	26,416,000	26,415,852	148	
	市区町村受託金収入	26,416,000	26,415,852	148	
	市区町村受託金収入	26,416,000	26,415,852	148	
	事業活動収入計(1)	26,416,000	26,415,852	148	
	支出				
	人件費支出	23,184,000	23,071,717	112,283	
	職員給料支出	12,106,000	12,082,305	23,695	
	職員賞与支出	5,769,000	5,768,519	481	
	非常勤職員給与支出	2,409,000	2,395,957	13,043	
	法定福利費支出	2,900,000	2,824,936	75,064	
	事業費支出	740,000	459,890	280,110	
	保険料支出	90,000	57,890	32,110	
	諸謝金支出	650,000	402,000	248,000	
	事務費支出	1,027,000	895,908	131,092	
	福利厚生費支出	24,000	13,034	10,966	
	旅費交通費支出	30,000	4,641	25,359	
	研修研究費支出(事務)	45,000		45,000	
	事務消耗品費支出(事務)	123,000	122,129	871	
	印刷製本費支出	48,000	48,000	0	
	通信運搬費支出	157,000	147,228	9,772	
	業務委託費支出(事務)	325,000	313,374	11,626	
	手数料支出	19,000	10,970	8,030	
	賃借料支出	184,000	168,432	15,568	
	租税公課支出	6,000	2,100	3,900	
	保守料支出	66,000	66,000	0	
	助成金支出	192,000	78,660	113,340	
	助成金支出	192,000	78,660	113,340	
	助成金支出	192,000	78,660	113,340	
	事業活動支出計(2)	25,143,000	24,506,175	636,825	
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	1,273,000	1,909,677	△636,677	
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等収入計(4)				
	支出				
	施設整備等支出計(5)				
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)				
その他の活動による収支	収入				
	その他の活動収入計(7)				
	拠点区分間繰入金支出	1,273,000	1,909,677	△636,677	
	その他の活動支出計(8)	1,273,000	1,909,677	△636,677	
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△1,273,000	△1,909,677	636,677	
予備費支出(10)			—		
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		0	0	0	

成年後見制度推進事業サービス区分 資金収支計算書

(自)令和 6年 4月 1日(至)令和 7年 3月31日

社会福祉法人名 社会福祉法人 東村山市社会福祉協議会

(単位:円)

勘定科目	予算 (A)	決算 (B)	差異 (A) - (B)	備考
前期末支払資金残高 (12)		0	0	
当期末支払資金残高 (11) + (12)	0	0	0	

基幹相談支援センター事業サービス区分 資金収支計算書

(自)令和 6年 4月 1日(至)令和 7年 3月31日

社会福祉法人名 社会福祉法人 東村山市社会福祉協議会

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支	収入				
	受託金収入	46,531,000	46,530,069	931	
	市区町村受託金収入	46,531,000	46,530,069	931	
	市区町村受託金収入	46,531,000	46,530,069	931	
	障害福祉サービス等事業収入	110,000	371,049	△261,049	
	自立支援給付費収入	110,000	371,049	△261,049	
	地域相談支援給付費収入	110,000	371,049	△261,049	
	事業活動収入計(1)	46,641,000	46,901,118	△260,118	
	支出				
	人件費支出	42,628,000	42,051,985	576,015	
	職員給料支出	21,750,846	21,750,846	0	
	職員賞与支出	8,387,000	8,386,661	339	
	非常勤職員給与支出	6,810,708	6,235,032	575,676	
	法定福利費支出	5,679,446	5,679,446	0	
	事業費支出	384,000	172,090	211,910	
	消耗器具備品費支出	16,789	6,879	9,910	
	教育指導費支出	30,000		30,000	
	車輦費支出	117,211	117,211	0	
	諸謝金支出	108,000	48,000	60,000	
	業務委託費支出	112,000		112,000	
	事務費支出	1,910,000	1,265,003	644,997	
施設整備等による収支	福利厚生費支出	60,000	38,984	21,016	
	旅費交通費支出	174,000	37,282	136,718	
	研修研究費支出(事務)	60,000		60,000	
	事務消耗品費支出(事務)	270,410	199,958	70,452	
	印刷製本費支出	36,000	36,000	0	
	通信運搬費支出	549,581	421,987	127,594	
	手数料支出	7,590	7,590	0	
	保険料支出	83,419	83,419	0	
	賃借料支出	550,000	320,983	229,017	
	保守料支出	119,000	118,800	200	
	事業活動支出計(2)	44,922,000	43,489,078	1,432,922	
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	1,719,000	3,412,040	△1,693,040	
	収入				
	施設整備等収入計(4)				
	支出				
	施設整備等支出計(5)				
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)				
その他の活動による収支	収入				
	拠点区分間繰入金収入	2,512,000	817,966	1,694,034	
	その他の活動収入計(7)	2,512,000	817,966	1,694,034	
	支出				
	拠点区分間繰入金支出	4,231,000	4,230,006	994	
	その他の活動支出計(8)	4,231,000	4,230,006	994	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		△1,719,000	△3,412,040	1,693,040	
予備費支出(10)			—		
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		0	0	0	

基幹相談支援センター事業サービス区分 資金収支計算書

(自)令和 6年 4月 1日(至)令和 7年 3月31日

社会福祉法人名 社会福祉法人 東村山市社会福祉協議会

(単位:円)

勘定科目	予算 (A)	決算 (B)	差異 (A)-(B)	備考
前期末支払資金残高(12)		0	0	
当期末支払資金残高(11)+(12)	0	0	0	

第1層生活支援コーディネーター事業サービス区分 資金収支計算書

(自)令和 6年 4月 1日(至)令和 7年 3月31日

社会福祉法人名 社会福祉法人 東村山市社会福祉協議会

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支	収入				
	受託金収入	8,566,000	8,565,576	424	
	市区町村受託金収入	8,566,000	8,565,576	424	
	市区町村受託金収入	8,566,000	8,565,576	424	
	事業活動収入計(1)	8,566,000	8,565,576	424	
	支出				
	人件費支出	9,059,000	9,012,824	46,176	
	職員給料支出	5,455,680	5,455,680	0	
	職員賞与支出	2,345,716	2,345,716	0	
	法定福利費支出	1,257,604	1,211,428	46,176	
	事業費支出	95,000	57,000	38,000	
	諸謝金支出	95,000	57,000	38,000	
	事務費支出	320,000	241,783	78,217	
	福利厚生費支出	8,000	7,752	248	
	旅費交通費支出	2,000	460	1,540	
	研修研究費支出(事務)	10,000		10,000	
	事務消耗品費支出(事務)	67,910	67,910	0	
	印刷製本費支出	104,000	64,510	39,490	
	通信運搬費支出	75,000	53,484	21,516	
	手数料支出	2,090	2,090	0	
	賃借料支出	51,000	45,577	5,423	
	事業活動支出計(2)	9,474,000	9,311,607	162,393	
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△908,000	△746,031	△161,969	
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等収入計(4)				
	支出				
	施設整備等支出計(5)				
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)				
その他の活動による収支	収入				
	拠点区分間繰入金収入	908,000	746,031	161,969	
	その他の活動収入計(7)	908,000	746,031	161,969	
	支出				
	その他の活動支出計(8)				
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	908,000	746,031	161,969	
	予備費支出(10)		—		
	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	0	0	
	前期末支払資金残高(12)		0	0	
	当期末支払資金残高(11)+(12)	0	0	0	

第2層生活支援コーディネーター事業サービス区分 資金収支計算書

(自)令和 6年 4月 1日(至)令和 7年 3月31日

社会福祉法人名 社会福祉法人 東村山市社会福祉協議会

(単位:円)

勘定科目		予算 (A)	決算 (B)	差異 (A)-(B)	備考
事業活動による収支	収入				
	受託金収入	8,238,000	8,237,897	103	
	市区町村受託金収入	8,238,000	8,237,897	103	
	市区町村受託金収入	8,238,000	8,237,897	103	
	事業活動収入計(1)	8,238,000	8,237,897	103	
	支出				
	人件費支出	5,834,000	5,772,504	61,496	
	職員給料支出	3,732,875	3,732,875	0	
	職員賞与支出	1,340,000	1,339,156	844	
	法定福利費支出	761,125	700,473	60,652	
	事務費支出	87,000	76,536	10,464	
	福利厚生費支出	8,000	7,752	248	
	旅費交通費支出	19,000	14,892	4,108	
	研修研究費支出(事務)	6,000	5,000	1,000	
	事務消耗品費支出(事務)	6,340	2,428	3,912	
	通信運搬費支出	12,000	11,484	516	
	手数料支出	660	660	0	
	賃借料支出	35,000	34,320	680	
	事業活動支出計(2)	5,921,000	5,849,040	71,960	
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	2,317,000	2,388,857	△71,857	
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等収入計(4)				
	支出				
	施設整備等支出計(5)				
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)				
その他の活動による収支	収入				
	その他の活動収入計(7)				
	拠点区分間繰入金支出	2,317,000	2,388,857	△71,857	
	支出				
	その他の活動支出計(8)	2,317,000	2,388,857	△71,857	
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△2,317,000	△2,388,857	71,857	
予備費支出(10)			—		
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		0	0	0	
前期末支払資金残高(12)					
当期末支払資金残高(11)+(12)		0	0	0	

居宅介護支援事業サービス区分 資金収支計算書

(自)令和 6年 4月 1日(至)令和 7年 3月31日

社会福祉法人名 社会福祉法人 東村山市社会福祉協議会

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支	収入				
	事業収入	77,000	70,800	6,200	
	実習受入収入	77,000	70,800	6,200	
	介護保険事業収入	14,811,000	13,973,865	837,135	
	居宅介護支援介護料収入	14,078,000	13,250,573	827,427	
	居宅介護支援介護料収入	13,674,000	12,859,169	814,831	
	介護予防支援介護料収入	404,000	391,404	12,596	
	介護予防・日常生活支援総合事業収入	319,000	309,292	9,708	
	事業費収入	319,000	309,292	9,708	
	その他の事業収入	414,000	414,000	0	
	補助金事業収入(公費)	414,000	414,000	0	
	受取利息配当金収入	1,000	18	982	
	受取利息配当金収入	1,000	18	982	
	事業活動収入計(1)	14,889,000	14,044,683	844,317	
	支出				
	人件費支出	13,248,000	13,814,176	△566,176	
	非常勤職員給与支出	11,443,000	12,012,522	△569,522	
	法定福利費支出	1,805,000	1,801,654	3,346	
	事務費支出	1,429,000	1,165,451	263,549	
	福利厚生費支出	22,000	11,641	10,359	
	旅費交通費支出	4,708	4,708	0	
	研修研究費支出(事務)	49,000	34,500	14,500	
	事務消耗品費支出(事務)	115,292	42,671	72,621	
	印刷製本費支出	6,000	6,000	0	
	修繕費支出	80,000	38,522	41,478	
	通信運搬費支出	410,000	302,430	107,570	
	業務委託費支出(事務)	186,000	176,000	10,000	
	手数料支出	5,000	4,180	820	
	保険料支出	30,000	29,240	760	
	賃借料支出	159,000	158,749	251	
	保守料支出	352,000	351,810	190	
	諸会費支出	10,000	5,000	5,000	
	事業活動支出計(2)	14,677,000	14,979,627	△302,627	
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	212,000	△934,944	1,146,944	
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等収入計(4)				
	支出				
	施設整備等支出計(5)				
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)				
その他の活動による収支	収入				
	その他の活動収入計(7)				
	積立資産支出	212,000	212,018	△18	
	退職給付引当資産支出	212,000	212,018	△18	
	拠点区分間繰入金支出		203,910	△203,910	
	その他の活動支出計(8)	212,000	415,928	△203,928	
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△212,000	△415,928	203,928	
予備費支出(10)		0	—	0	

居宅介護支援事業サービス区分 資金収支計算書

(自)令和 6年 4月 1日(至)令和 7年 3月31日

社会福祉法人名 社会福祉法人 東村山市社会福祉協議会

(単位:円)

勘定科目	予算 (A)	決算 (B)	差異 (A) - (B)	備考
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	△1,350,872	1,350,872	
前期末支払資金残高(12)	△9,626,000	△9,625,299	△701	
当期末支払資金残高(11)+(12)	△9,626,000	△10,976,171	1,350,171	

訪問介護事業サービス区分 資金収支計算書

(自)令和 6年 4月 1日(至)令和 7年 3月31日

社会福祉法人名 社会福祉法人 東村山市社会福祉協議会

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支	収入				
	事業収入	30,000	35,000	△5,000	
	実習受入収入	30,000	35,000	△5,000	
	介護保険事業収入	33,572,000	34,106,188	△534,188	
	居宅介護料収入	21,934,000	26,407,987	△4,473,987	
	(介護報酬収入)	18,620,000	22,993,182	△4,373,182	
	介護報酬収入	18,620,000	22,993,182	△4,373,182	
	(利用者負担金収入)	3,314,000	3,414,805	△100,805	
	介護負担金収入(一般)	2,113,000	3,414,805	△1,301,805	
	介護予防負担金収入(一般)	1,201,000		1,201,000	
	介護予防・日常生活支援総合事業収入	11,062,000	7,127,701	3,934,299	
	事業費収入	11,062,000	7,127,701	3,934,299	
	その他の事業収入	576,000	570,500	5,500	
	その他の事業収入	576,000	570,500	5,500	
	受取利息配当金収入	2,000	18	1,982	
	受取利息配当金収入	1,000	12	988	
	基金受取利息配当金収入	1,000	6	994	
	事業活動収入計(1)	33,604,000	34,141,206	△537,206	
	支出				
	人件費支出	31,477,000	32,948,153	△1,471,153	
	非常勤職員給与と支出	29,441,000	30,801,464	△1,360,464	
	法定福利費支出	2,036,000	2,146,689	△110,689	
	事業費支出	57,000	57,000	0	
	諸謝金支出	57,000	57,000	0	
	事務費支出	1,831,000	1,697,148	133,852	
	福利厚生費支出	286,000	285,274	726	
	職員被服費支出	62,000	61,975	25	
	旅費交通費支出	2,000		2,000	
	事務消耗品費支出(事務)	130,000	119,700	10,300	
	印刷製本費支出	150,000	125,759	24,241	
	修繕費支出	20,000	11,077	8,923	
	通信運搬費支出	343,000	266,231	76,769	
	業務委託費支出(事務)	11,000	11,000	0	
	手数料支出	140,000	132,540	7,460	
	保険料支出	198,000	197,960	40	
	賃借料支出	132,000	131,822	178	
	保守料支出	352,000	351,810	190	
	諸会費支出	5,000	2,000	3,000	
	事業活動支出計(2)	33,365,000	34,702,301	△1,337,301	
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	239,000	△561,095	800,095	
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等収入計(4)				
	支出				
	施設整備等支出計(5)				
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)				
収入	その他の活動収入計(7)				
	基金積立資産支出		6	△6	
	介護保険事業運営基金積立資産支出		6	△6	

訪問介護事業サービス区分 資金収支計算書

(自)令和 6年 4月 1日(至)令和 7年 3月31日

社会福祉法人名 社会福祉法人 東村山市社会福祉協議会

(単位:円)

勘定科目		予算 (A)	決算 (B)	差異 (A) - (B)	備考
その他の活動による収支	支出				
	積立資産支出	230,000	230,012	△12	
	退職給付引当資産支出	230,000	230,012	△12	
	その他の活動支出計 (8)	230,000	230,018	△18	
	その他の活動資金収支差額 (9) = (7) - (8)	△230,000	△230,018	18	
予備費支出 (10)		9,000	—	9,000	
当期資金収支差額合計 (11) = (3) + (6) + (9) - (10)		0	△791,113	791,113	
前期末支払資金残高 (12)		15,113,000	15,112,899	101	
当期末支払資金残高 (11) + (12)		15,113,000	14,321,786	791,214	

身体障害者居宅介護事業サービス区分 資金収支計算書

(自)令和 6年 4月 1日(至)令和 7年 3月31日

社会福祉法人名 社会福祉法人 東村山市社会福祉協議会

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支	収入				
	障害福祉サービス等事業収入	13,930,000	14,689,041	△759,041	
	自立支援給付費収入	13,771,000	14,154,517	△383,517	
	介護給付費収入	13,771,000	14,154,517	△383,517	
	利用者負担金収入	123,000	228,827	△105,827	
	その他の事業収入	36,000	305,697	△269,697	
	補助金事業収入(公費)		38,397	△38,397	
	受託事業収入(公費)	36,000	267,300	△231,300	
	受取利息配当金収入	2,000	22	1,978	
	受取利息配当金収入	1,000	11	989	
	基金受取利息配当金収入	1,000	11	989	
	事業活動収入計(1)	13,932,000	14,689,063	△757,063	
	支出				
	人件費支出	13,288,000	13,911,620	△623,620	
	非常勤職員給与支出	12,727,000	13,357,351	△630,351	
	法定福利費支出	561,000	554,269	6,731	
	事業費支出	30,000	30,000	0	
	諸謝金支出	30,000	30,000	0	
	事務費支出	413,000	398,582	14,418	
	福利厚生費支出	23,000	22,319	681	
	事務消耗品費支出(事務)	16,480	12,510	3,970	
	印刷製本費支出	53,520	53,520	0	
	通信運搬費支出	129,281	129,281	0	
	手数料支出	24,719	19,272	5,447	
	保険料支出	62,000	61,360	640	
	賃借料支出	104,000	100,320	3,680	
	事業活動支出計(2)	13,731,000	14,340,202	△609,202	
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	201,000	348,861	△147,861	
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等収入計(4)				
	支出				
	施設整備等支出計(5)				
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)				
その他の活動による収支	収入				
	その他の活動収入計(7)				
	基金積立資産支出	1,000	11	989	
	介護保険事業運営基金積立資産支出	1,000	11	989	
	積立資産支出	200,000	200,011	△11	
	退職給付引当資産支出	200,000	200,011	△11	
	その他の活動支出計(8)	201,000	200,022	978	
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△201,000	△200,022	△978	
予備費支出(10)		0	—	0	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		0	148,839	△148,839	
前期末支払資金残高(12)		4,156,000	4,155,411	589	
当期末支払資金残高(11)+(12)		4,156,000	4,304,250	△148,250	

応急小口資金貸付事業サービス区分 資金収支計算書

(自)令和 6年 4月 1日(至)令和 7年 3月31日

社会福祉法人名 社会福祉法人 東村山市社会福祉協議会

(単位:円)

勘定科目		予算 (A)	決算 (B)	差異 (A)-(B)	備考
事業活動による収支	収入				
	事業活動収入計 (1)				
	事業費支出	6,000	6,000	0	
	旅費交通費支出	6,000	6,000	0	
	事務費支出	19,000	2,689	16,311	
	事務消耗品費支出(事務)	1,000		1,000	
	通信運搬費支出	7,000	2,268	4,732	
	会議費支出	1,000	421	579	
施設整備等による収支	手数料支出	10,000		10,000	
	事業活動支出計 (2)	25,000	8,689	16,311	
	事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	△25,000	△8,689	△16,311	
	収入				
	施設整備等収入計 (4)				
	支出				
	施設整備等支出計 (5)				
	施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)				
その他の活動による収支	拠点区分間繰入金収入	25,000	25,000	0	
	その他の活動収入計 (7)	25,000	25,000	0	
	拠点区分間繰入金支出		16,311	△16,311	
	その他の活動支出計 (8)		16,311	△16,311	
	その他の活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	25,000	8,689	16,311	
	予備費支出 (10)		—		
	当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	0	0	
前期末支払資金残高 (12)		1,000,000	1,000,000	0	
当期末支払資金残高 (11)+(12)		1,000,000	1,000,000	0	

自動販売機設置事業サービス区分 資金収支計算書

(自)令和 6年 4月 1日(至)令和 7年 3月31日

社会福祉法人名 社会福祉法人 東村山市社会福祉協議会

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支	収入				
	事業収入	324,000	344,804	△20,804	
	手数料収入	324,000	344,804	△20,804	
	事業活動収入計(1)	324,000	344,804	△20,804	
	支出				
	事務費支出	166,000	159,361	6,639	
施設整備等による収支	水道光熱費支出	83,977	78,058	5,919	
	手数料支出	6,000	5,280	720	
	租税公課支出	76,023	76,023	0	
	事業活動支出計(2)	166,000	159,361	6,639	
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	158,000	185,443	△27,443	
その他の活動による収支	収入				
	施設整備等収入計(4)				
	支出				
	施設整備等支出計(5)				
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)				
その他の活動による収支	収入				
	その他の活動収入計(7)				
	事業区分間繰入金支出	158,000	261,466	△103,466	
	その他の活動支出計(8)	158,000	261,466	△103,466	
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△158,000	△261,466	103,466	
予備費支出(10)			—		
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		0	△76,023	76,023	
前期末支払資金残高(12)		77,000	76,023	977	
当期末支払資金残高(11)+(12)		77,000	0	77,000	

監事監査報告書

令和7年5月29日

社会福祉法人
東村山市社会福祉協議会
会長 大原 喜美子 殿

監事 小松 健二

監事 瀧口 章江

私たち監事は、令和6年4月1日から令和7年3月31日までの令和6年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により当該会計年度に係る事業報告等（事業報告及びその附属明細書）について検討いたしました。

さらに、会計帳簿またはこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）及び財産目録について検討いたしました。

2. 監査意見

①事業報告等の監査結果

一 事業報告等は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

二 理事の職務の執行に関する不正の行為または法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

②計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に示しているものと認めます。

